

教科・種目名 音楽

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名	発 行 者 名
		17 教出	27 教芸
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫  別表 1	<p>学習指導要領の示す音楽科の目標に沿って、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育むために、題材構成を工夫し、題材のねらいを明確に示している。</p> <p>目次に続く見開きページに「学習マップ」として題材構成と題材で学ぶ内容を関連性をもって「学習の進め方」と共に提示し、1年間の学習内容の見通しがもてるよう配慮している。</p> <p>各題材とも見開きごとに題材名、「学習のねらい」を示し、教材ごとに関連する〔共通事項〕を「おんがくのもと」として見開きごとに示している。</p> <p>「まなびリンク」の二次元コードを「見る・書く・知る・きく」のマークを付けて示し、児童が主体的に学べる工夫をしている。</p> <p>「まなびナビ」のマークで、主体的な課題解決のきっかけとなるような「発問」を工夫し、中高学年では「学び合う音楽」で協働的に学び合う例示を示している。</p> <p>モジュール学習を視野に、教科横断的に扱える教材を示している。</p>	<p>学習指導要領の示す音楽科の目標に沿って、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育むために、題材構成を工夫し、教材に題材のねらいに応じた資質・能力ごとの発問等を提示している。</p> <p>「つながる」をキーワードに、学びのつながりに配慮し、2学年ごとにほぼ同じ学習内容や順序で構成し、1年間の学習の見通しがもてるよう巻頭に「学習マップ」を示している。</p> <p>各題材とも見開きごとに題材名、「学習のねらい」を示し、教材ごとに関連する〔共通事項〕を「おんがくのもと」として見開きごとに示し、題材の終末に学習のまとめとして「看板」のマークを印に学びを総括するまとめの発問を付している。</p> <p>「ムーブの部屋」の二次元コードに音楽を聴くことができるマークと資料のマークをそれぞれ付し、児童が主体的に学べる工夫をしている。</p> <p>「かんがえる」の印を付して「思考・判断・表現」の観点の発問や言語活動のきっかけとなるアイデア等を吹き出しなどを使って示している。（全学年）</p> <p>学びのつながりや積み重ねが得られる題材が構成されている。</p>
2 内容や構成が学習を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮  別表 2	<p>〔共通事項〕を巻末の「『音楽のもと』まとめ」に示し、低・中学年はイラストを中心に、高学年は楽譜を基に「音楽を表すいろいろな言葉」を掲載し、分かりやすく示す工夫をしている。</p> <p>「カエルマーク」で以前に学習したことを確かめるページを示している。</p> <p>2年生以上には、「スキルアップ」のコーナーで読譜力とリズム感を育成する常時活動を示している。</p>	<p>〔共通事項〕を巻末の「振り返りのページ」で示し、「音楽を表すいろいろな言葉」を掲載し、吹き出し等で分かりやすく示す工夫をしている。</p> <p>「おもいだそう」の印で以前に学習したことを確かめるページを示している。</p> <p>「そだてよう」のコーナーでリズム活動や鍵盤ハーモニカ、リコーダーを活用した常時活動を取り入れている。</p>
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮  別表 3	<p>曲想を感じ取り、自分の思いをのせて伝える表現力を育てる学習に導く工夫をしている。</p> <p>学年の発達段階に合わせて巻末に「音楽を表すいろいろな言葉」を掲載している。</p> <p>「まなびナビ」に思考させたい内容を示し「気づき」や「学ぶ楽しさを発見すること」を記載している。</p> <p>随所に、即興的に表現できる活動を掲載し表現活動を充実させている。</p> <p>歌唱教材と音楽づくりを関連させ、各学年で表現と鑑賞を関連させた題材構想を提示している。</p>	<p>曲想を感じ取り、自分の思いをのせて伝える表現力を育てる学習に導く工夫をしている。</p> <p>巻頭の「振り返りのページ」に音楽記号等を掲載し、題材ごとに振り返る工夫をしている。</p> <p>グループ活動時の会話を想定した吹き出しを記載し、表現活動へのアドバイスを示している。</p> <p>「音楽づくり」のコーナーを設け、学習したことをもとに発想力や音を音楽にしていこうためのアイデアを示している。</p> <p>表現と鑑賞の教材が関連、対照、対比し、組み合わせた題材構想を提示している。</p>

採択規準	基本観点	発行者名	
		17 教出	27 教芸
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(3) 児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮  別表 4	<p>全学年「まなびナビ」（中・高学年は「学び合う音楽」）を掲載し、協働して活動できる学び方を示している。</p> <p>巻末に「全校合唱」として取り組める歌唱・器楽教材を示している。</p> <p>「もっとあそぼう」のコーナーを設け、学習したことをもとに発展的な学びに展開できるように示している。</p> <p>「まなびリンク」の二次元コードに「見る」「書く」「知る」の3種類の印を付けてコンテンツの内容を示す工夫をしている。</p>	<p>全教材に「みつける」「考える」「歌う」「演奏する」「つくる」のマークを付して課題解決に向けた活動を示している。</p> <p>自分の考えをより広げたり深めたりすることができるように「専門家からのメッセージ」が記載されている。</p> <p>全教材の右上に「ムーブの部屋」の二次元コードを付し、見開きページの該当箇所に鑑賞と資料を示す印をつけてコンテンツの内容を示す工夫をしている。</p>
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い  別表 5	<p>「はってん」の印で示している。（4～6年）</p> <p>巻末に手話で歌う活動が示されている。（全学年）</p> <p>「もっとあそぼう」のコーナーで学習したことをもとに発展的な学びに展開できるように示している。（全学年）</p> <p>感染症予防の観点から友達と触れ合う活動には留意点が示されている。（1～3年）</p> <p>SDGs や ESD に関連した歌唱教材等に、SDGs の 17 のゴールアイコンを付している。（全学年）</p> <p>「心と心をつなぐ音楽」で音楽を通して他者につながる例を扱い、著作権、著作隣接権、肖像権等を取り扱っている。（6年）</p>	<p>発展的な内容を扱うキャラクターと吹き出しなどを使って示している。</p> <p>「ステップアップ」のコーナーで、発展的な内容を示している。（3～6年）</p> <p>「チャレンジ」でより進んだ学習活動を示している。（3～6年）</p> <p>感染症予防の観点から楽器の扱い方の留意点を示している。（1年）</p> <p>歌唱教材の歌詞や口絵に SDGs につながる視点を提示している。（5年）</p> <p>「音楽のもっている力や役割」で音楽を通して他者につながる例を扱い、「著作権について知ろう」のコーナーで著作権を取り扱っている。（6年）</p>
	(5) 他の教科等との関連  別表 6	<p>巻末の「にっぽんのうた みんなのうた」のコーナーで季節ごとの行事に関連する歌、動物や自然に優しいまなざしを向ける心情を育てる歌、日本語の美しさに触れられる歌などを示している。（全学年）</p> <p>「ショートタイムラーニング」のコーナーで英語の歌が示されている。（全学年）</p> <p>「にっぽんのうた みんなのうた」や「お祭りの音楽」、「音楽今昔」、「私たちの国の音楽」等でわらべ歌や地域に伝わる民謡や伝統芸能を掲載している。（全学年）</p> <p>全学年で「国歌『きみがよ』」の楽譜を掲載し、「きみがよ」に込められた願いや、「国際理解・国際親善」に関して同じ説明文を記述している。</p> <p>全学年、巻末に全校合唱「音楽のおくりもの」を、手話で歌う活動を歌唱・器楽教材「さんぽ」とともに掲載している。</p>	<p>「歌いつごう 日本の歌」のコーナーで季節ごとの行事に関連する歌、動物や自然に優しいまなざしを向ける心情を育てる歌、日本語の美しさに触れられる歌などを示している。（全学年）</p> <p>「英語の歌」のコーナーで英語の歌詞が示されている。（3～6年）</p> <p>「わたしたちがうけつぐ おどりやおんがく」（低学年）、「わたしたちが受けつぐ郷土芸能」（高学年）のコーナーに民謡や伝統芸能を掲載している。</p> <p>全学年で「国歌『きみがよ』」の楽譜を掲載し、「きみがよ」に込められた願いや、「国際理解・国際親善」に関して同じ説明文を記述している。</p> <p>「人権、信頼」や「自然愛護」の内容と関連した歌唱教材が記載されている。</p>

教科・種目名 音楽

採択規準	基本観点	発行者名	
		17 教出	27 教芸
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫    別表7	<p>歌唱共通教材には折込をつかった紙面で、我が国の自然や四季の美しさを感じたりイメージしたりするためのイラストや写真を掲載している。</p> <p>多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮し、見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルフォントを使用している。</p> <p>楽器の奏法が理解できるよう、写真とイラストで解説している。</p> <p>子供たちが無理なく取り組める音域や難易度に配慮して教材を選択している。</p> <p>鑑賞教材には、楽器の写真や演奏している写真、曲想を感じ取るためのイラストなどを掲載している。</p>	<p>歌唱共通教材には、我が国の自然や四季の美しさを感じたりイメージしたりするためのイラストや写真を掲載している。</p> <p>多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮し、見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルフォントを使用している。</p> <p>楽器の奏法が理解できるよう、写真とイラストで解説している。</p> <p>子供たちが無理なく取り組める音域や難易度に配慮して教材を選択している。</p> <p>鑑賞教材には、楽器の写真や演奏している写真、曲想を感じ取るためのイラストなどを掲載している。</p>

教科・種目名 音楽 調査研究事項  
別表 1

調査項目	17 教 出	27 教 芸
内容が取り扱われている教材名(数)やページ(数)・印・表記など	<p>◇小学校学習指導要領音楽の目標と内容に基づいて教材を精選し、6年間の指導内容の系統性を保って題材構成を工夫している。</p> <p>◇各題材で学習のねらいと「学びナビ」(中・高学年は「学び合う音楽」)を示し、左端に縦帯で「題材名」を、右端に縦帯で新出の音楽記号やソプラノリコーダーの指使い等を配置し、右上に「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」のマークで示しながら、見開きページで一体的に学習内容を提示している。</p> <p>◇目次に続く両面見開きページに「学習マップ」として題材構成と題材で学ぶ内容及び学習の進め方を示し、題材のつながりを線で結びながら1年間の学習内容を視覚的に捉えられるよう構成し、前の学習と関連付けてフィードバックできる「カエルマーク」を付し、巻末の「『音楽のもと』まとめ」で各学年の「音楽を形づくっている要素」の具体的な学習内容をまとめている。</p> <p>◇「まなびナビ」マークで、主体的な課題解決のきっかけとなる「発問」を工夫している。また中・高学年の「学び合う音楽」で協働的に学び合う発問等を示している。</p> <p>◇SDGsと関連する教材等に関連する目標アイコンを付し、学習指導要領音楽科の目標の柱書に示す音楽と生活、社会、文化等とのつながりを考える題材を各学年の口絵と共に配置している。</p> <p>◇「まなびリンク」の二次元コードを「まなびリンク」+「見る・書く・知る・きく」のマークを付けて示し児童が主体的に学べる工夫をしている。特に、ソプラノリコーダーの指使いを示す動画や、鑑賞教材の旋律の楽譜を音楽の流れと共にスクロールで示す工夫等、個別最適な学びの実現に配慮している。</p> <p>◇「音楽づくり」の活動に「音のスケッチ」印を付し示し、活動事例を豊富に提示している。</p> <p>◇低学年の題材名及び教材名は文節ごとに空欄を入れて表記している。</p> <p>◇全学年の歌唱活動に手話や足踏みなどの体を動かす活動を積極的に取り入れている。</p> <p>◇全体を通して、歌詞の内容を表す色彩豊かな写真を折込を用いてワイドな紙面で示して、児童が感性を育てるよう、紙面構成を工夫している。</p>	<p>◇小学校学習指導要領音楽の目標と内容に基づいて教材を精選し、6年間の指導内容の系統性を保って題材構成を工夫している。</p> <p>◇各題材で学習のねらいと資質・能力に基づいた発問やアドバイスを統一形式で示し、左端に「題材名」と学習のねらいを統一色で配置し、右上に二次元コード、右下に「音楽を形づくっている要素」を付し、見開きページで一体的に学習内容を提示している。</p> <p>◇「つながる」をキーワードに、学びのつながりに配慮し、2学年ごとにはほぼ同じ学習内容や順序で構成し、全学年で1年間の学習の見通しがもてるよう、冒頭に見開きで「学習マップ」を示している。</p> <p>◇巻末の「ふり返りのページ」で学習内容を振り返ったり、「音楽を形づくっている要素」を示している。</p> <p>◇学習活動を資質・能力ごとに「考える」「見つける」「うたう/演奏する/つくる」に分けて構造的に示し、発問やアドバイス等をわかりやすく示している。</p> <p>◇「ふるさと」についての家族や地域の人へのインタビュー等で学習指導要領音楽科の目標の柱書に示す音楽と生活、社会、文化等とのつながりを考える題材を口絵と共に配置している。</p> <p>◇「ムーブの部屋」の二次元コードに音楽を聴くことができるマークと資料のマークをそれぞれ付し、歌唱教材の主旋律を音楽で確かめたり、器楽の奏法や鑑賞教材の動画コンテンツにリンクしながら個別最適な学びの実現に配慮している。「ムーブの部屋」の目次は学年の他教材にリンクできるように、児童が主体的に学べる工夫をしている。</p> <p>◇「音楽づくり」の活動にロゴマークを付して、活動事例を豊富に提示している。</p> <p>◇低学年の題材名及び教材名は文節ごとに空欄を入れて表記している。</p> <p>◇我が国の音楽の内容を児童が親しめるような構成で取り入れ、全学年の教科書の裏表紙に「育もう！地域の文化 伝えよう！地域の芸能」のマークを付して写真を掲載している。</p> <p>◇全体を通して、言語活動を重視し、全教材に資質・能力に基づいた発問やアドバイスを付し、題材の終わりに、学習のまとめとして看板のマークを目印に、題材の学びを総括する振り返りの発問を付している。</p>
歌唱教材、全体数等	<p><b>【1年】教材数40</b> 「こいのぼり」「かえるのがっしょう」「ぼすごっこ」「めだかのがっこう」「いぬのおまわりさん」「ことりのうた」「おつかいありさん」「やぎさん ゆうびん」「ちょうちょう」「ちゅうりっぷ」「かもつれっしゃ」「ひらいた ひらいた」「おちゃらか」「なべなべ」「かたつむり」「ぶんぶんぶん」「しろくまの ジェンカ」「おさるの だいくさん」「うみ」「どれみの キャンディー」「ひのまる」「もりの くまさん」「フルーツ ケーキ」「ねこの おはなし」「おもちゃの チャチャチャ」「わくわく キッチン」「おとの マーチ」「おおきな かぶ」「こぶたぬきつねこ」「アイアイ」 &lt;ぜんこうがっしょう&gt;「おながくのおくりもの」「さんぼ」 「Twinkle, Twinkle, Little Star」「We Wish You a Merry Christmas」「Are You Sleeping?」 「〔国歌〕きみがよ」きせつのうた「たなばたさま」「たきび」「おしょうがつ」「うれしい ひなまつり」</p> <p><b>【2年】教材数36</b> 「朝のリズム」「小さな はたけ」「山びこ ごっこ」「かくれんぼ」「こいぬの ピンゴ」 「びよんぴよこ ロックンロール」「かえるのがっしょう」「かっこう」「ドレミの トンネル」 「にじの クレヨン」「虫のこえ」「森の たんけんたい」「タヤけ こやけ」「こぎつね」「村まつり」 「汽車は 走る」「ウンパッパ」「チャチャ マンボ」「春が きた」 「おしゃべり 音楽時計ーウィーンの音楽時計からー」「ジングルベル」「あの青い 空のように」 「ラララ 歌おう」「夏だ!」「やおやのおみせ」「アンダルコの 歌」「おまつり ワッショイ」 「ジェットコースター」&lt;ぜん校合しょう&gt;「音楽のおくりもの」「さんぼ」 「みんなで 九九」「BINGO」「〔国歌〕きみがよ」しぜんのうた「つき」「とんぼの めがね」「雪」</p> <p><b>【3年】教材数26</b> 「小さな世界」「ア ラム サム サム」「春の小川」「キラキラおひさま」「ドレミの歌」「茶つみ」 「この山光る/ホルディリディア」「うさぎ」「森の子もり歌」「ふじ山」「陽気なかじや」「雪のおどり」 「せいじゃの行進」「あくびのうた」「パフ」「世界中の子どもたちが」「マンガニ、雨とおどろう」 「えんやらもの木」&lt;全校合しょう&gt;「音楽のおくりもの」「さんぼ」 「It's a Small World」「たんいの歌」 「〔国歌〕君が代」こころのうた「あの町 この町」「七つの子」「まっかな秋」</p>	<p><b>【1年】教材数35</b> うたって なかよく なるう（「ちゅうりっぷ」「ちょうちょう」「ぞうさん」「めだかのがっこう」「ことりのうた」「こぶたぬきつねこ」「こいのぼり」「いぬのおまわりさん」「おつかいありさん」） 「ひらいた ひらいた」「さんぼ」「じゃんけんぼん」「みんなで あそぼう」 「しろくまの ジェンカ」「かたつむり」「ぶん ぶん ぶん」「うみ」「たのしく ふこう」 「どんぐりさんの おうち」「なかよし」「ひのまる」「やまびこ ごっこ」 「さがしてみよう ならしてみよう」「きらきらぼし」「はる なつ あき ふゆ」「さんちゃんか」 「おおなみ こなみ」「おちゃらか ほい」「あいあい」「とんくるりん ばんくるりん」 「こいぬの マーチ」 うたいつごう にほんのうた「たなばたさま」「おしょうがつ」「うれしいひなまつり」 「国歌『きみがよ』」</p> <p><b>【2年】教材数31</b> 「メッセージ」「かくれんぼ」「はしの上で」「たぬきの たいこ」「かっこう」 「かえるのがっしょう」「ぷっかり くじら」「虫の こえ」「この 空 とぼう」 「いるかは ざんぶらこ」「山の ポルカ」「かねが なる」「かぼちゃ」「あのね、のねずみは」 「タヤけこやけ」「小ぎつね」「なべ なべ そこ ぬけ」「楽しいね」「こぐまの 二月」 「はるが きた」「あの 青い 空のように」「はるの まきば」「あおい そらに えを かこう」「手のひらを たいように」「どこかで」「ドレミで あそぼ」「アイアイ」 うたいつごう にほんのうた「夕日」「とんぼの めがね」「シャボン玉」「国歌『きみがよ』」</p> <p><b>【3年】教材数23</b> 「ハッピーソング」「春の小川」「茶つみ」「ドレミで歌おう」「海風きって」「ゆかいな木きん」 「あの雲のように」「とどけようこのゆめを」「ふじ山」「うさぎ」「歌おう声高く」「帰り道」 「ほしぞら」「おはようおはよう」「にじ」「ゴーゴーゴー」「またあそぼ」「Head, Shoulders, Knees And Toes」「友だち 歌いつごう 日本の歌」「ゆりかごの歌」「七つの子」「どこかで春が」 「国歌『君が代』」</p>

調査項目	17 教出	27 教芸
<p>内容が取り扱われている教材名(数)やページ(数)・印・表記など</p>	<p><b>【4年】教材数28</b>  「ありがとうの花」「早口」「さくらさくら」「ラバーズ・コンチェルト」「メリーさんの羊」「エーデルワイス」「プパポ」「まきばの朝」「ゆかいに歩けば」「とんび」「もみじ」「ソーラン節」  「朝の歌」「おどれサンバ」「グッデイグッバイ」「半月」「沖永良部の子もり歌」  「北風こぞうの寒太郎」「まきばのこうし」「飛べよツバメ」「カルーヨ」「札幌の空」  &lt;全校合唱&gt;「音楽のおくりもの」「さんぽ」  「〔国歌〕君が代」きせつのうた「どこかで春が」「みかんの花さくおか」「里の秋」</p> <p><b>【5年】教材数26</b>  「夢色シンフォニー」「花のおくりもの」「こいのぼり」「こきょうの人々」  「ハロー・シャイニングブルー」「赤とんぼ」「子もり歌」「こきりこ節」「谷茶前」  「地球の向こう側の君へ」「冬げしき」「ゆき」「スキーの歌」「君をのせて」「心から心へ」  「川はだれのもの?」「大切なもの」&lt;全校合唱&gt;「音楽のおくりもの」「さんぽ」「Auld Lang Syne」  「Michael, Row the Boat Ashore (こげよマイケル)」  「〔国歌〕君が代」  山田耕筰、中田喜直のうた「ペチカ」「星とたんぼぼ」「待ちぼうけ」「ちいさい秋みつけた」</p> <p><b>【6年】教材数25</b>  「つばさをください」「ワイ バンバ」「おぼろ月夜」「マルセリーノの歌」「ぼくらの日々」  「われは海の子」「ロック マイ ソウル」「明日を信じて」「チャウエ チチョー チェム チェロ」「越天楽今様」「ふるさと」「さようなら」「語りあおう」「すてきな友達」「今、生きている!」  「未来への賛歌」「あおげばとうとし」「花は咲く」「野に咲く花のように」  &lt;全校合唱&gt;「音楽のおくりもの」「さんぽ」「Climb ev' ry Mountain」  「〔国歌〕君が代」滝廉太郎のうた「荒城の月」「箱根八里」</p>	<p><b>【4年】教材数20</b>  「小さな世界」「さくらさくら」「いいことありそう」「風のメロディー」「まきばの朝」  「いろんな木の実」「ゆかいに歩けば」「とんび」「パレードホッホー」「もみじ」「赤いやねの家」  「ごんぎつね」「いつだって!」「林の朝」「世界を旅する音楽室」「花束をあなたに」「チャレンジ」  「sing a rainbow」歌いつごう 日本の歌「みかんの花さくおか」「せいくらべ」「みどりのそよ風」  「国歌『君が代』」</p> <p><b>【5年】教材数20</b>  「Believe」「すてきな一歩」「こいのぼり」「いつでもあの海は」「静かにねむれ」  「こげよ マイケル (Michael, row the boat ashore)」「夢の世界を」「冬げしき」「スキーの歌」  「子もり歌」「それぞれの空」「マイバラード」「地球へ」「君は虹を見たかい?」「小さな鳥の小さな夢」  「大空がむかえる朝」「ほたるの光」  歌いつごう 日本の歌「ちいさい秋みつけた」「海」  「国歌『君が代』」</p> <p><b>【6年】教材数20</b>  「つばさをください」「ペガサス」「おぼろ月夜」「星の世界」「思い出のメロディー」「ふるさと」  「われは海の子」「越天楽今様」「きっと届ける」「街にだかれて」「Wish～夢を信じて」「いのちの歌」  「明日という大空」「星空はいつも」「Edelweiss」「あおげばとうとし」「旅立ちの日に」  うたいつごう 日本の歌「夏は来ぬ」「浜千鳥」  「国歌『君が代』」</p>
<p>器楽教材、全体数等</p>	<p><b>【1年】教材数12</b>  「ぶんぶんぶん」「しろくまの ジェンカ」「どこどこど」「まほうのど」「どんぐりころりん」  「どんぐりぐりぐり」「フルーツ ケーキ」「すずめがちゅん」「おもちゃのチャチャチャ」  「きらきらぼし」「わくわく キッチン」「おとの マーチ」</p> <p><b>【2年】教材数 8</b>  「楽きで ドレミと なかよく なろう」「かえるのがっしょう」「かっこう」「ドレミの トンネル」  「こぎつね」「汽車は 走る」「チャチャマンボ」「アンダルコの 歌」</p> <p><b>【3年】教材数19</b>  「キラキラおひさま」「シシシでおはなシ」「にじ色の風船」「マジカル シラソ」  「かえり道」「レッツゴーソーレー」「森の子もり歌」「陽気なかじや」「メロンの気持ち」  「雪のおどり」「せいじゃの行進」「あくびの歌/冬さん、さようなら」「パフ」  「マンガニ、雨とおどろう」「ミッキーマウスマーチ」「森のささやき」「えんやら ももの木」  「さんぽ」(全校合唱 リコーダー)</p> <p><b>【4年】教材数11</b>  「エーデルワイス」「ハローサミング」「『もののけ姫』から」「朝の歌」「おどれサンバ」  「ラ クンパルシータ」「遠き山に日は落ちて」「さくらさくら」「カルーヨ」「魔法のすず」  「さんぽ」(全校合唱 リコーダー)</p> <p><b>【5年】教材数11</b>  「クラップフレンズ」「茶色の小びん」「こきょうの人々」「星笛」「風とケーナのロマンス」  「ルパン三世のテーマ」「しの笛のみりよく(「かりかりわたれ」から)」「心から心へ」  「レッツゴー!!ライダーキック」  「音楽のおくりもの」(全校合唱 リコーダー)「さんぽ」(全校合唱 鍵盤ハーモニカ)</p>	<p><b>【1年】教材数13</b>  「じゃんけんぽん」「みんなで あそぼう」「しろくまの ジェンカ」「かたつむり」  「ぶんぶんぶん」「たのしくふこう」「どんぐりさんのおうち」「なかよし」「おとさがし」  「こいぬの マーチ」「さがしてみようならしてみよう」「きらきらぼし」  「とんくるりん ばんくるりん」</p> <p><b>【2年】教材数10</b>  「かっこう」「かえるのがっしょう」「ぷっかりくじら」「この空とぼう」  「いるかは ざんぶらこ」「山の ポルカ」「かぼちゃ」「小ぎつね」「こぐまの二月」「アイアイ」</p> <p><b>【3年】教材数24</b>  「リズムでなかよくなるろう」「ドレミで歌おう」「海風きって」「活動1～3」  「ふいてみよう1・2/わらべうたにちょうせん/きれいなソラシ」「坂道/雨上がり」  「ゆかいな木きん」「あの雲のように」「アチャパチャノチャ」  「とどけようこのゆめを」「メリーさんのひつじ」「パフ」「祇園囃子『投げ合い』」  「エーデルワイス」「またあそぼ」「よろこびの歌」「ゆかいなまきば」「ミッキーマウスマーチ」</p> <p><b>【4年】教材数13</b>  「いいことありそう」「風のメロディー」「クラッピングファンタジー第7番楽しいマーチ」  「いろんな木の実」「陽気な船長」「オーラリー」「茶色の小びん」「ことをひいてみよう」  「ジッパディードゥーダー」「ごんぎつね」「雨の公園」  「ハッピーバースデイトゥーユー」「スーパーカリフラジリスティックエキスピーア」</p> <p><b>【5年】教材 8</b>  「小さな約束」「リボンのおどり(ラバンバ)」「静かにねむれ」「キリマンジャロ」  「威風堂々」「失われた歌」「クラッピングファンタジー第4番 ギャラクシー～銀河をこえて～」  「アフリカン シンフォニー」</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>内容が取り扱われている(教)やページ(数)・印・表記など</p>	<p>【6年】教材数11                      「マルセリーノの歌」「The Sound of Music」「カノン」「L-O-V-E」                      「ウェンセスラスはよい王様」「越天楽今様」「Take Me Home, Country Roads」「世界の約束」                      「八木節」「音楽のおくりもの」(全校合唱 リコーダー)「さんぼ」(全校合唱 打楽器)</p> <p>【1年】活動例 5                      「たんと たたの リズムで あそぼう」「おさるの だいくさん」「ねこの なきごえで あそぼう」                      「ねこの おはなし」「ほしの おんがくをつくろう」</p> <p>【2年】活動例 5                      「音の かさなりや リズムを えらんで 合わせよう」「どんな 音が きこえるかな」                      「おまつりの 音楽をつくろう」「みんなの 音楽時計をつくろう」                      「おしゃべり 音楽時計ーウィーンの 音楽時計からー」</p> <p>【3年】活動例 7                      「〈リズムなかま〉で楽しもう!」「シシシでおはなし」「シラソの音で遊ぼう」「いろいろな声で 表げんしよう」「ラドレでリレー」「雪のおどり」「音のひびきや組み合わせを楽しもう」</p> <p>【4年】活動例 5                      「早口言葉ラップを楽しもう!」「音の動き方を生かしてせんりつをつくろう」「おはやしづくりに チャレンジ」「音階をもとにして音楽をつくろう」「役わりをもとに音楽をつくろう」</p> <p>【5年】活動例 3                      「和音に合わせてせんりつをつくろう」「いろいろな声で音楽をつくろう」                      「ずれの音楽を楽しもう」</p> <p>【6年】活動例 3                      「言葉をもとにリズムで遊ぼう!」「じゅんかんコードをもとにアドリブで遊ぼう」                      「役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう」</p>	<p>【6年】教材数7                      「ラバーズ・コンチェルト」「雨のうた」「メヌエット」                      「そよ風のデュエット」「木星」「風を切って」「Paradise Has No Border」</p> <p>【1年】活動例 4                      「ことばでリズム」「おとを さがして あそぼう」「せんりつの よびかけっこ」                      「えから うまれる おんがく」</p> <p>【2年】活動例 6                      「ぷっかり くじら」「なきごえを つかって あそぼう」「おまつりの 音楽」                      「がっきで おはなし」「かぼちゃ」「名前で せんりつあそび」</p> <p>【3年】活動例 4                      「リズムでなかよくなろう」「手拍子でリズム」「クロック ミュージック」                      「ラドレの音でせんりつづくり」</p> <p>【4年】活動例 5                      「言葉でアンサンブル」「打楽器の音楽」「『さくらさくら』の音階でせんりつづくり」                      「リズムでなかよくなろう」「せんりつづくり」</p> <p>【5年】活動例 2                      「打楽器でリズムアンサンブル」「『静かにねむれ』の和音で旋律づくり」</p> <p>【6年】活動例 2                      「ボイスアンサンブル」「『雨のうた』和音で旋律づくり」</p>
	<p>鑑賞教材、全体数等</p> <p>【1年】教材数12                      「サンダーバード」「ピンク・パンサーのテーマ」「どうけしの ギャロップ」「なみを こえて」                      「ぞう」「ゴー アンド ストップ」「わらべうた」「ジェンカ」「どれみの うた」                      「ぜんそうきょく」「2ひきの ねこの ゆかいな うた」「おどる こねこ」</p> <p>【2年】教材数13                      「『天国と 地ごく』から」「かめ」「山の ま王の きゅうでんにて」「キャンディ マン」                      「ながうた『むしの声』」「ゆかいな 時計」「日本の たいこ」「そりすべり」「しゅっぱつ」                      「ティニックリング」「マンボ ナンバー ファイブ」                      「組きょく『ハーリ ヤーノシュ』からウィーンの 音楽時計」                      「クリスマス ソング メドレー」(きよし この 夜～サンタが まちに やってくる～ジングルベル～                      ひいらぎ かざろう～もみの木～ウィンター ワンダー ランド～おめでどう クリスマス)</p> <p>【3年】教材数 13                      「リコーダーは歌う」「ホルディリディア」「ユモレスク」「白鳥」「日本や世界の子ども歌」(                      「十五夜さんのもちつき」「陽気なかじや」「半月」「キパパーキ パパパ」「あつい豆がゆ」)                      「せいじゃの行進」「組曲『アルルの女』から『メヌエット』『ファランドール』」                      「ピーターとおおかみ」</p> <p>【4年】教材数16                      「さくら変そう曲」「メヌエット」「トルコ行進曲」「『サウンドオブミュージック』から『ドレミ                      の歌』『ひとりぼっちの羊かい』『わたしのお気に入り』『サウンドオブミュージック』」                      「アラ ホーンパイフ」「ソーラン節」「秩父屋台ばやし」「葛西ばやし」                      「サムルノリ」「サンバの音楽」「ノルウェー舞曲第2番」「歌げき『魔笛』から」</p> <p>【5年】教材数11                      「いろいろな合唱『花』『箱根八里』『唱歌の四季』から」「組曲『カレリア』から」                      「会津磐梯山」「音戸の舟歌」「つるぎのまい」「クラッピングミュージック」                      「ピアノ五重そう曲『ます』第4楽章」「長唄『越後獅子』から」「京の夜」</p>	<p>【1年】教材数12                      「どみそらんど」「セブン ステップス」「チェッ チェッ コリ」「さんぼ」                      「しろくまの ジェンカ」「『ぶんぶんぶん』による みつばちハニーの ぼうけん」                      「くみきょく『くるみわり にんぎょう』から こうしんきょく」「シンコペーテッド クロック」                      「にんぎょうの ゆめと めざめ」「さんちゃんか」「おおなみ こなみ」「クシコスポスト」</p> <p>【2年】教材数15                      「小犬の ビンゴ」「ロンドンばし」「ティニクリン」「エースオブダイヤモンド」                      「とーしんどーい」「ドードレブスカ ポルカ」「ミッキーマウス マーチ」「メヌエット」                      「ドレミの うた」「トルコ こうしんきょく」「だがっき パーティー」                      「くみきょく『てんらんかいの え』から たまごの からをつけた ひなどりの バレエ」                      「ずいずい ずっころばし」「あんたがた どこさ」「エンターテイナー」</p> <p>【3年】教材数 7                      「小鳥のために」「ピタゴラスイッチ」「メヌエット」「かね」「トランペットふきの休日」                      「よるこびの歌」「祇園囃子『投げ合い』」</p> <p>【4年】教材数18                      「パパゲーノとパパゲーナの二重奏」「ピーナッツ ベンダー」「こきりこ」                      「白鳥/堂々たるライオンの行進」「ファランドール」                      「管弦楽組曲第2番から『ポロネーズ』/茶色の小びん」「山の魔王の宮殿にて」                      「こと独奏による主題と6つの変奏『さくら』より/津軽じょんがら節/ていんぐぬ花」</p> <p>【5年】教材数12                      「アイネ クライネ ナハトムジーク 第1楽章」「祝典序曲」                      「アフリカン シンフォニー」「こげよ マイケル」「待ちぼうけ」「赤とんぼ」「この道」                      「春の海」「ソーラン節」「かりぼし切り歌」「小さな淡黄色の馬」「威風堂々第1番」</p>

教科・種目名 音楽 調査研究事項

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>内容が取り扱われている(教やページ(数)・印・表記など)</p> <p>歌唱教材のうち、我が国の自然や文化、日本語のもつ美しさを味わえる教材</p>	<p>【6年】教材数 9 「ハンガリー舞曲第5番」「交響曲第5番『運命』(第1楽章)」「カノン」 「バイオリンとピアノのためのソナタ(第4楽章)」「世界の声の音楽」「世界の楽器のひびき」 「春の海」「前奏曲 第1集から『帆』」「ラプソディー イン ブルー」</p> <p>◇歌唱共通教材を(共)の印を付して示している。 ◇共通教材以外に巻末の「にっぽんのうた みんなのうた」のコーナーに示している。</p> <p>【1年】教材数11 「ひらいた ひらいた」「おちゃらか」「なべなべ」「かたつむり」「うみ」「ひのまる」 「国歌『きみがよ』」 きせつのうた(「たなばたさま」「たきび」「おしょうがつ」「うれしいひなまつり」)</p> <p>【2年】教材数 9 「かくれんぼ」「虫のこえ」「タヤケコヤケ」「村まつり」「春がきた」 「国歌『きみがよ』」しぜんのうた(「つき」「とんぼのめがね」「雪」)</p> <p>【3年】教材数 8 「春の小川」「茶つみ」「うさぎ」「ふじ山」 「国歌『君が代』」こころのうた(「あの町この町」「七つの子」「まっかな秋」)</p> <p>【4年】教材数 8 「さくらさくら」「まきばの朝」「とんび」「もみじ」 「国歌『君が代』」きせつのうた(「どこかで春が」「みかんの花さくおか」「里の秋」)</p> <p>【5年】教材数10 「こいのぼり」「赤とんぼ」「子もり歌」「冬げしき」「スキーの歌」 「国歌『君が代』」 山田耕筰、中田喜直のうた(「ペチカ」「星とたんぼぼ」「待ちぼうけ」「ちいさい秋みつけた」)</p> <p>【6年】教材数 7 「おぼろ月夜」「われは海の子」「越天楽今様」「ふるさと」 「国歌『君が代』」 滝廉太郎のうた(「荒城の月」「箱根八里」)</p>	<p>【6年】教材数11 「木星」「ハンガリー舞曲第5番」「花」「箱根八里」「荒城の月」「雅楽『越天楽』」 「バグパイプの演奏」「メヘテルハーネ」「ガムラン」「フォルクローレ」「雅楽(アアク)」</p> <p>◇歌唱共通教材に「こころのうた」のアイコンを付して示している。 ◇共通教材以外に巻末の「うたいつごうにほんのうた」のコーナーに示している。</p> <p>【1年】教材数11 「ひらいた ひらいた」「かたつむり」「うみ」「ひのまる」「さんちゃんが」「おおなみ こなみ」 「おちゃらか かい」 うたいつごう にほんのうた「たなばたさま」「おしょうがつ」「うれしいひなまつり」 「国歌『きみがよ』」</p> <p>【2年】教材数 9 「かくれんぼ」「虫のこえ」「タヤケコヤケ」「なべなべそこぬけ」「はるがきた」 うたいつごう にほんのうた「夕日」「とんぼのめがね」「シャボン玉」「国歌『きみがよ』」</p> <p>【3年】教材数 8 「春の小川」「茶つみ」「うさぎ」「ふじ山」 歌いつごう 日本の歌「ゆりかごの歌」「七つの子」「どこかで春が」「国歌『君が代』」</p> <p>【4年】教材数 8 「さくらさくら」「まきばの朝」「とんび」「もみじ」 歌いつごう 日本の歌「みかんの花さくおか」「せいくらべ」「みどりのそよ風」「国歌『君が代』」</p> <p>【5年】教材数 7 「こいのぼり」「冬げしき」「スキーの歌」「子もり歌」 歌いつごう 日本の歌 「ちいさい秋みつけた」「海」「国歌『君が代』」</p> <p>【6年】教材数 7 「おぼろ月夜」「ふるさと」「われは海の子」「越天楽今様」 うたいつごう 日本の歌「夏は来ぬ」「浜千鳥」「国歌『君が代』」</p>
<p>器楽教材のうち、和楽器に関する教材</p>	<p>【1年】教材数 0 【2年】教材数 1 「まつりの音楽をつくろう」 【3年】教材数 0 【4年】教材数 1 「ことのみりよく」 【5年】教材数 1 「しの笛のみりよく(「かりかりわたれ」から)」 【6年】教材数 2 「越天楽今様」「八木節」</p>	<p>【1年】教材数 0 【2年】教材数 1 「おまつりの音楽」 【3年】教材数 1 「祇園囃子『投げ合い』」 【4年】教材数 1 「ことをひいてみよう」 【5年】教材数 0 【6年】教材数 0</p>
<p>鑑賞教材のうち、我が国や郷土の伝統音楽</p>	<p>【1年】教材数 1 「わらべうた」 【2年】教材数 2 「ながうた『むしの声』」「日本のたいこ」 【3年】教材数 1 「十五夜さんのもちつき」 【4年】教材数 5 「さくら変そう曲」「ソーラン節」「秩父屋台ばやし」「葛西ばやし」 「日本のお祭りをたずねて」(四季ごとに全国の24の祭りの写真を掲載) 【5年】教材数14 「いろいろな合唱」「会津磐梯山」「音戸の舟歌」「長唄『越後獅子』から」 「京の夜」 ＜日本の民謡をたずねて＞ 「津軽じょんがら節」「花笠音頭」「日光和楽(わらく)おどり」「磯節」 「郡上八幡の盆踊り」「佐渡おけさ」「木曾節」「三国節」「ひえつき節」 【6年】教材数 1 「春の海」</p>	<p>【1年】教材数 2 「さんちゃんが」「おおなみ こなみ」 【2年】教材数 2 「ずいずいずっころばし」「あんたがたどこさ」 【3年】教材数 1 「祇園囃子『投げ合い』」 【4年】教材数11 「こきりこ」「こと独奏による主題と6つの変奏『さくら』より/津軽じょんがら節/ていんぐぬ花」 ※ちいきにつたわるおどりやまいの音楽を調べよう(「アイヌ古式舞踊」「西馬音内の盆踊り」「相模里神楽」「那智の田楽」「壬生の花田植」「讃岐獅子舞」「長崎くんちの龍踊り」) 【5年】教材数12 「春の海」「ソーラン節」「かりぼし切り歌」 ＜日本の民謡めぐり＞(「ムーブの部屋」のコンテンツでの資料提示) 「江差追分」「宮城長持歌」「網のし歌」「佐渡おけさ」「鈴鹿馬子歌」「音戸の舟歌」 「祝いめでた」「牛深ハイヤ節」「月ぬ美しや」 【6年】教材数 1 「雅楽『越天楽』」</p>

別表2

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>〔共通事項〕 の内容を示すページ(数)・印・表記など</p>	<p>表現</p> <p>◇見開きごとに関連する〔共通事項〕の「音楽を形づくっている要素」を示している。(全学年)</p> <p>◇巻末の「『音楽のもと』まとめ」で〔共通事項〕をイラスト付きで示している。(全学年)</p> <p>◇「音符、休符、記号や用語」を見開きページの右端の縦帯や巻末資料で示している。(2～6年)</p> <p>【1年】</p> <p>音色：リズムを楽器で打つ(タン布林・すず・カスタネット P22～P23) いろいろな音を見つける(トライアングル・タン布林・シンバル P42～P43) ねこの鳴き声であそぶ(P50～P51)</p> <p>リズム：歌のリズムに合わせて身振りであそぶ(P16～P17) 歌に合わせて手拍子でリズムを打つ(P18～P19) ジェンカのリズムを打ったり踊ったりする(P20～P21) 「たん」と「たた」のリズムであそぶ(P22～P23) 拍に合わせてリズムを打つ(P24～P25) 「たんたんたん」のリズムに言葉を当てはめる(P48～P49) 歌に合わせてリズムを打つ(P56～P57) 旋律のリズムを変化させる(P59)</p> <p>速度：歌の速度に合わせてあそぶ(P10～P11)</p> <p>旋律：歌の旋律の感じに合わせてあそぶ(P12～P13) 盛り上がりを感じて歌う(P40～P41) 音をつないで旋律をつくる(P59)</p> <p>強弱：いろいろな強さで楽器を打つ(P42～P43) 強さに気を付けて楽器を打ったり曲を聴いたりする(P44～P45) いろいろな強さでねこの鳴き声をまねる(P50～P51)</p> <p>音の重なり：リズムを重ねてあそぶ(P57)</p> <p>音階：音の高さに合わせて体を動かしながら歌う(P30～P31) 階名唱をする(P40～P41)</p> <p>拍：歌の拍に合わせてあそぶ(P10～P13) 歌いながら動きを合わせてあそぶ(P14～P15) 歌に合わせて身振りであそぶ(P16～P17) 歌の拍に合わせて手拍子を打つ(P18～P21) 拍に合わせて「たん」と「たた」のリズムであそぶ(P22～P23) 拍に合わせてリズムを打つ(P24～P25、P48～P49、P56～P57)</p> <p>フレーズ：旋律のまとまりを感じながら歌う(P46～P49)</p> <p>反復：ジェンカのリズムを繰り返し打ったり踊ったりする(P20～P21) 「たん」と「たた」のリズムでまねっこあそびをする(P22～P23)</p> <p>呼びかけとこたえ：歌でお話しする(P15) つくったリズムを交代で打つ(P22～P25) 二つの組に分かれて歌う(P46～P49) 二つの組に分かれて呼びかけ合うように歌う(P51)</p> <p>変化：旋律の変化を感じて動く(P30～P31)</p>	<p>◇見開きごとに関連する〔共通事項〕の「音楽を形作っている要素」を示している。(全学年)</p> <p>◇巻末の「ふり返りのページ」で〔共通事項〕がイラスト付きで示している。(全学年)</p> <p>◇「音符、休符、記号や用語」を「楽譜マスター」のコーナーや巻末の資料で示している。(2～6年)</p> <p>【1年】</p> <p>音色：打ち方を工夫していい音を鳴らす(カスタネットP18～19、タン布林P26～27、てつきんP60～61) 音楽の感じに合うように打ち方を工夫する(手拍子、カスタネットP20～P23) 身の回りの音を見つける(P32～P33) いろいろな音の出し方を見つける(鍵盤ハーモニカ P36～P37、トライアングル、すず、ウッドブロックP52～P53) 息の強さに気を付けて音を出す(鍵盤ハーモニカ P38～P39) 音を聴き合って演奏する(鍵盤ハーモニカP42～P43、タンバリン、トライアングルP72～73) 音が高くなるころの歌声について考える(P44～P45) 呼びかけ合う感じの歌い方を考える(P46～P47) 歌詞に合った楽器の音を見つける(P54～55) 絵から音を思い浮かべる(タンバリン、すず、ウッドブロックP56～P57) 歌詞に合った歌い方を考える(P64～P65) かんじのちがいがわかるように音の出し方を工夫する(鍵盤ハーモニカ、P74～P75)</p> <p>リズム：手拍子でリズムを打つ(P14～P15) 打楽器でリズムを打つ(P18～P27、P54～P55、P70～P71、P74～P75) 言葉に合うリズムを作る(P28～P29)</p> <p>速度：歌詞の感じに合う速さを考える(P64～P65) 速さを変えて遊ぶ(P68～P69)</p> <p>旋律：知っている旋律を歌う(P8～P9) 旋律の感じに合わせて歌う(P12～P13、P30～P31) 旋律に気を付けて歌う(P42～P43、P60～P61) 音の高さに気を付けて歌う(P44～P45) 旋律で呼びかけ合って歌う(P46～P47、P70～P71) 旋律で呼びかけ合って演奏する(P48～P49) わらべうたの旋律に親しむ(P66～P69) 二つの旋律の違いに気を付けて演奏する(P74～P75)</p> <p>強弱：強い音や弱い音を演奏する(P37～P38) 強弱を工夫して歌う(P46～P47、P70～P71) 歌詞に合う強さを考える(P64～P65)</p> <p>音の重なり：歌声や楽器の音の重なりを聴きながら演奏する(P72～P75)</p> <p>拍：拍に合わせて歌う(P8～P9、P12～P13、P16～P17、P30～P31) 拍に合わせて手拍子を打つ(P14～P17) 拍に合わせてリズムを打つ(P18～P29、P54～P55) 拍に合わせて遊ぶ(P66～P69)</p> <p>フレーズ：フレーズの感じに合うように演奏する(P20～P27) フレーズを感じながら歌う(P30～P31、P60～P61)</p> <p>反復：同じリズムを繰り返して打つ(P28～P29) 見つけた鳴らし方を繰り返す(P56～P57)</p> <p>呼びかけとこたえ：音でお話しをする(P14～P15) 二人組でつくったリズムをつなげる(P28～P29) 見つけた音でお話しをする(P32～P33) 歌と鍵盤ハーモニカで交互に演奏する(P42～P43) 呼びかけ合って歌う(P46～P47、P70～P71) 旋律で呼びかけ合って演奏する(P48～P49) 呼びかけ合うように打楽器を演奏する(P56～P57)</p>



調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>〔共通事項〕 の内容を示すページ(数)・印・表記など</p>	<p>【2年】 音色：歌詞に合わせて歌う(P10～P11) 声の感じを変えながら歌う(P12～P13) 曲の感じが変わるところを見つけて歌う(P30～P31) 様子を歌で表す(P32～P33) 身の回りの音を見つける(P34～P35) 歌詞に合う楽器を見つける(P38～P39) 歌詞で太鼓や笛を表す(P44～P45) 太鼓と声でお祭りの音楽をつくる(P47) 音の出し方を考えて演奏する(P56～P55) リズム：歌に合わせてリズムであそぶ(P4～P5) 歌の代わりにリズムを打つ(P16) 音の長さを比べる(P18～P19) 言葉のリズムであそぶ(P20～P21) リズムをつないで演奏する(P26～P27) 歌に合わせてリズムを打つ(P38～P39) はずむリズムにのって歌う(P44～P45) 太鼓のリズムをつくる(P47) リズムを変えて演奏する(P64～P65) 速度：速さを変えてあそぶ(P17、P18～P19) 速さを変えて演奏する(P50～P51) 旋律：曲の感じが変わるところを見つける(P30～P31) 旋律を重ねて歌う(P52～P53) 強弱：強さを考えて歌う(P10～P11) 強さを変えながら歌う(P12～P13) 近づいたり離れたりしながら、呼びかけ合って歌う(P14～P15) 身の回り強い音や弱い音を見つける(P34～P35) 音の重なり：ずれながら音を重ねる(P24～P25) 音を重ねて演奏する(P26～P27、P50～P51、P54～P55) 音階：鍵盤のドレミファソの位置を確かめる(P22～P23) 階名唱をする(P24～P25) 音の高さを選んで演奏する(P26～P27) 拍：拍にのってリズムであそぶ(P16～P17) 拍にのって歌う(P18～P19、P52～P53) 拍にのって、言葉のリズムであそぶ(P20～P21) フレーズ：1段ずつのフレーズを丁寧に演奏する(P24～P25) 反復：何回も繰り返して演奏する(P50～P51) 呼びかけとこたえ：2つのグループに分かれて呼びかけ合って歌う(P12～P15) 変化：曲の感じが変わるところを見つける(P30～P31) 音楽の縦と横の関係：輪唱であそぶ(P24～P25)  ◇新しく覚える記号 音ぷや休ふ：ぜん音ぷ、2分音ぷ、4分音ぷ、8分音ぷ、4分休ふ(P19) 8分休ふ(P21)</p>	<p>【2年】 音色：互いの声をよく聴いて歌う(P6～P7) 明るい声で歌う(P20～P21) 声や音の感じに気を付けて演奏する(P22～P23) 身の回りの音を声で表す(P28～P29) 声の出し方に気を付けて歌う(P30～P31) 打楽器の音の組み合わせを楽しむ(P46～P49) 歌詞の感じが伝わるように歌う(P50～P51、P54～P55、P62～P63、P68～P69) 歌詞の様子を思い浮かべながら演奏する(P56～P57、P64～P65) リズム：2拍子の手あそびをする(P14～P15) 3拍子の手あそびをする(P16～P17) リズムに合わせて演奏する(P26～P27) 2拍子に合わせてリズムを打つ(P32～P33、P36～P37) 3拍子に合わせてリズムを打つ(P34～P35) 2拍子のリズムをつくる(P40～P41) 4拍子のリズムの組み合わせる(P46～P47) 打楽器でリズムを打つ(P48～P49) リズムに気を付けて歌う(P50～P51) 速度：速度に気を付けて歌う(P54～P55) 旋律：音の高さに気を付けながら歌う(P20～P21、P38～P39) 音の高さに気を付けながら演奏する(P22～P25) 音を選んで旋律をつくる(P26～P27) 歌詞の感じを生かして歌う(P30～P31) 歌詞の感じが伝わるように歌う(P50～P51、P54～P55、P68～P69) 歌詞の様子を思い浮かべながら演奏する(P56～P57、P64～P65) 3つの音で旋律をつくる(P60～P61) 手拍子や掛け声の部分に注目して演奏する(P62～P63) 強弱：声の強さに気を付けて歌う(P10～P11、P54～P55) 声の強さを試しながら見つけた鳴き声を伝え合う(P28～P29) 声の感じや強さに気を付けて歌う(P56～P57) 音の重なり：歌と鍵盤ハーモニカの音を聴き合いながら演奏する(P26～P27) 見つけた鳴き声を組み合わせる音楽をつくる(P28～P29) 2つのリズムの重なりを気を付けて演奏する(P32～P37) いろいろな打楽器の音の重ね方を試す(P48～P49) 音の重なりを気を付けて演奏する(P64～P65) 拍：拍に合わせて体を動かす(P6～P7) 拍にのって歌う(P10～P11) 拍にのって手あそびをする(P14～P17) 拍にのって演奏する(P32～P37、P60～P61) 拍にのってリズムを打つ(P40～P41) フレーズ：旋律のまとまりに気を付けて演奏する(P24～P25) 旋律のまとまりに気を付けて歌う(P38～P39) 反復：何度も繰り返す鳴き声をつくる(P28～P29) 旋律が繰り返されているところを見つける(P38～P39) 繰り返しを使ってリズムをつくる(P40～P41、P46～P47) 同じ言葉が繰り返されていることについて考える(P68～P69) 呼びかけとこたえ：2つの組に分かれて歌う(P6～P7、P10～P11) 作ったリズムを2人組でつなげる(P46～P47) 手拍子や掛け声の部分に注目して演奏する(P62～P63) ◇いろいろな音ぷ・休ふ 4分音ぷ、4分休ふ(P32)、8分音ぷ、8分休ふ(P36)、2分音ぷ(P47)</p>

調査項目	17 教出	27 教芸
<p>〔共通事項〕の内容を示すページ(数)・印・表記など</p>	<p><b>【3年】</b>                      音色：声の出し方や発音を工夫する。(P26～P27)                          曲に合った歌い方を見つける。(P38～P39)                          楽器の音色を楽しんで表現する。(P60～P61)                      リズム：打楽器のリズムにのって演奏する。(P48～P49)                          リズムを生かした音遊びをする。(P8)                      速度：速度の変化を楽しむ歌や遊びをする。(P46～P47)                      旋律：旋律の特徴を生かして歌う。(P26～P27)                          日本や世界の楽曲の旋律に親しむ。(P44、P46～P47)                      強弱：強弱を工夫して音楽づくりをする。(P28～P29)                      音の重なり：二つの旋律を重ねて歌う。(P12～13)                          音の重なる響きを楽しむ。(P48～P49)                          音の組み合わせ方や重ね方を工夫して音楽づくりをする。(P50～P51)                          歌声や旋律の重なりを楽しんで表現する。(P52～P53)                      音階：ハ長調による音階曲を演奏する。(P8、P10～P11、P12～13)                      拍：4分の2拍子を演奏する。(P45)                          4分の3拍子を演奏する。(P46～P47)                      反復：反復を楽しんで表現する。(P38～P39)                      呼びかけとこたえ：呼びかけとこたえを楽しんで表現する。(P52～P53)                      変化：曲想の変化に注目して歌う。(P26～P27)                          変化を楽しんで表現する。(P38～P39)                          音楽の縦と横との関係：伴奏に合わせて旋律を作る。(P50～P51)                      ◇新しく覚える記号                          ブレス(P11) 付点2分音符、付点4分音符(P11) 小節、縦線、終止線、ト音記号、下第1線、第1線、第2線、第3線、第4線、第5線、下第一間、第1間、第2間、第3間、第4間、第5間(P11)   <b>【4年】</b>                      音色：音色を聴き合いながら楽しく歌う。(P22～P23)                          響きを大切にしながら歌い方を工夫する。(P30～P31)                          民謡に合った歌い方を見つける。(P40～P41)                          いろいろな歌声を楽しんで聴く。(P60～P61)                      リズム：おほやしのリズムを楽しもう。(P44～P45)                          世界に伝わるいろいろなリズムや歌を楽しむ。(P46～P49)                          旋律やリズムを生かして演奏する。(P52～P53)                      旋律：拍の流れや旋律の感じを生かして演奏する。(P18～P19)                          旋律の違いを感じ取り、いろいろな歌の表現を楽しむ。(P20～P21)                          音の動きを生かして旋律をつくる。(P26～P27)                          旋律の動きを生かして歌い方を工夫する。(P30～P31)                          旋律の特徴を生かして歌う。(P32～P33) 民謡を楽しむ。(P40～P41)                          世界に伝わるいろいろなリズムや歌を楽しむ。(P46～P47)</p>	<p><b>【3年】</b>                      音色：声の出し方や発音を工夫する。(P10～P11、P42～P43、P44～P45、P48、P66～P67)                          楽器の音色を楽しむ。(P22～P29、P56～P57、P68～P69)                          金管楽器の音色に親しむ。(P52～P55)                          いろいろな音の響きをかめながら音楽づくりをする。(P58～P59)                          日本の伝統的な音楽を鑑賞する。(P62～P63)                      リズム：手拍子でリズムをつくる。(P9、P34～P35)                          4拍子の拍にのって歌う。(P14～P15)                          旋律やリズムを生かした表現を工夫する。(P44～P45)                          お囃子のリズムに親しむ。(P62～P63)                          しめだいこのリズムを演奏する。(P62)                      速度：曲想にふさわしい速度を感じ取って鑑賞する。(P60～P63)                      旋律：音の高さの違いに注目して、階名唱やリコーダー奏をする。(P26～P33)                          音の上がり下がりや曲の山、スタッカートやレガートなどの特徴に注目して表現したり鑑賞したりする。(P36～P37、P38～P39、P42～P43、P46～P47、P68～P69)                          旋律の反復や変化を楽しんで表現する。(P48、P66～P67)                      強弱：曲想の強弱に注目して表現する。(P42～P43)                      音の重なり：旋律の重なりを楽しみながら聴く。(P46～P47)                          旋律の重なりを感じ取って歌う。(P48)                          楽器同士の重なり合う響きを楽しんで表現する。(P50～51、P56～57、P58～59、P68～69)                      音階：ハ長調の音階による曲を演奏する。(P16～P17)                      拍：手拍子で4拍子のリズムをつくる。(P9)                          4分の4拍子の演奏をする。(P14～P15、P33、P34～P35、P52～P53、64～P65)                          4分の2拍子の演奏をする。(P30～P31)                          4分の3拍子の演奏をする。(P32～P33、42～P43)                      フレーズ：旋律のまとまりを感じて演奏する。(P42～P43、68～P69)                      反復：反復を用いた音楽づくりをする。(P34～P35)                          ア→イ→アの構成に注目して鑑賞する。(P46～P47)                      呼びかけとこたえ：呼びかけとこたえを用いた音楽づくりをする。(P58～P59)                      変化：変化を用いた音楽づくりをする。(P34～P35)                      音楽の縦と横との関係：音の組合せ方を工夫して旋律づくりをする(P18～P19)                      ◇新しく覚える記号                          ブレス(P11) 付点2分音符、付点4分音符(P25) 小節、縦線、終止線、ト音記号、下第1線、第1線、第2線、第3線、第4線、第5線、下第一間、第1間、第2間、第3間、第4間、第5間(P19) 4分の2拍子(P31) 4分の3拍子、4分の4拍子、タイ(P33)   <b>【4年】</b>                      音色：声の出し方や発音を工夫する。(P12～P13、P14～P15、P18～P19、P30～P31)                          打楽器の材質を生かして表現する。(P22～23、P32～33、P42～43、P48～51、P56～57 P66～67)                      リズム：旋律や伴奏のリズムを生かして表現する。(P8～9、P20～P21、P22～P23)                          リズムのまとまりを用いた音楽づくりをする。(P24～P25)                      旋律：音の上がり下がりや曲の山、スタッカートやレガートなどの特徴に注目して表現する。(P8～P9、P10～P11、P12～P13、P14～P15、P18～P19、P30～P31、P32～P33、P36～P37、P38～P39、P42～P43、P46～P47、P56～P57、P62～P63、P66～P67)                      強弱：曲想の変化と強弱に注目して表現する。(P20～P21、P30～P31、P36～P37、P62～P63)                          パートのバランスに留意して表現する。(P48～P51)                      音の重なり：歌声や旋律の重なりを楽しんで表現する。(P8～9、P14～15、P20～21、P38～39、P46～47)                          歌と楽器、楽器同士の重なり合う響きを楽しんで表現する。(P22～P23、P42～P43、P48～P51、P56～P57)</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>〔共通事項〕 の内容を示すページ(数) ・印・表記など</p>	<p>表現</p> <p>強弱：曲想の変化と強弱に注目して表現する。(P16～P17) クレッシェンド、デクレッシェンドを意識して歌う。(P32～P33)</p> <p>音の重なり：歌と楽器、楽器同士の重なり合う響きを楽しんで表現する。(P34～P35) おはやしの楽器の音の重なりを楽しもう。(P44～P45) 世界に伝わるいろいろなリズムや歌を楽しむ。(P46～P47) いろいろな打楽器を重ねて演奏し、サンバの演奏を楽しむ。(P48～P49)</p> <p>音階：音階をもとにして音楽をつくろう。(P50～P51)</p> <p>調：変調を感じ取る。(P54～P55)</p> <p>拍：拍の流れにのって歌う。「ラバーズ・コンチェルト」(P14) 4分の4拍子の指揮をする(P14) 4分の3拍子の指揮をする。(P15) 4分の2拍子の指揮をする。(P16～17) 拍の流れや旋律の感じを生かして演奏する。(P18～19)</p> <p>フレーズ：歌詞のまとまりを感じて表現する。(P22～P23) 音の動き方とフレーズを生かして旋律をつくる。(P26～P27) 旋律のまとまりを意識して歌う。(P32～33) 楽器パートの役割を生かして表現する。(P52～53)</p> <p>反復：反復に着目して表現する。(P34～35) おはやしの反復に気付き音楽づくりを楽しむ。(P44～45)</p> <p>呼びかけとこたえ：呼びかけとこたえを意識して歌う。(P32～P33)</p> <p>音の縦と横との関係：二つの旋律の重なりや呼びかけを楽しみながら歌う。(P22～P23) パートの役割や重なり方を感じ取って演奏する。(P52～P53)</p> <p>◇新しく覚える記号 付点8分音符(P23) 16分音符(P23) 繰り返し記号(P49) スタッカート(P31) シャープ、ナチュラル、タイ(P23) クレッシェンド、デクレッシェンド(P33) 4分の2拍子(P16) 4分の3拍子(P15) 4分の4拍子(P14)</p> <p>【5年】</p> <p>音色：曲の特徴を見つける(P26～P27) 特徴のある声の出し方や節まわしをまねしたり見つけたりする(P38～P39) どのような声や感じで歌ったらよいかを考える(P42～P43) スキーのときのスピード感や、わくわくする気持ちを思いうかべて歌う。(P48～P49)</p> <p>リズム：各だんのリズムを比べる(P46～P47) リズムをずらして「ずれの音楽」をつくる(P58～P59)</p> <p>旋律：和音に合わせて旋律をつくる(P20～P21) フラットをつけた旋律とつけない旋律で歌い比べる(P38～P39) 旋律の感じを生かして民謡を歌う(P42～43) 旋律の特徴や音の重なりを生かして歌う(P44～45) 各だん旋律の動きを比べ、終わり方が続く感じが落ち着く感じかを感じ取って歌う(P46～47)</p> <p>強弱：曲に合った強弱をとらえながら歌う(P26～P27) 強弱を工夫して歌う(P44～P45) いろいろな声の出し方で言葉を読む(P48～P49)</p> <p>音の重なり：低音のはたらきを感じ取って演奏する(P14～P15) 重なりやかけ合いをきき合って表現する(P36～P37) 音の重なりを生かして歌う(P44～P45) みんなで一緒に読むところと一人で読むところ、重ねるところをつくって表現する(P48～49)</p> <p>和音のひびき：和音のはたらきを感じ取る(P16～P17) 和音や低音のはたらきを感じ取って演奏する(P18～P19) ハ長調の和音を知る(P18～P19) 和音に合わせて旋律をつくる(P20～P21)</p> <p>音階：低音のはたらきを感じ取って演奏する(P14～15) 旋律の音と和音の音を比べる(P16～17)</p> <p>調：低音のはたらきを感じ取って演奏する(P14～P15) 旋律の音と和音の音を比べる(P16～17) ハ長調の和音を知る(P18～P19)</p> <p>フレーズ：フレーズ(旋律の区切り方)を工夫して演奏する(P36～P37)</p> <p>反復：音楽の仕組みを生かして旋律をつくる(P20～21)</p> <p>変化：音楽の仕組みを生かして旋律をつくる(P20～21)</p>	<p>音階：ハ長調による音階曲を演奏する。(P12～P13)</p> <p>調：ハ長調の曲を階名で演奏する。(P12～P13)</p> <p>拍：4分の4拍子を演奏する。(P20～P21、P22～P23、P56～P57、P66～P67) 4分の3拍子の曲を演奏する。(P62～P63) 8分の6拍子を演奏する。(P14～P15)</p> <p>フレーズ：旋律のまとまりを感じて演奏する。(P10～P11、P18～P19、P42～P43)</p> <p>反復：反復を用いた音楽づくりをする。(P24～P25)</p> <p>呼びかけとこたえ：呼びかけとこたえの仕組みを知って表現する。(P24～P25、P36～P37)</p> <p>変化：変化を用いた音楽づくりをする。(P24～P25)</p> <p>音の縦と横との関係：パートの重なり方や楽器の組み合わせを工夫して演奏する。(P46～P47、P48～P49、P66～P67)</p> <p>◇新しく覚える記号 付点8分音符(P13)、16分音符(P13)、8分の6拍子(P15)、メゾフォルテ、フォルテ(P20) 繰り返し記号(P23) スタッカート、ピアノ、メゾピアノ(P31) シャープ(P57)、クレッシェンド、デクレッシェンド(P64)</p> <p>【5年】</p> <p>音色：曲の感じを生かして明るい声で歌う(P10～P11) 歌詞の様子を思いうかべたり、歌詞にこめられた気持ちについて考えたりしながら歌う(P14～15) 息の使い方や音の合わせ方を工夫して演奏する(P16～P17) 楽器の音色の特徴を生かして表現を工夫する(P24～P25) 打楽器の音色を生かしてリズムアンサンブルをつくる(P32～P33) 音色をとけ合わせるように声を重ねて歌う(P36～37) 曲想の変化を感じ取って歌う(P40～41) 曲想を生かして合奏する(P42～43) 声の種類や合唱の形態について知る(P48～49) 歌に合う声の感じを考えて歌う(P56～57) 思いが伝わるように演奏する(P62～63) 歌詞の表す気持ちを大切に歌う(P64～P65)</p> <p>リズム：付点8分音符と16分音符をつなげたリズムを生かして歌う(P14～P15) リズムの特徴を工夫してリズムアンサンブルをつくる(P32～P33) リズムの特徴を生かして歌う(P40～41) リズムの楽しさを感じ取って歌う(P48～49) リズムの特徴を生かして、曲想にふさわしい歌い方を工夫する(P52～P53)</p> <p>速度：速度の特徴を生かして、曲想にふさわしい歌い方を工夫する(P52～P53) 速度の特徴を考えて、歌い方を工夫する(P56～P57)</p> <p>旋律：旋律のくり返しに気をつけて演奏をきく(P10～P11) 旋律の特徴を生かして、明るい声で歌う(P14～P15) 和音のひびきの移り変わりを感じ取りながら旋律を歌う(P34～P35) 和音のひびきの移り変わりを感じ取りながら旋律をつくる(P38～P39) 旋律に気をつけて、曲想のちがいを生かした歌い方を工夫する(P40～P41) 旋律の特徴に気をつけて、曲想のちがいを生かした演奏の仕方を工夫する(P42～P43) 旋律による曲想の違いを感じ取り、曲想を生かして歌う(P48～P49) 旋律による曲想の違いを感じ取り、曲想を生かして歌う(P50～P51) 旋律の音の上がり下がりに気をつけて、曲想にふさわしい歌い方を工夫する(P52～P53) 2つの旋律のちがいに気をつけて歌う(P56～57) 旋律の特徴に注目して歌う(P64～65)</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>〔共通事項〕の内容を示すページ(数)・印・表記など</p>	<p>表現</p> <p>拍：リズム伴奏をつかって、合わせて演奏する (P36～P37)                  拍にとられない日本の音楽を知る (P38～P39)                  拍の流れにのって歌う (P46～P47)                  音楽のたてと横との関係：自分のパートの役割を考えて声の強さや音色を工夫する (P26～P27)                  重なりやかけ合いをきき合って表現する (P36～P37)                  ずらし方を工夫して、「ずれの音楽」をつくる (P58～P59)</p> <p>◇新しくおぼえる記号                  速度記号 (P8) ピアノ、メゾピアノ、メゾフォルテ、フォルテ (P9) アクセント (P9) ヘ音記号 (P15)                  8分の6拍子 (P29) スラー (P29) フラット (P38)</p> <p>【6年】                  音色：楽器を選んでアンサンブルを楽しむ (P34～P35)                  声のひびき合いを楽しむ (P26～P27)                  リズム：楽器を選んでアンサンブルを楽しむ (P34～35) リズムにのって世界の音楽を楽しむ (P40～41)                  せん律：歌詞と旋律の関係に注目してきいたり歌ったりする (P18～P19)                  言葉と旋律のもつリズムの関わりをとらえて歌う (P32～P33)                  じゅんかんコードに合わせて旋律を演奏する (P36～P37)                  雅楽の旋律を味わって歌う (P44～P45)                  強弱：強弱の変化に注目してきいたり歌ったりする (P18～P19) 強弱を生かしながら歌う (P32～P33)                  音の重なり：旋律の重なりをきき合って演奏する (P28～P29)                  雅楽の旋律のもつ雰囲気を感じ取って歌う (P44～P45)                  音階：イ短調とハ長調の音階を比べる (P14～15) 音階をもとにした音楽をつくる (P52～53)                  調：ハ長調とイ短調を比べる (P14～P15)                  拍：拍を意識して演奏する (P28～P29)                  フレーズ：フレーズを楽しみながらくり返して歌う (P40～P41)</p>	<p>強弱：曲の山を生かして歌う (P14)                  強弱に気をつけて、曲想のちがいを生かした歌い方を工夫する (P40～P41)                  強弱に気をつけて、曲想のちがいを生かした演奏の仕方を工夫する (P42～P43)                  強弱記号に気をつけて歌う (P50～P51)                  音楽のもり上がりを意識して、強弱記号を生かした演奏の仕方を工夫する (P62～P63)                  強弱記号に注目しながら、大切に歌いたい部分の表現を工夫する (P64～P65)</p> <p>音の重なり：たがいの音をきき合って演奏する (P16～P17)                  旋律の重なり方のちがいを確かめる (P18～P19)                  全体のひびきの変化を考えながら、パートの重ね方を工夫する (P24～P25)                  自分たちがイメージした音楽になるように、重ね方を工夫する (P32～P33)                  声が重なり合うひびきのちがいを生かして合唱する (P36～P37)                  たがいの音や伴奏をきき合って演奏する (P42～P43)                  それぞれのパートの音や、楽器の音が重なる全体のひびきをききながら、音を合わせて演奏する (P62～63)</p> <p>和音のひびき：和音のひびきの移り変わりを感じ取る (P34～P35)                  和音のひびきを感じ取りながら合唱する (P36～P37)                  和音のひびきを感じ取りながら旋律をつくる (P38～P39)</p> <p>音階：短調の音階でできている曲であることを確かめる (P16～P17)                  調：短調のひびきを感じ取って演奏する (P16～P17)                  長調のひびきを感じ取って歌う (P34～P35)</p> <p>フレーズ：言葉の感じと旋律が一体となって曲想を生み出していることに注目しながらきく (P48～49)                  言葉のまとまりに気をつけて歌詞を声に出して読む (P50～P51)</p> <p>反復：音楽の仕組みを工夫してリズムアンサンブルをつくる (P32～P33)                  よびかけとこたえ：音楽の仕組みを工夫してリズムアンサンブルをつくる (P32～P33)                  「よびかけ」と「こたえ」に分かれて合唱する (P36～P37)                  楽器の音の鳴らし方に気をつけながら、たがいの音や伴奏をきき合って演奏する (P42～43)</p> <p>変化：音楽の仕組みを工夫してリズムアンサンブルをつくる (P32～P33)                  音楽のたてと横との関係：歌声が重なり合うひびきを感じ取りながら合唱する (P18～P19)                  楽器の音が重なり合うひびきを味わいながらきく (P20～P21)</p> <p>◇新しくおぼえる記号                  アクセント (P25) ヘ音記号 (P25) ナチュラル (P40) くり返し記号 (P40) フラット (P56) スラー (P63)</p> <p>【6年】                  音色：明るくひびきのある声で歌う (P10～P11)                  発音の仕方や声の出し方に気をつけて歌う (P14～P15)                  それぞれの楽器の音色を生かして合奏する (P20～P21)                  それぞれの声の音色を生かしてボイスアンサンブルをつくる (P22～P23)                  呼吸や発音の仕方に気をつけて歌う (P32～P33)                  歌詞をよく読み、曲想を感じ取りながら歌う (P40～43)                  曲に雰囲気を感じ取ってふさわしい歌い方を工夫する (P46～P47)                  曲の特徴にふさわしい歌い方を工夫する (P50～P51)                  曲の特徴にふさわしい演奏の仕方を工夫する (P52～P53)                  リズム：主旋律とリズム伴奏のバランスを考えて演奏する (P20～P21)                  リズム伴奏を声で演奏する (P22～23) リズムに注目して、曲の特徴を見つける (P44～45)                  速度：曲の速さは曲想を特徴付ける要素の一つであることを理解する (P10～P11)                  旋律：旋律の音の動きに注目しながら歌う (P10～P11)                  旋律のまとまりに気をつけて、歌詞の表す内容や曲想にふさわしい歌い方を工夫する (P14～ 15)</p>

教科・種目名 音楽 調査研究事項

調査項目	17 教出	27 教芸
<p>〔共通事項〕の内容を示すページ(数)・印・表記など</p>	<p>表現</p> <p>反復：旋律やひびきの変化をとらえて演奏する(P14～P15)                  旋律の動きや重なりをきき合って演奏する(P28～P29)                  楽器を選んでアンサンブルを楽しむ(P34～P35)</p> <p>呼びかけと答え：楽器を選んでアンサンブルを楽しむ(P34～P35)</p> <p>変化：旋律やひびきの変化をとらえて演奏する(P14～P15)</p> <p>音楽の縦と横との関係：伴奏の効果に注目してきいたり歌ったりする(P18～P19)                  旋律の組み合わせをためしてひびき合いを楽しむ(P26～P27)                  旋律の重なりをきき合って演奏する(P28～P29)                  音を重ねながら盛り上がることを工夫して歌う(P32～P33)                  楽器を選んでアンサンブルを楽しむ(P34～P35)                  伴奏のリズムにのって演奏する(P40～P41)                  重ね方を工夫して音階をもとにした音楽をつくる(P52～P53)</p> <p>◇新しく覚える記号 なし</p>	<p>それぞれのパートの役割を生かして演奏する(P20～P21)                  旋律をつなげたり重ねたりして音楽をつくる(P30～P31)                  歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を味わいながら歌う(P32～P33)                  旋律の音の上がり下がりに注目しながら曲の特徴を見つける(P44～P45)                  歌詞の内容や旋律の音の動きなどに注目して日本に古くから伝わる歌の特徴を見つける(P46～47)                  旋律の音の動きやまとまりに注目しながら歌う(P50～P51)                  旋律の音の動きに注目しながら演奏する(P52～P53)                  旋律に注目しながら歌って、曲の特徴を確かめる(P54～P55)</p> <p>強弱：強弱の変化に気をつけて、歌詞の表す情景や曲想にふさわしい歌い方を工夫する(P14～15)                  強弱の変化に気をつけて歌い、曲想にふさわしい歌い方を工夫する(P32～33)                  作詞者や作曲者の思いがいちばん強くこめられているところを考える(P40～P43)                  強弱に注目しながら曲の特徴を見つける(P44～45) 強弱に注目しながら歌う(P54～P55)</p> <p>音の重なり：音量のバランスに気をつけて、全体のひびきを味わいながら合奏する(P20～21)                  声のひびきが重なるおもしろさや全体のまとまりを考えてボイスアンサンブルをつくる(P22～P23)                  旋律の重なり方のちがいを感じ取り、歌声がひびき合うように歌い方を工夫する(P26～27)                  旋律の重なり方のちがいに気をつけて、曲想を生かした演奏の仕方を工夫する(P28～29)                  作詞者や作曲者の思いがいちばん強くこめられているところを考える(P40～P43)                  いちばん大切に歌いたいところが伝わるように歌い方を工夫する(P50～P51)                  音の重なり方のちがいに注目しながら演奏する(P52～53)                  自分のパートと友達のパートをよくきき合いながら、声の音色や重ね方に気をつけて歌う(P54～P55)</p> <p>和音のひびき：和音のひびきの移り変わりを感じ取りながらたがいの歌声をきき合って歌う(P26～27)                  和音のひびきのちがいに気をつけて曲想を生かした演奏の仕方を工夫する(P28～P29)                  和音のひびきを感じ取って表現を工夫する(P30～P31)</p> <p>調：短調と長調の和音のひびきのちがいに気をつけて曲想を生かした演奏の仕方を工夫する(P28～P29)</p> <p>拍：いろいろな国の音楽の雰囲気味わいながらきく(P48～P49)</p> <p>反復：旋律のくり返しに注目してきく(P16～P17)                  旋律のくり返しに注目してきく(P34～P35)</p> <p>変化：楽器の音色の変化に注目してきく(P16～17) 旋律の変化に注目してきく(P34～35)</p> <p>フレーズ：言葉や旋律のまとまりに気をつけて、曲想にふさわしい歌い方を工夫する(P14～15)                  歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を味わいながら、歌い方を工夫する(P32～33)                  歌詞の表す情景や気持ちと曲想との関わりを考えながら、歌い方を工夫する(P44～P45)                  言葉や旋律のまとまりを大切にしながら声を合わせて歌う(P50～P51)                  気持ちを合わせて、美しいひびきで演奏する(P52～P53)</p> <p>よびかけと答え：自分のパートと友達のパートをよくきき合いながら、声を合わせて歌う(P54～P55)</p> <p>変化：曲想が大きく変化しているところを見つける(P40～P43)</p> <p>音楽の縦と横との関係：声のひびきが重なるおもしろさを生かしてボイスアンサンブルをつくる(P22～23)                  音の重なり方に気をつけて、全体のひびきを味わいながら演奏する(P28～29)                  旋律を重ねて音楽をつくる(P30～P31)</p> <p>◇新しくおぼえる記号 速度記号(P11)</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>〔共通事項〕の内容を示すページ(数)・印・表記など</p>	<p><b>鑑賞</b></p> <p><b>【1年】</b>                      音色：シンバルの音に気を付けながら聴く(P45)                      リズム：ジェンカのリズムであそぶ(P20～P21)                      速度：速度に合わせて動く(P6～P7) 速度に合わせて歩く(P8～P9)                      旋律：旋律の感じに合わせて動く(P6～P7)                      歌の旋律に合わせて体を動かす(P30～P31) 同じ旋律に気を付けて聴く(P52～P53)                      強弱：強さに合わせて歩く(P8～P9) 強さに気を付けて聴く(P45)                      音階：音の高さに合わせて動く(P28～P29)                      拍：拍に合わせて動く(P6～P7) 拍に合わせて歩く(P8～P9)                      反復：ジェンカのリズムを繰り返し踊る(P20～P21) 旋律の反復に気を付けて聴く(P52～P53)                      呼びかけとこたえ：お話している様子を思い浮かべて聴く(P52～P53)                      変化：音楽の変化に合わせて歩く(P8～P9) 音楽の変化に気を付けて聴く(P52～P53)</p> <p><b>【2年】</b>                      音色：虫の声を表している歌を聴く(P32～P33)                      楽器の音色に気を付けて聴く(P36～37、P48～49、P54～55) 太鼓の音を楽しむ(P46)                      リズム：演奏されているリズムに気を付けて聴く(P36～37) 太鼓のリズムに気を付けて聴く(P46)                      速度：速さに気を付けて聴く(P8～P9、P50～P51)                      旋律：旋律に合わせて体を動かす(P48～P49)                      強弱：強さに気を付けて聴く(P8～P9、P58)                      音の重なり：音の重なりで気を付けて聴く(P50～P51、P54～P55)                      拍：拍にのって体を動かしながら聴く(P52～P53)                      反復：旋律の反復に気を付けて聴く(P8～P9、P48～P49、P50～P51、P58)                      呼びかけとこたえ：2つの組に分かれ、歌のまねっこに合わせて身振りをする(P12～P13)                      変化：音楽の変化に気を付けて聴く(P8～9) 旋律の変化に気を付けて聴く(P48～49)                      音楽の縦と横の関係：音楽の縦と横の関係に気を付けて聴く(P58)</p> <p><b>【3年】</b>                      音色：楽器の音色を楽しんで鑑賞する。(P34～P37、P56～P57)                      旋律：旋律の反復や変化を楽しんで鑑賞する。(P34～P35、P36～P37)                      日本や世界の楽曲の旋律に親しむ。(P44、P46～P47)                      音の重なり：歌声や旋律の重なりを楽しんで表現したり鑑賞したりする。(P52～P53)                      反復：反復に着目して鑑賞する。(P34～P35、P56～P57)                      呼びかけとこたえ：呼びかけとこたえを楽しんで表現したり鑑賞したりする。(P52～P53)                      変化：曲想の変化に注目して鑑賞する。(P34～P37、P56～P57)</p> <p><b>【4年】</b>                      音色：響きのある歌声を鑑賞する。(P20～P21)                      金管楽器の比較演奏を鑑賞する。(P34～35) いろいろな歌声を楽しんで聴く。(P60～61)                      リズム：おはやしのリズムを楽しもう。(P44～P45)                      世界に伝わるいろいろなリズムや歌を楽しむ。(P46～P49)                      速度：速度の変化に注目して鑑賞する。(P16～P17、P54～P55)                      旋律：旋律に注目して鑑賞する。(P34～P35、P54～P55)                      強弱：曲想の変化と強弱に注目して鑑賞する。(P16～P17)                      音の重なり：歌と楽器、楽器同士の重なり合う響きを楽しんで鑑賞する。(P34～P35)                      おはやしの楽器の音の重なりを楽しもう。(P44～P45)                      世界に伝わるいろいろなリズムや歌を楽しむ。(P46～P47)                      調：変調を感じ取る。(P54～P55)</p>	<p><b>【1年】</b>                      音色：鍵盤ハーモニカの音を聴く(P41) 楽器の音色に気を付けて聴く(P50～51、P58～59)                      リズム：リズムに合わせて動く(P10～11、P76～77) 演奏されるリズムに気を付けて聴く(P58～59)                      速度：速度に合わせて体を動く(P6～7、P10～11) 速度に気を付けて聴く(P62～63)                      旋律：旋律の感じに合わせて動く(P6～7、P76～77) 旋律から様子を感じ取る(P41、P62～63)                      旋律の呼びかけ合いに気を付けて聴く(P50～P51)                      強弱：強さに合わせて動く(P6～P7) 強さに気を付けて聴く(P41、P62～P63、P76～P77)                      拍：拍に合わせて動く(P10～P11)                      呼びかけとこたえ：旋律の呼びかけ合いに気を付けて聴く(P50～P51)</p> <p><b>【2年】</b>                      音色：打楽器の音色に気を付けて聴く(P44～P45) 様子を思い浮かべて聴く(P52～P53)                      わらべうたで遊ぶ様子を思い浮かべて聴く(P58～P59)                      いろいろな楽器の音に気を付けて聴く(P66～P67)                      リズム：リズムに気を付けて聴く(P8～9、P12～13) 2拍子と3拍子の違いに気を付けて聴く(P18～19)                      旋律：主な旋律に気を付けて聴く(P18～P19) 2つの旋律に気を付けて聴く(P42～P43、P66～P67)                      旋律の表す様子に気を付けて聴く(P52～P53) わらべうたの旋律に親しむ(P58～P59)                      強弱：強弱に気を付けて聴く(P42～P43)                      音の重なり：旋律の重なりで気を付けて聴く(P66～P67)                      拍：拍に合わせて体を動かしながら聴く(P8～P9、P12～P13、P58～P59)                      拍のまとまりを感じ取りながら聴く(P18～P19)                      フレーズ：わらべうたのフレーズに親しむ(P58～P59)                      反復：繰り返されるリズムに気を付けて聴く(P42～P43) 旋律の反復に気を付けて聴く(P52～P53)</p> <p><b>【3年】</b>                      音色：声の特徴に注目して鑑賞する。(P16～17)                      日本の伝統的な音楽を鑑賞する。(P26～27、P58～59、P62～63)                      楽器の音色を楽しんで鑑賞する。(P34～P35、P52～P55P、P68～P69)                      速度：曲想にふさわしい速度を感じ取って鑑賞する。(P68～P69)                      旋律：音の上がり下がりや曲の山、スタッカートやレガートなどの特徴に注目して鑑賞する。(P16～17、P26～27、P34～35、P38～39、P52～55、P58～59、P68～69)                      強弱：曲想に合わせた強弱の効果を楽しんで聴く。(P68～P69)                      音階：日本の伝統的な音階に親しむ。(P62～P63)                      音の重なり：旋律の重なりを楽しみながら聴く。(P16～P17、P38～P39)                      反復：構成に注目して鑑賞する。(P38～P39、P62～P63 P68～P69)                      変化：曲想の変化に気付いて聴く。(P58～P59)                      呼びかけとこたえ：旋律の呼びかけとこたえの効果を確認しながら聴く。(P16～P17)</p> <p><b>【4年】</b>                      音色：2人の歌声のちがいに注目しかけ合いをしたり重なったりする部分に気をつけてきく(P17)                      声や楽器の音色のとくちょうに気を付けてきき、音楽のよさを味わう(P26～27)                      主なせんりつの音の上がり下がり音色に気をつけてこの曲のよさを考える(P34～35)                      組曲「動物の謝肉祭」にはいろいろな動物たちが登場します。「白鳥」とくらべてどんなとくちょうのちがいがあるのか考える(P34～35)                      フルートの音色のよさを味わって音楽をきく(P53)                      木管楽器と金管楽器の音色の感じのちがいに気をつけてきく(P54～55)                      ことの音色やせんりつのとくちょうを味わいながらきく(P58～59)                      リズム：「ピーナッツベンダー」の音楽に合わせてリズムを打つ(P22)</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>〔共通事項〕 の内容を示すページ(数)・印・表記など</p>	<p>鑑賞</p> <p>反復：反復に着目して鑑賞する。(P34～P35) 呼びかけとこたえ：呼びかけとこたえの仕組みを知って鑑賞する。(P34～P35) 変化：曲想の変化に注目して鑑賞する。(P34～P35)</p> <p>【5年】 音色：声のいろいろな組み合わせによる合唱のひびきをきく(P22～P23) オーケストラの楽器のひびきを楽しむ(P32～P33) リズム：ずれの音楽を楽しむ(P58～P59) 速度：速度の変化をきき取る(P52～P53) せんりつ：旋律を演奏する楽器の変化をきき取る(P32～P33) 主な旋律のくり返しや変化をきき取る(P52～P53) 音の重なり：声のいろいろな組み合わせによる合唱のひびきをきく(P22～P23) オーケストラの楽器のひびきを楽しむ(P32～33) 反復：旋律を演奏する楽器の変化をきき取る(P32～P33) 主な旋律のくり返しや変化をきき取る(P52～P53) よびかけと答え：主な旋律のくり返しや変化をきき取る(P52～P53) 変化：旋律を演奏する楽器の変化をきき取る(P32～P33) 主な旋律のくり返しや変化をきき取る(P52～P53) 音楽のたてと横との関係：ずれの音楽を楽しむ(P58～P59)</p> <p>【6年】 音色：バイオリンとピアノの音色のひびき合いをきく(P30～P31) 世界のいろいろな声の表現や楽器のひびきを楽しむ(P38～P39) 日本の楽器の音色を味わってきく(P42～P43) リズム：リズムにのって世界の音楽を楽しむ(P40～P41) 速度：演奏の仕方によって感じが変わることを知る(P16～P17) 速度の変化をとらえてきく(P42～P43) せん律：くり返し演奏される旋律に注目してきく(P30～P31) 旋律の変化をとらえてきく(P42～P43) 強弱：演奏の仕方によって感じが変わることを知る(P16～P17) 音の重なり：世界のいろいろな声の表現やさまざまな楽器を組み合わせた合奏をきく(P38～P39) 和音のひびき：和音のひびきによる効果を感じ取る(P14～P15) 音階：ひびきの変化による効果を感じ取る(P14～P15) 調：調の変化による効果を感じ取る(P14～P15) フレーズ：フレーズの重なり方を楽しむ(P40～P41) 反復：旋律やひびきの感じが変わることをきき取る(P14～P15) くり返し演奏される旋律に注目してきく(P30～P31) 旋律や速度の変化などをとらえてきく(P42～P43) 呼びかけと答え：くり返し演奏される旋律に注目してきく(P30～31) 変化：旋律やひびき、速度の変化をきき取る(P14～P15) 演奏される楽器の変化をきき取る(P30～P31) 旋律や速度の変化をとらえてきく(P42～P43) 音楽の縦と横との関係：バイオリンとピアノの関わりやひびき合いを楽しむ(P30～P31) フレーズや音の重なり方を楽しむ(P40～P41)</p>	<p>速度：速さが変化することで場面の様子や曲の気分はどのように変わったかを感じてきく。(P69) 旋律：2人の歌声の重なりに気を付けて聴く(P17) おもなせんりつとばんそうのとくちょうをもとに様子を思いうかべながら音楽をきく(P35) ことの音色やせんりつのとくちょうを味わいながらきく(P58～59) 強弱：強弱が変化することで場面の様子や曲の気分はどのように変わったかを感じてきく。(P69) 音の重なり：2人の歌声の重なりに気を付けて聴く(P17) 「王の行進」と「馬のダンス」のせんりつが重なるおもしろさを感じ取ってきく(P39) 反復：「ペールギュント」の「朝の気分」のせんりつの反復を感じてきく(P69) 呼びかけとこたえ：2人の歌声のかけ合いや重なりを感じとる(P16～P17)</p> <p>【5年】 音色：いろいろな弦楽器の名称と音色を知る(P20～P21) 様々な楽器のひびきに気をつけて、オーケストラを鑑賞する(P26～P29) 声の種類や合唱の形態について知る(P44～49) 箏と尺八の音色の特徴を感じ取って鑑賞する(P54～P55) 曲想が変わるところに気をつけてきく(P62～P63) リズム：言葉のリズムの楽しさを感じ取ってきく(P44～P49) 旋律：旋律の重なり方のちがいに気をつけてきく(P20～P21) 主な旋律を演奏する楽器に注目してきく(P26～P29) 言葉の感じと旋律が一体となって生み出す歌のすばらしさを味わいながらきく(P44～P49) 旋律の感じに気をつけながらきく(P54～P55) 曲のふんいきに気をつけながら民謡をききくらべる(P58～P59) 強弱：曲想が変わるところや、音楽のもり上がるところに気をつけてきく(P62～P63) 音の重なり：旋律の重なり方が移り変わる様子を味わいながらきく(P20～P21) 拍：歌に合わせて手拍子を打って、どんなリズムの曲なのか確かめる(P58～P59) フレーズ：言葉の感じと旋律が一体となって、曲想を生み出していることに注目しながらきく(P44～49) 呼びかけとこたえ：英語で歌われている演奏をきいて「よびかけ」と「こたえ」がどのような感じになっているかを確かめる(P36～P37)</p> <p>【6年】 音色：楽器の音色の変化に注目しながらきく(P16～P17) 声の種類や合唱の形態の違いを味わって鑑賞する(P38～P39) さまざまな楽器の組み合わせから生まれるひびきを味わいながらきく(P46～P47) リズム：歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を味わいながらきく(P36～P37) 速度：音楽に合わせて体を動かしたり指揮のまねをしたりしながらきく(P34～P35) 速度のちがいによる合唱のひびきと曲想の関わりを考えながらきく(P38～P39) 旋律：旋律のくり返しに注目しながらきく(P16～P17) 歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を味わいながらきく(P36～P37) 旋律の音の動きに注目して、日本に古くから伝わる歌の特徴を見つける(P46～P47) さまざまな楽器の組み合わせから生まれる旋律に気をつけながらきく(P48～P49) 強弱：曲想の移り変わりを味わいながらきく(P34～P35) 曲の特徴や演奏について感じ取ったことや気付いたことをまとめ、それらの関わりが生み出す曲のよさを考える(P36～P37) 音の重なり：曲の特徴や演奏について感じ取ったことや気付いたことをまとめ、それらの関わりが生み出す曲のよさを考える(P36～P37) いろいろな種類の合唱のひびきを味わいながらきく(P38～P39) さまざまな楽器の組み合わせから生まれるひびきの美しさに気をつけながらきく(P49) 調：調に注目しながらきく(P34～P35) 拍：いろいろな国の音楽の雰囲気味わいながらきく(P48～P49) 反復：旋律のくり返しに注目してきく(P16～P17)、(P34～P35) 変化：楽器の音色の変化に注目してきく(P16～17) 旋律の変化に注目してきく(P34～35)</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
技能の習得を図るための配慮	<p>◇「カエルマーク」で以前に学習したことを確かめるためのページを示している。(3～6年)</p> <p>◇「まなびナビ」のコーナーや吹き出しなどを使って示している。(全学年)</p> <p>◇「スキルアップ」「歌声」の見出しで歌唱技能を育む常時活動を示している。(3～6年)</p> <p>◇歌唱活動で手話や足踏みなどの体を動かす活動を積極的に取り入れ、第1学年の&lt;どれみのたいそう&gt;は次学年でも活用をめざした汎用性のあるたいそうを提示している。</p> <p><b>【1年】</b></p> <p>◇おはなのようすを、うたやうごきであらわそう(P13)</p> <p>◇きょくにあわせて、からだをゆらしながらうたってみよう。(P27)</p> <p>◇どれみのおとをひとつずつうたいながら、ずのように、てのたかさをかえてみよう。(P29)</p> <p>◇うたにあわせて、からだをうごかしながらうたおう。(P31)</p> <p>◇かしのよんだり、せんりつをどれみでうたったりしてみよう。だんごととにせんりつをくらべて、このきょくのいちばんもりあがる場所をみつけてうたおう。(P41)</p> <p>◇□と□は、ふたつのくみにわかれて、ききあいながらうたおう。(P47、P49)</p> <p>◇□と□は、ふたつのくみにわかれて、よびかけあうようにうたおう。(P51)</p> <p>◇くりかえすところを、すこしずつはやくしてうたおう。(P60)</p> <p><b>【2年】</b></p> <p>◇歌しに合わせて、いろいろな歌い方やみぶりで歌ってみよう。(P10)</p> <p>◇子どもグループと山びこグループとに分かれて、声のかんじや強さをかえながら歌おう。歌う人数をかえたり、グループどうしではなれて歌ったり、近づいて歌ったりしてみよう。(P13)</p> <p>◇近づいたりはなれたりしながら、よびかけ合って歌ってみよう。(P14)</p> <p>◇くりかえすところの歌い方や強さを、いろいろにかえて歌ってみよう。(P43)</p> <p>◇はずむリズムにのって歌おう。(P45)</p>	<p>◇「うたう」のマークで技能の習得のための活動を示している。(全学年)</p> <p>◇歌唱教材の「歌声ルーム」のコーナーで歌唱のポイントを系統的に示している。(全学年)</p> <p>◇「そだてよう」のマークで常時活動について示している。(1～4年)</p> <p>◇二次元コードから主旋律の音源にアクセスすることができる。(全学年)</p> <p>◇「おもいだそう」のコーナーで以前に学習したことを確かめるページを示している。(全学年)</p> <p><b>【1年】</b></p> <p>◇えのなかからうたをみつけて、みんなでいっしょにうたいましょう。(P8)</p> <p>◇はすのはなのようすをおもいうかべながらともだちとこえやからだのうごきをあわせてうたいましょう。(P12)</p> <p>◇「おとでおはなし」の活動例が示されている(P14)</p> <p>◇はくにのって、うたいながら□のところでリズムを手拍子やカスタネットでうちましよう。(P21)</p> <p>◇歌い方について写真で示されている(P21)</p> <p>◇かたつむりはどのようなようすかな。かたつむりによびかけるようなきもちでうたいましよう。(P25)</p> <p>◇うたにあわせて、からだをうごかしながらのびやかなこえでうたいましよう。(P31)</p> <p>◇うたのくみと鍵盤ハーモニカのくみにわかれてえんそうしましよう。(P42)</p> <p>◇おとのたかさにきをつけて、かしのどれみでうたいましよう。(P44)</p> <p>◇□と□をこうたいしながらいろいろなともだちとよびかけあってうたいましよう。(P46)</p> <p>◇「まねっこあそび」の例が示されている(P47)</p> <p>◇こえやおとのだしかたにきをつけて、うたったり鉄琴や鍵盤ハーモニカでえんそうしたりしましよう。(P60)</p> <p>◇きいているひとにかしのかんじがつつたわるようにうたいましよう。(P65)</p> <p>◇ふたりのくみになってあそびながらこえをあわせてうたいましよう。(P68)</p> <p>◇ともだちのこえをよくききながらこえのだしかたにきをつけてうたいましよう。(P71)</p> <p>◇はくにのって、ともだちのこえやがっきのおとをよくききながらいっしょにえんそうしましよう。(P73)</p> <p><b>【2年】</b></p> <p>◇2つのくみに分かれ、たがいのこえをよくきいてうたいましよう。(P6)</p> <p>◇音楽をきいてうたをおぼえたら、みんなで楽しくあそびながらうたいましよう。(P9)</p> <p>◇こえのつよさにきをつけて、よびかけあっているようにうたいましよう。(P10)</p> <p>◇はくにのって、手あそびをしながらうたいましよう。(P15)</p> <p>◇3びょうしをかんじながら、ともだちとこえをあわせてうたいましよう。(P16)</p> <p>◇うたうしせいやいきのすいかたにきをつけて、あかるいこえでうたいましよう。(P20)</p> <p>◇歌う姿勢や息の吸い方について写真と共に示されている(P21)</p> <p>◇こえや音のかんじにきをつけて、うたったり鍵盤ハーモニカをふいたりしましよう。(P23)</p> <p>◇2つのくみに分かれて、たがいのうたごえや鍵盤ハーモニカの音をききあいながら、おいかけっこをしましよう。(P24)</p> <p>◇ともだちのうたごえや鍵盤ハーモニカの音をききあいながらえんそうしましよう。(P26)</p> <p>◇こえの出しかたにきをつけてうたいましよう。(P30)</p> <p>◇3びょうしのはくにのって、うたとリズムをかさねてききあいながらえんそうしましよう。(P34)</p> <p>◇音のたかさにきをつけながら、かしのうたいましよう。(P39)</p> <p>◇自分のこえやともだちのくふうしたうたいかたをききながらうたいましよう。(P50)</p> <p>◇いきのすいかたやこえの出しかたにきをつけて、ともだちのこえとそろうようにうたいましよう(P55)</p> <p>◇こえのかんじやつよさにきをつけてうたいましよう。(P56)</p> <p>◇ともだちといっしょに、あそびながらうたいましよう。(P58)</p>



調査項目	17 教 出	27 教 芸
技能の習得を図るための配慮	<p><b>【3年】</b></p> <p>◇スキルアップ 「ア ラム サム サム」(P6～P7)</p> <p>◇イウエは、楽譜でトレミを確かめながら歌おう。ウでは、2つの重なる旋律が、聴いている人に伝わるように歌いたいね。(P13)</p> <p>◇手合わせをしながら、リズムにのって歌ってみよう。(P17)</p> <p>◇まなびリンク 「ヤッホーのイメージを声で表現しよう」(P29)</p> <p>◇「歌声」気持ちよく声を出そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠くに呼びかけるように歌って、気持ちよく声を出そう。</li> <li>・友達の声聴きながら歌おう。</li> <li>・歌う前に、首や腕、腰などを回して体の力を抜こう。</li> <li>・体の力を抜いて、背筋を伸ばして歌ってね。</li> <li>・あくびをしたときに、喉の奥で冷たく感じるところを見つけよう。</li> <li>・冷たく感じるところを開くような気持ちで歌ってね。(P43)</li> </ul> <p><b>【4年】</b></p> <p>◇「歌声」言葉をはっきりと歌おう(P8～P9)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口をしっかりと動かして、きく人に言葉が伝わるようにはっきりと歌おう。(P8)</li> <li>・いろいろな速さで歌ってみよう。(P8)</li> <li>・なれてきたら、輪唱してみよう。(P8)</li> </ul> <p>◇拍の流れにのって、歌ったり演奏したりしよう。(P19)</p> <p>◇「歌声」おなかを使って歌おう。スタッカートのついているところはどんな感じで歌うとよいか。(P31)</p> <p>◇「歌声」おなかを使って歌おう。(P31)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かたを楽にして、おなかに手を当てながらうたってみよう。「ゆかいに歩けば」の前半部分をピ、ポ、マなどの言葉で、歌ってみよう。(P31)</li> </ul> <p>◇「ピンヨロー」のフレーズはどんな感じで歌いたいかな。いろいろな強さや感じで歌ってためしてみよう。(P32)</p> <p><b>【5年】</b></p> <p>◇「学び合う音楽」で、音楽活動に協働して取り組めるように、学び方の例を示している。</p> <p>◇旋律の中にある「タッカ」のリズムを「タタ」に変えて歌い比べてみよう。(P13)</p> <p>◇楽ふを見ながら演そうをきいてみよう。歌詞を声に出して読んだり、主なせりつのところを歌ったりしてみよう。(P26)</p> <p>◇自分の声に合うパートを選ぼう。和音のひびきや音の重なり方の変化など、曲のしくみや特ちょうをとらえながら歌い合わせよう。(P27)</p> <p>◇フラットをつけたせりつと、つけないせりつで歌ってみよう。(P38)</p> <p>◇「こきりこ節」は歌い手役とみんなに分かれて歌ってみよう。歌い手役は、一人でもグループでもいいよ。(P43)</p> <p>◇アイウそれぞれのせりつの特ちょうや、音の重なるひびきを生かしてきき合いながら歌おう。アイウごとに強弱や歌い方をくふうして歌おう。(P44)</p>	<p>◇となりのともだちのうたごえをよくきいて、こえをあわせてうたいましょう。(P63)</p> <p>◇たがいのうたごえやがっきの音をよくききあいながらえんそうしましょう。(P64)</p> <p>◇1ばん、2ばん、3ばんのかしがあらかわすようすをおもいうかべて、こえをあわせてうたいましょう。(P69)</p> <p><b>【3年】</b></p> <p>◇息継ぎの記号について確かめ、声の出し方や言葉のまとまりに気を付けて歌いましょう。(P10)</p> <p>◇拍にのって、明るくのびのびとした声で歌いましょう。(P14)</p> <p>◇互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、歌ったり演奏したりしましょう。(P19)</p> <p>◇声の出し方に気を付けて歌ったり、リコーダーをふいたりしましょう。(P37)</p> <p>◇声をおでこのあたりにひびかせて息を遠くのほうへとどかせるようなかんじで歌いましょう。(P42)</p> <p>◇曲の山では、音が高くなったり強くなったりすることが多いよ。(P42)</p> <p>◇旋が重なる響きを感じながら、互いの歌声を聴き合って歌いましょう。(P49)</p> <p>◇歌詞の表す様子や旋律の音の上がり下がり注目しながら歌いましょう。(P67)</p> <p>◇この曲で一番大切に歌いたいところはどこかな。(P67)</p> <p><b>【4年】</b></p> <p>◇音の高さに気を付けながら、明るい声で歌いましょう。(P12)</p> <p>◇あくびをするような感じで、首やのどおリラックスさせましょう。おなかから頭のとっぺんに向かってまっすぐ息を送るイメージで歌いましょう。(P15)</p> <p>◇歌詞の表す様子を思い浮かべながら、声の出し方に気を付けて歌いましょう。(P19)</p> <p>◇「バルデリー」「バルデラー」「バルデロー」のように、のばす音のところでは、どんどん息を増やす感じで、声が体からわき上がるように歌いましょう。また、スタッカートのところは、おなかの周り全体の動きを感じて、笑ったときのように弾んで歌いましょう。(P31)</p> <p><b>【5年】</b></p> <p>◇伴奏をよくききながら、曲の感じの変化を感じ取って歌いましょう。(P10)</p> <p>◇1つの旋律をみんなで歌うとき(斉唱)は、音の高さや音量、音色をそろえると、ゆたかな斉唱のひびきになります。友達の声をよくききながら、歌いましょう。(P11)</p> <p>◇工夫した歌い方になるように、こきゅうや発音の仕方に気を付けて歌いましょう。(P15)</p> <p>◇演奏をきいたり歌ったりして、ア、イ、ウそれぞれの部分のひびきのちがいや、旋律の重なり方のちがいを確かめましょう。(P19)</p> <p>◇旋律の重なり方のちがいを生かして合唱しましょう。(P19)</p> <p>◇旋律の重なり方のちがいを表した図(P19)</p> <p>◇鍵盤のパートをきいて、和音のひびきの移り変わりを感じ取りながら旋律を歌いましょう。(P34)</p> <p>◇正しい音の高さで歌うことに加えて、他のパートとの音量のバランスに気を付けながら、音色をとけ合わせるように声を重ねて歌うと、ゆたかな合唱のひびきになります。(P36)</p> <p>◇①～3の旋律を階名で歌ったり、鍵盤楽器で演奏したりして、3つのパートの音の重なり方を確かめましょう。(P37)</p> <p>◇下の例のように「よびかけ」と「こたえ」に分かれて、それぞれの和音のひびきを感じ取りながら合唱しましょう。(P37)</p> <p>◇こきゅうや発音の仕方に気を付け、たがいの声や伴奏をききながら歌いましょう。(P41)</p> <p>◇歌詞の内容を伝えるために、言葉のイメージを大切に歌いましょう。その言葉のイメージに合った母音や子音の発音を工夫しましょう。(P41)</p> <p>◇こきゅうや発音の仕方に気を付けて、時間や場面が変わっていく情景を思いうかべながら歌いましょう。(P50)</p> <p>◇息つきや発音の仕方に気を付けて、歌詞の表す情景や気分を思いうかべながら歌いましょう。(P53)</p> <p>◇こきゅうや発音の仕方に気を付けながら、優しく語りかけるように歌いましょう。(P57)</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>技能の習得を図るための配慮</p>	<p><b>【6年】</b>                      ◇明るくのびやかに、声を遠くへ届けるような気持ちで歌おう。のどのおくを開くような感じで歌ってみよう。(P8) 低い音も、高い音を歌うときと同じようにひびかせられるといいね。慣れてきたら、きき合いながら輪唱で歌おう。(P8)                      ◇アイウエのせん律の終わりが、それぞれ続く感じか落ち着く感じかを感じ取って歌おう。歌詞や、せん律のもつリズムや流れを生かして歌おう。どのような強弱で歌ったらぴったりかな。いろいろためしてみよう。(P13)                      ◇歌詞を声に出して読んだり、主なせん律のところを歌ったりしてみよう。パートに分かれて練習しよう。自分の声に合うパートを選ぼう。(P18)                      ◇和音のひびきや音の重なり方の変化など、曲のしくみや特ちょうをとらえながら歌おう。(P18)                      ◇七・五で続く言葉のリズムやまとまりを感じながら、歌詞を読んでみよう。段ごとに、せん律のもつリズムを確かめよう。付点四分音符を八分音符にして歌ってみよう。段ごとに、せん律が続く感じか落ち着く感じかを感じ取って歌おう。(P25) 遠くの水平線に向かって歌うような気持ちで、堂々と歌いたいね。(P25)                      ◇言葉とせん律のもつリズムの関わりをとらえて歌おう。語り出すようにうたうところ、歌が動き出してかけ合うところ、音を重ねながら盛り上がるところがあるね。きき合いながら気持ちをそろえて歌おう。全体の強弱や声の感じをくふうして歌おう。(P33)                      ◇「チャウエ チョー チェム チェロ」は、フレーズや音の重なり方を楽しみながら、くり返して歌おう。(P40)                      ◇雅楽のせん律のもつふん囲気を感じ取って歌おう。(P44)                      ◇歌い出すときの声や、強弱に気をつけて歌おう。(P48)</p>	<p><b>【6年】</b>                      ◇呼吸や声のひびきに気を付けながら、友達と声を合わせて歌いましょう。(P11)                      ◇人の声は、その人固有のもので、世界に1つです。自分の声も、友達の声も尊重しながら、気持ちを通じ合わせて、歌声をひびかせましょう。(P11)                      ◇発音の仕方や声の出し方に気を付け、ただいの歌声をきき合いながら歌いましょう。(P14)                      ◇和音のひびきの移り変わりを感じ取りながら、たがいの歌声をきき合って歌いましょう。(P27)                      ◇変声期が始まって声を出しにくいと感じる人は、オクターブ下げるなど、無理のない歌い方を工夫しましょう。(P27)                      ◇言葉や旋律のまとまりを意識しながら、呼吸や発音の仕方に気を付け、声を合わせて歌いましょう。(P33)                      ◇自分たちの思いを表現できているかな。おたがいの声をよくきき合おう。(P33)                      ◇思いが伝わるように、発音の仕方や声の出し方に気を付けて、たがいの歌声をよくきき合いながら歌いましょう。(P42)                      ◇呼吸や発音の仕方に気を付け、旋律のまとまりを生かしながら歌いましょう。(P44)                      ◇歌詞の内容や曲の雰囲気や伝わるように、発音や声の出し方に気を付けて歌いましょう。(P47)                      ◇言葉や旋律のまとまりを大切にしながら、呼吸や発音に気を付けて、声を合わせて歌いましょう。(P51)                      ◇自分のパートと、友達のパートをよくきき合いながら、声の音色や重ね方に気を付けて、声を合わせて歌いましょう。(P55)</p>
<p>器楽技能</p>	<p>◇「まなびナビ」のコーナーや吹き出しなどを使って示している。(全学年)                      ◇「カエルマーク」で、以前に学習したことを確かめるためのページを示している。(全学年)                      ◇巻末の「楽器図鑑」などのページに、楽器の演奏の仕方やマレットの持ち方などが写真で示されている。(全学年)                      ◇「まなびリンク」の二次元コードの演奏動画のコンテンツ数が多く、充実している。(全学年)  <b>【1年】</b>                      ◇はくにあわせて てをうつ。(P8)                      ◇まず、せんせいがうつ「はく」にあわせて、「たんたんたんうん」のリズムをくりかえしうとう。(P19)                      ◇「ぶんぶんぶん」のうたにあわせて、てびょうしやてあわせをしよう。(P19)                      ◇ジェンカのりずむを、「はく」にあわせてうってみよう。(P21)                      ◇きょくにあわせて、ジェンカのリズムをくりかえしうったり、おどったりしよう。(P21)                      ◇「まなびリンク」タンブリン、すず、カスタネットの演奏の仕方が動画で示されている。(P23)                      ◇□のところは、23ページでつくったりずむをこうたいでうとう。(P25)                      ◇「まなびリンク」〈どれみのたいそう〉の例が示されている。(P28)                      ◇けんばんをおさえながら、ふきぐちから「いき」をふきこみます。(P32)                      ◇けんばんのいろいろなところをおさえてふいてみよう。おとのたかさかわるよ。(P33)                      ◇「まなびリンク」鍵盤ハーモニカのいろいろな吹き方の例が示されている。(P33)                      ◇いちばんひくいおとからじゅんばんにひとつずつおさえ、ふいてみよう(P33)                      ◇いちばんたかいおとからじゅんばんにひとつずつおさえ、ふいてみよう(P33)                      ◇いろいろなおとをだして見て、おきにいりのおとをひとつきめよう。(P33)                      ◇おきにいりのおとをつかかって、いろいろなふきかたにちょうせんしよう。(P33)                      ◇「いき」をながくのばしたり、みじかくきったりしてみよう。(P33)                      ◇「いき」のつよさをかえてみよう。(P33)                      ◇どをおさえたま、<b>「とうーとうー」</b>とおはなしするかんじで、「いき」をふきこもう。(P34)                      ◇おとをくぎるときやとめるときは、したをつかかって「いき」をとめよう。(P34)                      ◇ふきぐちをゆびでかるくささえよう。(P34)◇うでやかたのちからをぬこう。(P34)                      ◇指、簡易楽譜、鍵盤の位置が写真やイラストで示されている。(P36、P38)                      ◇<b>「とうーとうー」</b>の「いき」でふこう。ゆびのうごきといきをあわせてね。(P37)</p>	<p>◇「えんそうする」のマークで技能の習得のための活動を示している。(全学年)                      ◇「そだてよう」のマークで常時活動について示している。(1～4年)                      ◇「おもいだそう」のコーナーで、以前に学習したことを再確認できる。(全学年)                      ◇「合わせよう」のコーナーで、合奏する際のポイントを示している。(3～6年)                      ◇楽器の持ち方や演奏の仕方について、写真やイラストを用いて示している。(全学年)                      ◇「ムーブの部屋」の二次元コードの楽器の基礎奏法等のコンテンツが充実している。(全学年)  <b>【1年】</b>                      ◇「手拍子でリレー」の活動例が示されている(P15)                      ◇はくに のって、リズムをたん でよんだり、手拍子や カスタネットで うったりしましょう。(P18)                      ◇「ムーブのへや」カスタネットの持ち方と打ち方が動画で示されている。(P18)                      ◇うたに あわせて、□の ところで リズムを 手拍子や カスタネットで うちましょう。(P19)                      ◇カスタネットの持ち方や打ち方が写真やイラストで示されている。(P19)                      ◇はくに のって、うたいながら □の ところで リズムを手拍子やカスタネットで うちましょう。(P21)                      ◇「ムーブのへや」タンブリンの持ち方と打ち方が動画で示されている。(P26)                      ◇うたに あわせて、□の ところで リズムを 手拍子や タンブリンで うちましょう。(P27)                      ◇タンブリンの持ち方や打ち方が写真やイラストで示されている。(P27)                      ◇鍵盤ハーモニカの構え方について写真で示されている。(P36)                      ◇実物大の鍵盤ハーモニカの写真が掲載されている。(P38～P39)                      ◇うたに つづけて、鍵盤ハーモニカで どとその おとを ふきましよう。(P39)                      ◇「鍵盤ハーモニカでおとあそび」の例が示されている。(P40)                      ◇うたの くみと 鍵盤ハーモニカの くみに わかれて えんそう しましょう。(P42)                      ◇トライアングル、すず、ウッドブロックの持ち方や鳴らし方が写真やイラストで示されている。(P52～P53)                      ◇「ムーブのへや」トライアングルの持ち方と鳴らし方が動画で示されている。(P52)                      ◇「ムーブのへや」すずの持ち方と鳴らし方が動画で示されている。(P52)                      ◇「ムーブのへや」トライアングルの持ち方と鳴らし方が動画で示されている。(P52)                      ◇「ムーブのへや」すずの持ち方と鳴らし方が動画で示されている。(P52)</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
技能の習得を図るための配慮	<p>◇みかんをつかむようなかんじで、ゆびをけんばんにおいてね (P38)</p> <p>◇「まなびリンク」鍵盤と手の形について動画で示されている。(P38)</p> <p>◇実物大の鍵盤ハーモニカの写真が掲載されている。(P34～39)</p> <p>◇うつばしよをかえると…(P42)</p> <p>◇こまかくうってみると…(P42)</p> <p>◇おとのとめかたもみつけよう。(P42)</p> <p>◇ながいおとや、みじかいおとをだしてみよう。(P42)</p> <p>◇ほかのがつきでも、おとをさがしてみよう。(P43)</p> <p>◇うったりふったりしておとのだしかたをかえると…(P43)</p> <p>◇ばちなど、うつものをかえると…(P43)</p> <p>◇まえのページでみつけたおきにいりのおとを、つよくうったりよわくうったりしてみよう。(P44)</p> <p>◇ともだちがうつおとのつよさをよくきいて、まねっこしたりよびかけっこしたりしてあそぼう。うつかいすうも、かえてみよう。(P44)</p> <p>◇おなじつよさでまねっこ (P44)</p> <p>◇おなじかいすうでまねっこ (P44)</p> <p>◇うつつよさをかえてよびかけっこ (P44)</p> <p>◇うつかいすうをかえてよびかけっこ (P44)</p> <p>◇「まなびリンク」音の長さの例が示されている。(P55)</p> <p>◇「たん」や「たた」のところで手拍子やがつきをうとう。(P56)</p> <p>◇①と②、それぞれのリズムを手拍子でうってみよう。(P57)</p> <p>◇□のことばにあったおとをさがして、××のところでならそう。(P61)</p> <p>◇「まなびリンク」様々な打楽器の演奏の仕方が動画で示されている。(P76)</p> <p><b>【2年】</b></p> <p>◇「まなびリンク」リズムの打ち方の例が動画で示されている。(P5)</p> <p>◇○のところで歌のかわりにリズムをうとう。(P16)</p> <p>◇○○○G○、○○○○○のように、リズムをうつところをふやしていこう。(P16)</p> <p>◇けんばんのドレミファソのいちをたしかめよう。(P22)</p> <p>◇指、鍵盤の位置が写真やイラストで示されている。(P22)</p> <p>◇実物大の鍵盤ハーモニカの写真が掲載されている。(P22～P23、P26～P27)</p> <p>◇先生のうつはくに合わせて、五つの音をつづけてえんそうしよう。(P23)</p> <p>◇けんばんハーモニカは「トゥートゥー」のいきでふこう。(P23)</p> <p>◇みんなの音がそろうように、1だんずつのフレーズをていねいにえんそうしよう。(P24)</p> <p>◇①のゆびを下のけんばんにおいて、えんそうをはじめます。手が上や下にあまりゆれないようにしよう。(P25)</p> <p>◇①のゆびをミのけんばんにずらします。(P25)</p> <p>◇①のゆびを下のけんばんにもどします。休ふのところは、きちんと休もう。(P25)</p> <p>◇けんばんハーモニカのときは「トゥートゥー」のいきでふこう。(P28)</p> <p>◇ソ→ミやファ→レのように、音はなれているところをていねいにれんしゅうしてみよう。(P28)</p> <p>◇「ゆびくぐり」「ゆびまたぎ」の方法が写真やイラストで示されている。(P29)</p> <p>◇「まなびリンク」「ゆびくぐり」「ゆびまたぎ」の方法が動画で示されている。(P29)</p> <p>◇ドレミファソラシドをつづけてえんそうしよう。はじめはゆっくりと、なれてきたら少しずつはやくしてみよう。(P29)</p> <p>◇1番、2番、3番それぞれ、歌しにぴったりの楽きを見つけて、リズムをうとう。(P39)</p> <p>◇「こぎつね」の手の位置について、写真やイラストで示されている。(P42)</p> <p>◇太鼓のばちの持ち方の例がイラストで示されている。(P47)</p> <p>◇木琴やオルガンの演奏の仕方がイラストで示されている。(P50)</p> <p>◇えんそうするはやさやくりかえす回数をきめよう。(P51)</p> <p>◇はやさをかえても、音をそろえてえんそうしよう。(P51)</p> <p>◇マレットをかえると、音が変わるよ。(P54)</p> <p>◇つかう楽きや音の出し方を変えて、お気に入りのひびきを見つけてよう。(P55)</p>	<p>◇「ムーブのへや」ウッドブロックの持ち方と鳴らし方が動画で示されている。(P52)</p> <p>◇みつけた おとを ならして、ともだちに しょうかいしましょう。(P53)</p> <p>◇ならしかたに きを つけながら うたに つづけて ひとりずつ ならしましょう。(P54)</p> <p>◇こえや おとの だしかたに きをつけて、うたったり 鉄琴や 鍵盤ハーモニカで えんそうしたり しましょう。(P60)</p> <p>◇「ムーブのへや」鉄琴の打ち方が動画で示されている。(P60)</p> <p>◇鉄琴の打つ場所や打ち方について写真やイラストで示されている。(P61)</p> <p>◇はくに のって、ともだちの こえや がつきの おとを よく ききながら いっしょに えんそうしましょう。(P73)</p> <p>◇ともだちの がつきの おとを よく ききながら えんそうしましょう。(P75)</p> <p><b>【2年】</b></p> <p>◇写真と二次元コードで「2びょうしの手あそび」の例が示されている。(P15)</p> <p>◇「2びょうしでリズムあそび①」の例が示されている。(P15)</p> <p>◇写真と二次元コードで「3びょうしの手あそび」の例が示されている。(P17)</p> <p>◇「3びょうしでリズムあそび」の例が示されている。(P17)</p> <p>◇こえや 音の かんじに 気をつけて、うたったり 鍵盤ハーモニカを ふいたり しましょう。(P23)</p> <p>◇イラストと二次元コードで「ふきかたのくふう」の例が示されている(P23)</p> <p>◇②の ふきかたは、したを つかて ソの 音を みじかく きっているよ。(P23)</p> <p>◇2つの くみに 分かれて、たがいの うたごえや 鍵盤ハーモニカの 音を ききあいながら、おいかけっこを しましょう。(P24)</p> <p>◇手の いちが かわる ときには、おやゆびの いちを たしかめようね。(P25)</p> <p>◇ミを おさえ ゆびを たしかめて、鍵盤ハーモニカの せんりつを ふきましょう。(P26)</p> <p>◇ともだちの うたごえや 鍵盤ハーモニカの 音を ききあいながら えんそうしましょう。(P26)</p> <p>◇2びょうしの はくに のって、リズムを タンで うたったり カスタネットと タンブリンでうたったり しましょう。(P33)</p> <p>◇「2びょうしでリズムあそび②」の例が示されている。(P33)</p> <p>◇3びょうしの はくに のって、うたと リズムを かさねて ききあいながら えんそうしましょう(P34)</p> <p>◇楽譜と二次元コードでリズムの例が示されている(P34)</p> <p>◇鍵盤ハーモニカ1と鍵盤ハーモニカ2に分かれてふきましょう。(P36)</p> <p>◇2びょうしの はくに のって、鍵盤ハーモニカと リズムを かさねて ききあいながら えんそうしましょう。(P36)</p> <p>◇鍵盤ハーモニカの指の置き方についてイラストで示されている。(P37)</p> <p>◇れいのように、それぞれ すきな がつきを えらんで、うたに あわせて えんそうしましょう。(P48)</p> <p>◇いきの つよさに 気をつけて 鍵盤ハーモニカを ふきましょう。(P56)</p> <p>◇鍵盤ハーモニカの指の置き方についてイラストで示されている。(P56)</p> <p>◇たがいの うたごえや がつきの 音を よくききあいながら えんそうしましょう。(P64)</p> <p>◇低音楽器の指の置き方についてイラストで示されている。(P65)</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
技能の習得を図るための配慮	<p><b>【3年】</b></p> <p>◇鍵盤の「指くぐり」、「指またぎ」を写真で掲載している。(P10)</p> <p>◇まなびリンクの運指動画 「いい音だせるかな」(P20)</p> <p>◇まなびリンクの運指動画 「リコーダー シ」(P21)</p> <p>◇まなびリンクの運指動画 「リコーダー ラ」(P23)</p> <p>◇まなびリンクの運指動画 「リコーダー ソ」(P25)</p> <p>◇まなびリンクの運指動画 「リコーダー ド」(P32)</p> <p>◇まなびリンクの運指動画 「リコーダー レ」(P33)</p> <p>◇打楽器のリズムにのって演奏しよう。(P49)</p> <p>◇旋律の間に入る「チャチャチャ」の合いの手や、音の重なる響きを楽しもう。(P49)</p> <p>◇まなびリンクの奏法動画 「メロンの気持ち/打楽器のリズム」カウベル、ギロ、クラベスの演奏(P49)</p> <p>◇まなびリンクの運指動画 「リコーダー ミ」(P54)</p> <p>◇まなびリンクの運指動画 「リコーダー ファ」(P54)</p> <p>◇まなびリンクの基礎奏法の動画 カウベル、ギロ、リコーダーの演奏法を視聴できる。(P49)</p> <p>◇まなびリンクの運指動画 「リコーダー レ」(P55)</p> <p><b>【4年】</b></p> <p>◇拍の流れにのって、歌ったり演奏したりしよう。リコーダーも歌うようにふけるといいね(P19)</p> <p>◇サミングの方法を掲載。(P28)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親指を下へすべらせる。</li> <li>・親指を少しまげる。</li> </ul> <p>◇高い音をきれいにひびかせるために、「ティ」と発音する感じでタンギングしよう。(P28)</p> <p>◇低いミをふきながら、左手の親指で少しずつすき間を広げてみよう。高いミに音が変わったときのすき間の開け方を覚えよう。(P28)</p> <p>◇高い音をきれいに響かせるために、「ティ」と発音する感じでタンギングしよう。(P28)</p> <p>◇高いミの音を、やわらかくていねいにふこう。(P29)</p> <p>◇せんりつがかけ合うところや、同じリズムで動きながら重なるところがあるね。きき合いながら合わせよう。(P28)</p> <p>◇それぞれのパートの関係や役わり、スタッカートのかう果、強弱の変化をかくにんしよう。(P53)</p> <p>◇「ことのみりょく」 ことで「さくらさくら」にチャレンジしよう(P62~P63)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・爪を使ってえんそうしよう。使う爪によってすわる向きは変わります。</li> <li>・「まなびリンク」で「さくらさくら」の箏の演奏動画を示している。</li> </ul> <p><b>【5年】</b></p> <p>◇強弱の変化がきいている人に伝わるように演そうしてみよう。(P9)</p> <p>◇自分たちで強弱をくふうして演そうしてみよう。(P9)</p> <p>◇強弱や速度、歌い方や音の出し方は、みんなが気持ちをそろえて同じように演そうすると、きく人に伝わるよ。出だしもそろえて演そうしよう。(P9)</p> <p>◇上のパートを下のパートとの関わりを、きき合いながら演そうしよう。(P29)</p> <p>◇右のアとイのようにフレーズ(せんりつのくぎり方)を変えると、曲の感じが変わるよ。ためしてみよう。(P29)</p> <p>◇重なりやかけ合いをきき合って、生き生きと表現しよう。(P37)</p> <p>◇各だんのせんりつの終わり方が、続く感じか落ち着く感じかを感じ取って歌おう。(P47)</p> <p>◇休ふの効果を感じ取ったり、スタッカートやアクセント、強弱をくふうしたりしよう。(P54)</p> <p>◇主なせんりつやばんそうなど、パートの役わりをとらえて演奏しよう。(P54)</p>	<p><b>【3年】</b></p> <p>◇「ムーブのへや」の鍵盤の指くぐり、指またぎの動画。(P16)</p> <p>◇ドレミの鍵盤の位置や指の番号を確かめて、イの部分楽器で演奏しましょう。(P18)</p> <p>◇互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、歌ったり演奏したりしましょう。(P19)</p> <p>◇「ムーブのへや」のリコーダーヘッドピースで音遊びの動画( P20)</p> <p>◇下くちびるに、リコーダーをそっとのせましょう。(P22)</p> <p>◇右手の親指でささえましょう。(P22)</p> <p>◇かたやうでの力をぬいて、せすじをまっすぐにのばしましょう。(P22)</p> <p>◇ゆびを自然に曲げ、ゆびのはらですきまがでないようにとじましょう。(P23)</p> <p>◇音あなから指をはなすときは、高くあげすぎないようにしましょう。(P23)</p> <p>◇ないしょ話をするときのように「tuー」と言いながら。息を出したりとめたりしましょう。(P24)</p> <p>◇大きなしゃぼん玉をつくるようなつもりで、やさしく息を出してふきましょう。(P25)</p> <p>◇「ムーブのへや」の運指動画 「はじめてふく音ラ」ふいてみよう①シラ②シラソ</p> <p>◇指の動きとタンギングがうまく合うように気を付けてふきましょう。(P27)</p> <p>◇ドとレの運指を覚えて、息の強さとタンギングが合うようにふきましょう。(P28)</p> <p>◇リラックスして息を出そう。くちびる、左手の中指、右手の親指の部分で、バランスよくリコーダーをささえることが大切だよ。(P29)</p> <p>◇互いの音を聴き合いながら、2拍子にのって合奏しましょう。(P30)</p> <p>◇リコーダーの息の使い方やタンギングに気を付けながら、曲の感じに合った音で演奏しよう。(P32)</p> <p>◇声の出し方に気を付けて歌ったり、リコーダーをふいたりしましょう。(P37)</p> <p>◇「ムーブのへや」の運指動画 「リコーダーの低い音であそぼう」(低音ミレドの息の入れ方の説明)「低い音の時は『トォー』と言うときのように口の中を広げてゆるやかな息の流れでふきましょう。」(P49)</p> <p><b>【4年】</b></p> <p>◇同じパートの友達の打つ音と、自分の打つ音がぴったり重なっているかな。(P21)</p> <p>◇タンギングや息の使い方に気を付けて、1のパートを演奏しましょう。(P33)</p> <p>◇タンギングと息の使い方を工夫すると、音を弾むように出したり、滑らかに出したりすることができようになります。(P33)</p> <p>◇親指の先でサムホールを少し開けたり、閉じたりすることをサミングと言います。高いミ、ファ、ソの音は、サムホールを少し開けてふきます。(P41)</p> <p>◇低いミ、ファ、ソの音は、ゆるやかな息の流れで、「トゥ」とタンギングして、高い音をふくときは、「ティ」と言うときのようにタンギングをするといいよ。(P41)</p> <p>◇旋律のまとまりや音色に気を付けて、主な旋律を演奏しましょう。(P56)</p> <p><b>【5年】</b></p> <p>◇右ページの「合わせよう」を参考にしながら、たがいの音をきき合って演奏しましょう。(P16)</p> <p>◇楽譜を見たり演奏をきいたりして、この曲が短調の音階でできていることを確かめましょう。(P17)</p> <p>◇リコーダーを何人かで演奏する場合には、自分の音やみんなの音をよくきくことが大切です。例えば、吹いた音をみんなで「見る」ような感じで、音を合わせてみましょう。(P17)</p> <p>◇工夫したことを生かして、たがいのパートの音をきき合いながら、演奏しましょう。(P25)</p> <p>◇楽器の重ね方の工夫を表した図(P25)</p> <p>◇1のパートを楽器で演奏して、それぞれの和音のひびきのちがいを確かめましょう。(P34)</p> <p>◇楽器の音の鳴らし方に気を付けながら、たがいの音や伴奏をきき合って演奏しましょう。(P43)</p> <p>◇①のパートを演奏したり、「威風堂々 第1番」のイの部分に注目してきいたりして、旋律の特徴をつかみましょう。(P62)</p> <p>◇それぞれのパートの音や、楽器の音が重なる全体のひびきをききながら、音を合わせて演奏しましょう。(P63)</p> <p>◇スラーの付いている部分をリコーダーや鍵盤ハーモニカで演奏するときは、スラーの始めの音だけタンギングをして吹こう。(P63)</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
技能の習得を図るための配慮	<p><b>【6年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇せん律のいろいろな組み合わせや進み方をためして、ひびき合いを楽しもう。(P27)</li> <li>◇他のグループのせん律や、全体のひびきをききながら演奏しよう。(P29)</li> <li>◇強弱もくふうして演奏しよう。(P34)</li> <li>◇「ウェンセスラスはよい王様」は、ばん奏のリズムにのって、軽やかに演奏しよう。(P40)</li> </ul>	<p><b>【6年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇1と2、1と3というように、まず2つのパートを組み合わせで演奏してみましょう。そのときに、自分が演奏するパートだけでなく、もう一つのパートもききながら演奏すると、だんだん息の合った演奏をすることができるようになります。(P19)</li> <li>◇リズム伴奏を加えるときにも、主な旋律がきこえるように音量のバランスに気を付けよう。(P21)</li> <li>◇音の重なり方に気を付けて、全体のひびきの美しさを味わいながら演奏しましょう。(P29)</li> <li>◇アの部分の和音のひびきの移り変わりを確かめるときは、リコーダー1と鍵盤と低音楽器だけを合わせてみてもいいね。(P29)</li> <li>◇旋律の音の動きや重なり方のちがいに注目しながら、楽譜を見たり、階名で歌ったりしましょう。(P52)</li> <li>◇2つの旋律が重なり合うひびきの美しさを感じ取りながら、演奏しましょう。(P53)</li> <li>◇ラからファのように、はなれた音に移るときは、低い音も高い音も、同じようにきれいにひびかせたいな。(P53)</li> <li>◇サミングをするときは、サムホールを開けすぎないようにしよう。また、高い音をふくときは「ti」のタンギングを使って、息のスピードにも気を付けよう。(P53)</li> <li>◇おたがいの音をよくきき合えるように、2人で向かい合って演奏してみよう。(P53)</li> <li>◇旋律のまとまりを生かしたり、ひびきを楽しんだりしながら演奏するための「ポイント」(P53)</li> </ul>
音楽づくりの技能	<p>◇「音のスケッチ」のコーナーで音楽づくりの学習の進め方をスモールステップで示している。(全学年)</p> <p><b>【1年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇わらべうたのように、うたにしておはなししてみよう。(P15)</li> <li>◇「まねっこあそび」の例が示されている。(P22)</li> <li>◇「いろいろなリズムのれい」が示されている。(P22)</li> <li>◇「よびかけっこあそび」の例が示されている。(P22)</li> <li>◇「リレーあそび」の例が示されている。(P22)</li> <li>◇いろいろなフルーツを「たんたんたん」のリズムにあてはめてみよう。(P49)</li> <li>◇フルーツのなまえをまねっこしながら、つなげてあそぼう。(P49)</li> <li>◇「ねこのなきごえであそぼう」の例が示されている。(P50)</li> <li>◇「リズムをかさねてあそぼう」の例が示されている。(P57)</li> <li>◇「せいざのおとをつないで、せんりつをつくろう」の例が示されている。(P59)</li> <li>◇「つくったせんりつをへんかさせてみよう」の例が示されている。(P59)</li> <li>◇□のところは、いろいろなかけごえのことばを、はくにのっていってみよう。かけごえをかさねてもたのしいよ。(P63)</li> </ul> <p><b>【2年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「手びょうしりレー」の例が示されている。(P7)</li> <li>◇「どうぶつラップであそぼう」の例が示されている。(P17)</li> <li>◇リズムカードをつかったあそびの例が示されている。(P20～P21)</li> <li>◇「音のかさなりやリズムをえらんで合わせよう」の例が示されている。(P26～P27)</li> <li>◇「どんな音がきこえるかな」の例が示されている。(P34～P35)</li> <li>◇「おまつりの音楽をつくろう」の例が示されている。(P47)</li> <li>◇「みんなの音楽時計をつくろう」の例が示されている。(P59)</li> <li>◇マレットのかたさのちがいで音が変わるよ。(P59)</li> <li>◇■のことばのリズムをかえてみよう。(P65)</li> </ul>	<p>◇「つくる」のマークで技能の習得のための活動を示している。(全学年)</p> <p>◇「そだてよう」のマークで常時活動について示している。(1～4年)</p> <p>◇「おもいだそう」のコーナーで学習したことを再確認するページを示している。(全学年)</p> <p>◇二次元コードで音楽づくりの情報を得ることができる。(全学年)</p> <p><b>【1年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「ことばでリズム」の例が示されている。(P28～P29)</li> <li>◇どのことばでつくるとおもしろいかんじのリズムになるかかんがえてつくりましょう。(P29)</li> <li>◇「おとをさがしてあそぼう」の例が示されている(P32～P33)</li> <li>◇しょうかいしたおとをつかって、こえあそびをしましょう。(P33)</li> <li>◇「せんりつのよびかけっこ」の例が示されている(P48～P49)</li> <li>◇3にんのくみになり、つくったせんりつをくみあわせましょう。(P49)</li> <li>◇「えからうまれるおんがく」の例が示されている(P56～P57)</li> <li>◇3にんのくみになり、みつけたおとをひとり3かいつつならして、おんがくをつくりましょう。(P57)</li> </ul> <p><b>【2年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「鍵盤ハーモニカでせんりつあそび」の例が示されている。(P27)</li> <li>◇「なきごえをつかってあそぼう」の例が示されている。(P28～P29)</li> <li>◇見つけたなきごえをくみあわせて、音楽をつくりましょう。(P29)</li> <li>◇「おまつりの音楽」の例が示されている。(P40～P41)</li> <li>◇上のつかうカードの中にあるカードをつかって、リズムをつくりましょう。つくるときには、くりかえしをつかきましょう。(P40)</li> <li>◇「がっきでおはなし」の例が示されている。(P46)</li> <li>◇2人のくみになり、つくったリズムをつなげましょう。(P47)</li> <li>◇「名前でせんりつあそび」の例が示されている。(P60)</li> <li>◇鍵盤ハーモニカや木琴のミ、ソ、ラの音をつかって、下のれいのように名前でせんりつをつくりましょう。(P61)</li> </ul>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
技能の習得を図るための配慮	<p><b>【3年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「スキルアップ」のコーナーで「歌声とリズムのトレーニング」と題して歌詞とを組み合わせた学習の工夫を示している。(P6～P7)</li> <li>◇いろいろな声で「ヤッホー」と言って、まねっこしたり、よびかけたりしよう。(P28)</li> <li>◇どんなイメージで「ヤッホー」と言ってみたいかを、いくつか書いてみて、そのイメージで表現しよう。ワークシート掲載(P29)</li> <li>◇「雪のおどり」に伴奏をくわえてみよう。(P51)</li> <li>◇「もっと遊ぼう」：始め、中、終わりごとに、つなげ方や重ね方を考えて確かめながら作ろう。(P61) 返し言葉で唱えてみよう。(P45)</li> <li>◇いろいろな工夫を加えてみよう。(P50～P51)                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・せんりつのリズムを変える。(P50～P51)</li> <li>・せんりつどうしを重ねる。(P50～P51)</li> <li>・速さや強さ、始め方や終わり方をくふうする。(P50～P51)</li> </ul> </li> <li>◇役割をもとに音楽をつくろう。(P58～P59)                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・弱くふいてまねしてみたよ。(P58)</li> <li>・友達の終わりの音から始めてみたよ。(P58)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【4年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「スキルアップ」のコーナーで「歌声とリズムのトレーニング」と題して、早口言葉と手拍子等を組み合わせたリズム学習の工夫を示している。(P8～P9)</li> <li>◇リコーダーをふいてみよう。そのとき、高くなったり低くなったりする音の動き方に注目しよう。(P26～P27)</li> <li>◇低い音からだんだん高くなって、3小節目で一番もり上がるようにしたよ。(P26～P27)</li> <li>◇4小節目はソで終わって見たら、落ち着く感じがしたよ。(P26～P27)</li> <li>◇お囃子を演奏する人は、楽器のリズムなどを言葉で唱えて覚えます。みんなも、太鼓のリズムを繰り返し言葉で唱えてみよう。(P45)</li> <li>◇いろいろな工夫を加えてみよう。(P50～P51)                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・せんりつのリズムを変える。(P50～P51)</li> <li>・せんりつどうしを重ねる。(P50～P51)</li> <li>・速さや強さ、始め方や終わり方をくふうする。(P50～P51)</li> </ul> </li> <li>◇役割をもとに音楽をつくろう。(P58～P59)                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・弱くふいてまねしてみたよ。(P58)</li> <li>・友達の終わりの音から始めてみたよ。(P58)</li> <li>・くふうしながらリレーしてみよう。リズムを変えるのもいいよ。(P58)</li> <li>・強弱や速度もくふうしよう。(P58)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【5年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇いろいろな声の出し方で、「しんしん…」の言葉を読んでみよう。(P49)</li> <li>◇みんなでいっしょに読むところ、一人で読むところ、重ねるところ、よびかけ合うところなどをつくって、友達と表現してみよう。(P49)</li> </ul> <p><b>【6年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇じゅんかんコードは何種類もありますが、下の例はよく使われるじゅんかんコードの一つです。和音を、けんぱん楽器で確かめてみよう。(P36)</li> <li>◇じゅんかんコードに合わせてアのせん律を何回もくり返ししながら、とちゅうで一人ずつアドリブをしよう。アのせん律からはなれて、自由に演奏してもいいよ。(P37)</li> <li>◇音が切れずにずっと続くように、となりの人とブレスをずらして演奏しよう。(P45)</li> <li>◇パートごとの役割を生かしながら、まとまりのある音楽をつくろう。(P53)</li> </ul>	<p><b>【3年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇楽器で音をたしかめながら、いろいろな音のつなぎ方をためしてみよう。(P15)</li> <li>◇同じリズムをくりかえしていました。(P30)</li> <li>◇じっさいに手拍子で打って、リズムをたしかめながらつくろう。(P31)</li> <li>◇くりかえして鳴らして、まほうの力が強くなるかんじにしようかな。(P56～P57)</li> <li>◇トライアングルを重ねて、キラキラ光る感じを出したいな。(P56～P57)</li> <li>◇さいごに小だいを重ねてまほうがかかったかんじを出したいな。(P56～P57)</li> <li>◇くふうをするときには、強さを変えたり楽器の組み合わせ方を変えたりするといいいよ。(P56～P57)</li> <li>◇2人で組になって、お話するようにふいてもいいね。(P65)</li> <li>◇書くときは音符の方のむきに気をつけよう。(P65)</li> </ul> <p><b>【4年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇楽器で音をたしかめながら、いろいろな音のつなぎ方をためしてみよう。(P15)</li> <li>◇声の高さや強さをくふうすると、曲の感じが変わって楽しいよ。(P25)</li> <li>◇クラベスの打つ位置を変えて、音の高さをくふうしてみようかな。(P48)</li> <li>◇すずは細かく打ちながらだんだん強くしていこうかな。それともふりながらだんだん強くしていこうかな。(P48)</li> <li>◇金属でできている楽器を組み合わせてみました。(P49)</li> <li>◇皮がはってある楽器と木でできている楽器を組み合わせてみました。(P49)</li> <li>◇それぞれの楽器の音がよくきこえるように、1人ずつ順になりました。(P49)</li> <li>◇クラベスが目立つように、他の楽器とちがうカードをえらびました。(P49)</li> <li>◇重ねて書くと、音の動きのちがいがわかりやすいね。(P60)</li> <li>◇くり返しの使い方がちがうと、音楽の感じが変わるんだね。(P61)</li> </ul> <p><b>【5年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇試してみて、他のリズムや楽器が合うと思ったら変えてみよう。(P32)</li> <li>◇どのようにつなげたり重ねたりすると、自分たちがイメージした感じになるのかを考えながらつくって、実際に音に出して確かめるといいよ。(P33)</li> <li>◇つくるときには、楽器で演奏しながら旋律の感じを確かめるといいよ。(P58)</li> </ul> <p><b>【6年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇声の高さや発音の仕方を工夫しながら、どの言葉が合うか確かめてみよう。(P23)</li> <li>◇階名で歌ったり楽器で演奏したりして気に入った旋律になっているか確認しよう(P32)</li> </ul>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
言語活動を充実させるための工夫や内容を示すページ(数)・印・表記など	<p>表現</p> <p>◇児童のキャラクターとカエルのキャラクターが言語活動のきっかけとなるような発問やアドバイスを吹き出し等で示している。</p> <p>◇「まなびナビ」の印を付して「思考・判断・表現」の観点の発問や言語活動のきっかけとなるアイデアが吹き出しなどを使って示している。(全学年)</p> <p>◇巻末の「音楽のもと」に「音楽を表すいろいろな言葉」が掲載している。</p> <p>【1年】</p> <p>◇ともだちにしているうたをおしえてあげよう。(P5)</p> <p>◇1ばんと2ばんでおはなのようすがかわるね。どんなうたいかたやうごきがあうかな。(P13)</p> <p>◇「はく」にあわせて、せんせいとおはなししよう。(P15)</p> <p>◇4にんであそぶときはどんなうごきになるかな。(P15)</p> <p>◇わらべうたのように、うたにしておはなししてみよう。(P15)</p> <p>◇どんなきもちで、かたつむりにうたいかけたいかな。(P17)</p> <p>◇とちゅうでせんりつのかんじがかわるね。どんなうごきがあうかな。(P31)</p> <p>◇くろいけんぼんのならびかたで、きがついたことはあるかな。(P33)</p> <p>◇ひとつのトライアングルからどんなおとがだせるかな。(P42)</p> <p>◇おや、いろいろなねこがいるね。どんななきごえがきこえるかな。(P50)</p> <p>◇おなじなきごえでも、「うれしい」「かなしい」「おこる」などのきもちをこめると、どんななきかたになるかな。ためしてみよう。」(P50)</p> <p>◇「にゃーお」はどんなうたいかたがいいかな。(P51)</p>	<p>◇「げんき」「ひな」「まなぶ」「つばさ」「けんじ」「さら」「なの」の7人の児童のキャラクターと、ねずみのキャラクターの「ムーブ」が言語活動のきっかけとなるような発問やアドバイスを吹き出し等で示している。</p> <p>(児童のキャラクター人数：1年4人、2年7人、3年4人、4年6人、5年6人、6年4人)</p> <p>◇「かんがえる」の印を付して「思考・判断・表現」の観点の発問や言語活動のきっかけとなるアイデア等が吹き出しなどを使って示している。(全学年)</p> <p>◇巻末の「ふり返りのページ」に「音楽を表すいろいろな言葉」を掲載している。</p> <p>【1年】</p> <p>◇どんな うたが かくれているかな。(P8)</p> <p>◇はすの はなは どのような ようすかな。(P12)</p> <p>◇うたの ようすを おもいうかべながら おんがくを ききましょう。(P16)</p> <p>◇どんな うちかたを したら いい おとに なるかな。(P19)</p> <p>◇おんがくの かんじに あうように、こえの だしかたや カスタネットの うちかたを くふうしましょう。(P21)</p> <p>◇かたつむりは どのような ようすかな。(P25)</p> <p>◇おんがくの かんじには タンプリンの どのような おとが あうかな。(P27)</p> <p>◇おなじ ことばを くりかえしたら、もっと つづけたく なったよ。(P29)</p> <p>◇ちがう ことばを くみあわせると、どんな かんじに なるかな。(P29)</p> <p>◇うみの ひろさや なみの ようすを あらわすような うたいかたを くふうしましょう。(P31)</p> <p>◇えんぴつで かいている おとを しょうかいします。「しゅっ しゅっ しゅっ」(P33)</p> <p>◇えんぴつで かいている かんじが でて、おもしろいな。(P33)</p> <p>◇ボールを けている おとが きこえました。「ぼーん」(P33)</p> <p>◇そとの おとも きこえたんだね。ぼくだったら、どんな こえで あらわそうかな(P33)</p> <p>◇どんな おとが できるかな。(P34)</p> <p>◇しろとくろのけんぼんがあるよ。(P34)</p> <p>◇どれくらい ながく ふけるかな。(P35) みじかく きって ふいてみよう。(P35)</p> <p>◇ホースだけを つかって いろいろな いきの つよさで ふいて みようかな。(P35)</p> <p>◇ながい おとで ふくには、いきの つよさを どうしたら いいのかな。(P39)</p> <p>◇おとの かんじを まねるには、どんな いきの つよさに すれば いいのかな。(P40)</p> <p>◇おとが たかくなる ところを どのように うたいたいですか。(P44)</p> <p>◇よびかけあう かんじの うたいかたを かんがえて、こえの だしかたを さんだんしましょう。(P46)</p> <p>◇となりの おとに いこうかな。はなれた おとに いこうかな。(P48)</p> <p>◇おなじ おとを つかっても いいのかな。(P48)</p> <p>◇じゅんぼんを かえると、どんな かんじに なるかな。(P48)</p> <p>◇たのしく よびかけあうような せんりつに なるように、いろいろな くみあわせを ためましょう。(P49)</p> <p>◇どの せんりつを よびかけに しようかな。(P49)</p> <p>◇よびかけの さいごの おとで はじめて、しりとりをしているみたいにつなげました。(P49)</p> <p>◇げんきさんの せんりつを まねっこして みました。(P49)</p> <p>◇すてきな おとだね。どんな ならしかたを しているのかな。(P52)</p> <p>◇どの ならしかたが いちばん すてきな おとに なるかな。(P53)</p> <p>◇4にんの くみになり、ならす じゅんぼんと(じゅうに ならす)の ところの ならしかたを きめましょう。(P54)</p> <p>◇ふしぎな かんじの おとに したいな。どの がつきを つかおうかな。(P55)</p> <p>◇ならしかたを 1つめの●●●と 2つめの●●●で かえて みても いいね。(P55)</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>言語活動を充実させるための工夫や内容を示すページ(数)・印・表記など</p>	<p>表現</p> <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇どんな強さで歌ったらよいか。 (P10)</li> <li>◇よびかけ合って歌うとき、○のグループはどんな強さで歌うとよいか。 (P14)</li> <li>◇きょくのとちゅうで、かんじがかわるところを見つけよう。かわる前と後では、それぞれどんな歌う方が合うかな。 (P31)</li> <li>◇虫の鳴き声のところや、「ああおもしろい」のところは、どんな声や気もちで歌いたいかな。 (P33)</li> <li>◇いちばん心にのこった音は何かな。友だちにつたえよう。 (P35)</li> <li>◇1番と2番の歌しは、それぞれどんなようすをあらわしているかな。 (P41)</li> <li>◇「かえりましょう」のところは、どのように歌ったらよいか。 (P41)</li> <li>◇「ドンドンヒヤララ」は、どんなかんじで歌ったらよいか。 (P45)</li> <li>◇はっ車からてい車まで、どのようなところを汽車が走るのか話し合って、えんそうするはやさやくりかえす回数をきめよう。 (P51)</li> <li>◇このきょくのせんりつは、タンタタタンタンのリズムや同じことばを何でもくりかえしながら、音の高さがかわっていきます。どんな気もちをあらわしているのかな。 (P57)</li> <li>◇「のにもきた」のところを気もちよくきれいに歌うには、どんな声で歌うとよいか。 (P57)</li> <li>◇「音楽をあらわすいろいろなことば」で音楽に関する様々な言葉が示されている。 (P75)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇げんきさんのおとは おもしろい かんじが する。どんな ならしかたを しているのかな。 (P55)</li> <li>◇〈じゅうに ならす〉の ところでは、いままでに ならった リズムで ならして みようかな。 (P55)</li> <li>◇この えには、タンブリンの おとが いいかな。ほかの がっきも ためして みようかな。 (P57)</li> <li>◇ひだりの えを みて、がっきの ならしかたを ためしながら えに あう おとを さがして、ともだちと しょうかいしあいましょう。 (P57)</li> <li>◇したの れいを さんこうにして、おとの くみあわせを かんがえましよう。 (P57)</li> <li>◇ほしぞらの ようすを あらわすには、どのような こえや おとが あうかな。 (P60)</li> <li>◇□の ことばに きをつけて、かしの かんじが つたわるように こえの つよさや はやさを ためましよう。 (P65)</li> <li>◇あそんでいる ようすを おもいうかべながら おんがくを ききましよう。 (P66)</li> <li>◇いろいろな はやさで うたって、この うたの たのしさを ともだちと つたえあいましよう。 (P68)</li> <li>◇うたう はやさを かえて ためしながら あそびかたを かんがえましよう。 (P68)</li> <li>◇□と□が まねっこする おもしろさを かんじとりながら こえの かんじや つよさを くふうましよう。 (P71)</li> <li>◇鍵盤ハーモニカのおとは よく きこえるけれど、うたは よく きこえないな。どうしたら いいのかな。 (P73)</li> <li>◇あといの かんじの ちがいが わかるような おとの だしかたを くふうましよう。 (P75)</li> </ul> <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇かくれんぼあそびをしているかんじにするには、どのようなうたいかたをしたらよいか。 (P10)</li> <li>◇□の ところは どんな つよさで うたったら いいのかな。 (P11)</li> <li>◇3びょうしの 音楽の かんじに あう うたいかたを かんがえて みましよう。 (P16)</li> <li>◇3びょうしの 手あそびを 1人で するとき、どうしたら いいのかな。 (P17)</li> <li>◇かしの ドレミが 入っている おもしろさに ちゅうもくして、音楽を ききましよう。 (P20)</li> <li>◇かしの あらわす 気もちや ことばの かんじに あわせるには、どのような うたいかたや ふきかたがよいか。 (P23)</li> <li>◇どのような うたいかたや ふきかたを すると、かえるの ようすを あらわす ことができるかな。 (P24)</li> <li>◇おんがくの かんじを生かすには、どのような うたいかたや ふきかたが あうかな。 (P26)</li> <li>◇どんな せんりつに なるように 音を えらんだのかな。 (P27)</li> <li>◇いろいろな なきごえが 見つかりそう。わたしは、かえるの なきごえを つかって みようかな。 (P28)</li> <li>◇3にんの くみに なり、ならす じゅんぼんと 〈じゅうに ならす〉の ところの ならしかたを ぐえを つたえあいましよう。 (P29)</li> <li>◇どのような うたいかたを すると、虫の なきごえの かんじを 出すことができるかな。 (P30)</li> <li>◇リズム①と リズム②の どちらかを えらんで、うたと かさねて うちましよう。 (P33)</li> <li>◇3びょうしの かんじを 出すには、どのような がっきの くみあわせに するとよいか。下のれいを さんこうにして ためして みましよう。 (P34)</li> <li>◇ポルカは おどりの 音楽です。どのように えんそうしたら、おどっている かんじを 出す ことができるかな。 (P36)</li> <li>◇おなじ うごきになる ぶぶんが 分かるかな。 (P38)</li> <li>◇「ゴンゴンゴン」の かねの 音が くりかえされている ぶぶんの うたいかたを かんがえましよう。 (P39)</li> <li>◇どんな くりかえしかたが あるかな。 (P40)</li> <li>◇おなじ カードを 3かい つづけて つかうと、どんな かんじかな。 (P40)</li> <li>◇ぼくは、ちがう リズムを つかったけど、つばささんと おなじ くりかえしかたに したよ。 (P41)</li> <li>◇くりかえしの おもしろさに 気をつけて カードの くみあわせかたを くふうし、リズムを つくりましよう。 (P41)</li> <li>◇エの リズムに あうのは、どの がっきかな。 (P46)</li> </ul>



調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>言語活動を充実させるための工夫や内容を示すページ(数)・印・表記など</p>	<p>表現</p> <p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇この曲では、小川の流れる音を「さらさら」と表しているね。どんな声で歌いたいかな。(P9)</li> <li>◇アイウエの旋律を比べて、似ている旋律を見つけたり、それぞれが続く感じか、落ち着く感じかを、歌ってみて考えたりしよう。(P9)</li> <li>◇旋律のリズムを段ごとに比べて、同じところと、違うところを見つけよう。(P17)</li> <li>◇一つ一つのフレーズをどんなふうに歌いたいかな、友達とお話ししよう。(P31)</li> <li>◇「ピラロ ルラ」や、「よふけのもりにきこえる」のところは、それぞれどんなふうに歌うとよいかな。(P39)</li> <li>◇「ひなたちを」から「おやすみ」のところも、歌い方を考えてみよう。(P39)</li> <li>◇学年の発達段階に合わせて巻末に「音楽を表すいろいろな言葉」を掲載している。</li> <li>◇どんなイメージで「ヤッホー」と言ってみたいかを、いくつか書いてみて、そのイメージで表現しよう。(P29) 学びリンク ワークシート掲載</li> <li>◇「うさぎ」一つ一つのフレーズ(せんりつの小さなまとまり)をどんなふうに歌いたいかな、友だちとお話ししよう。(P31)</li> <li>◇パートの役割に合わせて、どんな強さで演奏したらよいか、考えてみよう。(P59)</li> </ul> <p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇学年の発達段階に合わせて巻末に「音楽を表すいろいろな言葉」が掲載している。</li> <li>◇「さくらさくら」に使われている音階です。楽器で演奏してみよう。どんな感じがするかな。(P12)</li> <li>◇歌ったり、聴いたりしながら、指揮の動きをして、拍子の違いを感じ取ろう。(P15)</li> <li>◇旋律の感じに合った声や歌い方について考えてみよう。(P19)</li> <li>◇自分でつくった音型をふいたり、友だちがつくった音型をきいたりして、気づいたことをお話ししよう。(P26)、「音楽づくり」くふうしたことも発表しよう。(P26)</li> <li>◇「とんび」音ぶを1だんごとになぞるなどして、せんりつがどのような流れになっているかをつかめ、気づいたことを話し合おう。「ピンヨロー」のフレーズはどんな感じで歌いたいかな。いろいろな強さや感じで歌って、ためしてみよう。(P32)</li> </ul>	<p>27 教 芸</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ア～オの中で気に入ったリズムをえらび、がっきでならしてたしかめながら、れいのようにつなげるじゅんばんをきめましょう。(P47)</li> <li>◇ぼくはタンブリンをえらんだよ。おなじリズムにしようかな。ちがうリズムにしようかな。(P47)</li> <li>◇がっきでおはなししているようなつもりで、うまくつなげることができるかな。(P47)</li> <li>◇えらんだリズムのじゅんばんはこれでいいのかな。(P47)</li> <li>◇2人のじゅんばんを入れかえてみようよ。(P47)</li> <li>◇がっきの音をよくきいて、いろいろなかさねかたをためしましょう。(P48)</li> <li>◇46ページのアのリズムをつかかってかさねるじゅんばんをたしかめてみるのはどうかな。(P48)</li> <li>◇かしゃ音楽の感じがつたわるようにうたかたをくふうしましょう。(P50)</li> <li>◇やさしいのねずみさんのかんじを出したいな。どんなこえで「チュウ」とうたおうかな。(P50)</li> <li>◇1ばんと2ばんのそれぞれのかしのようすをおもいうかべて、うたかたをくふうしよう。(P55)</li> <li>◇小ぎつねは、どのような気もちかな。きいている人にもそれがつたわるようにうたかたや鍵盤ハーモニカのふきかたをくふうしましょう。(P56)</li> <li>◇わらべうたであそぶようすをおもいうかべながら、音楽をきいたりうたかたをくふうしたりしましょう。(P58)</li> </ul> <p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇どのように歌うと、春の様子に合った歌い方になるかな。気づいたことやおもいうかべたことを話し合ってみよう。(P10)</li> <li>◇言葉や旋律のまとまりを生かすためには、どのような歌い方をすればよいか。(P14)</li> <li>◇それぞれの部分を生かすためには、どうすればよいか。(P18～P19)</li> <li>◇それぞれの音の高さに合った息の強さを試して、曲の感じに合うように、ふき方を工夫しよう。(P28)</li> <li>◇拍子の記号について知り、それぞれのパートのリズムを手拍子で打ったり、せんりつを歌詞やドレミで歌ったりして、リズムやせんりつのとくちょうについて、気づいたことをつたえ合ひしよう。(P30～P31)</li> <li>◇拍子の感じや旋律のまとまりを生かして演奏するためには、リコーダーの息の使い方やタンギングをどうしたらよいか。(P32)</li> <li>◇旋律の上がり下がりや、アとイの感じに合う歌い方や演奏の仕方を考えよう。(P37)</li> <li>◇気持ちの盛り上がりを生かして歌うにはどうしたらよいか。言葉のまとまりや、旋律の特徴が生み出すよさを感じながら歌い方を工夫しよう。(P43)</li> <li>◇旋律の音の上がり下がりやリズムに気を付けて、曲の雰囲気合う歌い方を工夫しよう。(P44)</li> <li>◇それぞれのパートの音がよく聴こえるようにするには、どうすればよいか。(P57)</li> </ul> <p>【4年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇曲の感じを生かした歌い方を工夫しよう。(P13)</li> <li>◇曲の感じに合う声や音を出すためには、どのようなことに気を付ければよいか。歌い方や演奏の仕方を工夫しよう。(P15)</li> <li>◇声の出し方や言葉のまとまりに気を付けて、歌い方を工夫しよう。(P19)</li> <li>◇リズムの重なり方や音の強さのちがいを生かして、自分たちの表現を工夫しよう。(P21)</li> <li>◇リズム伴奏の面白さを生かすためにどうしたらよいかを考えて楽器の鳴らし方を工夫しよう。(P23)</li> <li>◇〈組み合わせ方のポイント〉をもとに、リズムの組み合わせ方を工夫しよう。(P25)</li> </ul>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>言語活動を充実させるための工夫や内容を示すページ(数)・印・表記など</p>	<p>表現</p> <p>◇1番・2番の歌詞は、それぞれどのような様子を表しているかな。思い浮かべながら読んでみよう。(P39)</p> <p>◇下のパートの旋律の流れは、上のパートとどのように関わっているかな。1段ごとに調べてみよう。(P39)</p> <p>◇「音楽づくり」「さくらさくら」音階、「ソーラン節」の音階、「沖永良部の子もり歌」の音階の楽譜から、それぞれの音階のふんいきのちがいについてお話してみよう。(P50)</p> <p>【5年】</p> <p>◇「タッカ」のリズムが多いだと少ないだんを見つけよう。せんりつの感じにちがいはあるかな。(P13)</p> <p>◇曲の中で一番もり上がるだんはどこだろう。(P13)</p> <p>◇もり上がりに向かうところは、どのように歌ったらよいだろう。(P13)</p> <p>◇それぞれのだんを、どんな声や感じで歌いたいかな。(P13)</p> <p>◇演そうして比べてみて、気がついたことを話し合おう。(P14)</p> <p>◇演そうして比べてみよう。和音や低音には、どんなはたらきがあるだろう。(P19)</p> <p>◇各自が思いえがいた曲のイメージや、いいなと思ったところを話し合おう。(P26)</p> <p>◇作者はどんなイメージで曲を作ったのか想像してみよう。(P26)</p> <p>◇楽ふに記された音ふや休ふ、記号にどんな役わりや意図があるか、みんなで考えよう。(P26)</p> <p>◇曲の各部分での、自分たちのパートの役わりを考えて、声の強さや音色をくふうしよう。(P27)</p> <p>◇フレーズ(せんりつのくぎり方)をくふうしてみよう。(P37)</p> <p>◇強弱もくふうしよう。(P37)</p> <p>◇どんな声や感じで歌ったらよいかな。曲にあわせて考えてみよう。(P43)</p> <p>◇各だんのせんりつの動きやリズムを比べて、気がついたことを話し合おう。(P47)</p> <p>◇各だんのせんりつの動きやリズムを比べて、気がついたことを話し合おう。(P51)</p>	<p>27 教 芸</p> <p>◇旋律の音の上がり下がり、音の強さには、どんなかわりがあるのかな。旋律の特徴に合うように歌い方を工夫してみましょう。(P31)</p> <p>◇アとイの旋律の特徴に合うふき方をするには、どうすればよいかな。(P33)</p> <p>◇1と2それぞれの音色や音のバランスを確かめながら、演奏の仕方を工夫しましょう。(P43)</p> <p>◇55ページを見て、音の出る仕組みを知り、フルートの音色のよさを味わって音楽を聴きましょう。(P53)</p> <p>【5年】</p> <p>◇大切に歌いたい歌詞はどこかを考え、歌い方の工夫についてみんなで話し合おう。(P10)</p> <p>◇こいのぼりの様子を思いうかべながら、歌詞を声に出して読みましょう。(P13)</p> <p>◇次の①と②を歌いくらべて、(タッカ)のリズムが生み出す感じのちがいや気付いたことについて話し合おう。(P15)</p> <p>◇強弱記号に気を付けて歌い、その効果について話し合おう。(タッカ)のリズムのところでは、音の上がり下がりはどうなっているかな。(P15)</p> <p>◇ア、イ、ウの部分には、それぞれどのような歌い方がふさわしいかを考えて、歌い方を工夫しよう。アの部分は、全員の声のひびきが1つになるように、声の感じをそろえて気持ちを合わせて歌いたいな。(P19)</p> <p>◇それぞれのパートを階名で歌ったり楽器で演奏したりして、それぞれの旋律の特徴を確かめよう。全体のひびきの変化を考えながら、パートの重ね方を工夫しよう。1回ごとにひびきに変化するように、重ね方を工夫しました。終わりに向かってだんだんもり上がるように、重ね方を工夫しました。(P25)</p> <p>◇音の特徴や音が重なるひびきのおもしろさを考えて、アンサンブルに使う3つの楽器の組み合わせを決めよう。(P31)</p> <p>◇材質のちがいに注目して組み合わせると、おもしろい音のひびきになりそうだな。(P31)</p> <p>◇リズム1とリズム4でまよっているんだ。どっちにしようかな。(P32)</p> <p>◇みんなで1つの旋律を歌う部分と、3つの旋律に分かれて歌う部分で、声が重なり合うひびきのちがいを生かして合唱するには、どのようなことに気を付けたらよいかな。「歌声ルーム」を参考にし、歌い方を工夫しよう。(P37)</p> <p>◇リズムや旋律、強さなどに気を付けてアとイの曲想のちがいを生かした歌い方を工夫しよう。楽譜を見たり演奏をきいたりして、アとイの歌詞の内容や曲想のちがいについて気付いたことや感じたことを話し合おう。(P41)</p> <p>◇各パートの旋律の特徴や強さに気を付けて、アとイの曲想のちがいを生かした演奏の仕方を工夫しよう。スタカートや休符にも注目して、曲想のちがいを表してみたいな。(P43)</p> <p>◇旋律の特徴や強弱記号に気を付けて歌ったり、言葉のまとまりに気を付けて歌詞を声に出して読んだりして、気付いたことを伝え合おう。きいている人に、歌詞の表す情景や、気分が伝わるようにするには、どうしたよいかを考え、歌い方を工夫しよう。(P50)</p> <p>◇旋律の音の上がり下がりやリズム、強さの変化や速さなど、この曲の曲想にふさわしい歌い方について、気付いたことや感じたことを話し合い、歌い方を工夫しよう。(P53)</p> <p>◇この歌に合った声の感じや速さなどを考えて、歌い方を工夫しよう。2つの旋律のちがいについて気付いたことや感じたことを話し合おう。(P57)</p> <p>◇音楽のもり上がりを意識して、強弱記号を生かした演奏の仕方を工夫しよう。(P62)</p> <p>◇言葉のまとまりや旋律の特徴、強弱記号に注目しながら、大切に歌いたい部分の表現を工夫しよう。自分の思いがきいている人に伝わるように、こきゅうや発音の仕方に気を付けて歌いよう。(P65)</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>言語活動を充実させるための工夫や内容を示すページ(数)・印・表記など</p>	<p>【6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇3でつくったリズム・アンサンブルの、強弱や速度をくふうしてみよう。(P9)</li> <li>◇アイウエのせん律のもつリズムを段ごとに比べ、気づいたことを話し合おう。(P13)</li> <li>◇せん律やひびきの感じが変わるところを見つけよう。(P14)</li> <li>◇どんな曲かな？曲のみりょくを見つけよう。(P18)</li> <li>◇曲全体のイメージやいいなと思ったところを話し合おう。(P18)</li> <li>◇曲の特ちょうはどこかな？イメージを共有しよう。(P18)</li> <li>◇①で出た意見を確かめながら、きいたり歌ったりしよう。楽ふの記号にも注目して、速さ、強弱の変化、歌詞とせん律の関係、ばん奏の効果など、気がついたことをまとめよう。(P18)</li> <li>◇曲の各部分でのパートの役割を考えて、声の強さや音色をくふうしよう。(P18)</li> <li>◇自分たちの思いや意図を大切に、よりよい演奏にしていくためのポイントを考えよう。(P18)</li> <li>◇自分たちの表現をめざそう。(P18)</li> <li>◇各段をどのように歌いたいことや、全体をどのように歌いたいかを、みんなで考えてみよう。(P25)</li> <li>◇強弱記号はどのように表されているかな。(P25)</li> <li>◇気持ちが盛り上がるころはどこかな。生かして歌おう。(P48)</li> <li>◇重ね方、強弱、速さなどをくふうしよう。(P53)</li> </ul>	<p>【6年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇歌詞の表す内容を想像したり、旋律の音の動きや強弱記号に注目しながら歌ったりして、感じたことや気付いたことを伝え合いましょう。大切に歌い合いたい部分はどこかを考え、歌詞の表す内容や曲想にふさわしい歌い方についてみんなで話し合いましょう。(P11)</li> <li>◇歌詞を読んだり演奏をきいたりして、情景を思いうかべましょう。(P12)</li> <li>◇旋律や強さには、どのような特徴があるかな。気付いたことを話し合いましょう。(P14)</li> <li>◇この曲の1 2 3 4のパートは、右の4つの役割を受け持っています。演奏をきいて、それぞれのパートの役割や旋律の特徴を確かめましょう。(P18)</li> <li>◇グループに分かれて、パートの役割や楽器の音色について考えながら、1 2 3 4のパートに合う楽器を選びましょう。いろいろな音色を出せるキーボードを選ぶときは、どの音色にするかがポイントになりそうだね。実際に音を出しながら、いろいろな楽器の組み合わせをためしてみよう。(P20)</li> <li>◇それぞれのパートの役割や楽器の音色を生かして合奏するためには、どのようなことに気を付けたらよいか考え、グループで話し合いましょう。かざりの旋律は、鉄琴や木琴を使って、やわらかい音で演奏したいな。鉄琴や木琴のマレットは、いろいろな材質のものがあつたよね。やわらかい音にするには、どのマレットがいいか、ためしてみよう。(P21)</li> <li>◇主な旋律がよくきこえるように、それぞれのパートを演奏する強さにも気を付けたいな。(P21)</li> <li>◇グループごとに発表するときには、楽器を選んだ理由や演奏するときを気付けたいことを伝えてから始めよう。(P21)</li> <li>◇他のグループの工夫したところを参考にしたら、自分たちの合奏をもっとよくすることができそうだね。(P21)</li> <li>◇3人の組で相談しながら、1 2 3のパートのリズムや言葉を考えましょう。(P23)</li> <li>◇(1 6分音符×4)を「テケテケ」という言葉にしてみようかな。(P23)</li> <li>◇和音のひびきの移り変わりや旋律の重なり方のちがいを感じ取り、歌声が美しくひびき合うように歌い方を工夫しましょう。(P27)</li> <li>◇和音のひびきのちがいや、旋律の重なり方のちがいに気を付けて、アとイそれぞれの曲想を生かした演奏の仕方を工夫しましょう。(P29)</li> <li>◇いろいろなつなげ方や重ね方を試しながら、それぞれのよさやおもしろさについて感じたことを伝え合ってみよう。(P31)</li> <li>◇つくった音楽を左ページの和音と低音に合わせて発表し、気付いたことや感じ取ったことを伝え合いましょう。(P31)</li> <li>◇話し合ったことをもとに、歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を味わいながら、それぞれの部分にふさわしい歌い方を工夫しましょう。(P33)</li> <li>◇歌詞をよく読み、曲想を感じ取りながら歌って、それらの特徴について気付いたことを話し合いましょう。話し合ったことをもとに、歌い方をためしながら、「ふるさと」をどのように歌いたいかを考えましょう。(P42)</li> <li>◇歌詞の表す情景や気持ちを思いうかべたり、見つけたことと曲想との関わりをどのように表現するかを考えたりしながら、歌い方を工夫しましょう。(P44)</li> <li>◇曲の雰囲気を感じ取って、ふさわしい歌い方を工夫しましょう。(P47)</li> <li>◇この曲でいちばん大切に歌いたいところについて、話し合い、その部分が伝わるように歌い方を工夫しましょう。(P51)</li> <li>◇下のポイントを見て、曲の特徴にふさわしい演奏の仕方を工夫しましょう。(P53)</li> <li>◇曲想と歌詞の表す内容との関わりを感じ取りながら、この曲をどのように表現するかを考えて、歌い方を工夫しましょう。(P54)</li> <li>◇歌い出しのよびかけに合うところは、どんなふうに歌うといいかな。(P55)</li> <li>◇伴奏の変化をヒントに、歌い方を工夫したいな。(P55)</li> </ul>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
言語活動を充実させるための工夫や内容を示すページ(数)・印・表記など	<p><b>鑑賞</b></p> <p><b>【1年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「サンダーバード」「ピンク・パンサーのテーマ」「どうけしのギャロップ」「なみをこえて」「ぞう」どんなふうにあるいたらびったりかな。(P6)</li> <li>どうしてそういううごきをしたのか、ともだちにおはなししてみよう。(P7)</li> <li>◇「ぜんそうきょく」このきょくのおもしろいところを、ともだちにおはなししよう。(P45)</li> <li>◇「おどるこねこ」とちゅうできょくのかんじがかわるね。こねこはこんどはなにをしているのかな。(P52) きょくのおわりはどうなるかな。(P53) なきごえはきょくのあいだじゅうきこえているかな。きょくのかんじがかわったところは、すわってきいてみよう。どんなおとがきこえるかな。(P54)</li> </ul> <p><b>【2年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「山のま王のきゅうでんにて」強さやはやさがかわるよ。どんなうごきが合うかな。(P9)</li> <li>◇「天国と地ごく」と「かめ」をくらべて気がついたことや、「山のま王のきゅうでんにて」の、おもしろいと思ったところをお話しよう。(P9)</li> <li>◇「ゆかいな時計」時計の音をあらわしている二つの樂きは、どんな音の出し方をしているかな。(P37)このきょくのおもしろいところを、友だちにお話しよう。(P37)</li> <li>◇「日本のたいこ」みんなはどんなたいこをきいたことがあるかな。(P46)</li> <li>◇「そりすべり」このきょくの楽しいところ、おもしろいところを友だちにお話しよう。(P49)</li> </ul> <p><b>【3年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇旋律の流れに合わせて、手や体を動かしながら聴いてみよう。旋律の感じは、どのように変わっていくかな。(P35)</li> <li>◇まなびリンク 「ユモレスク」(P34) バイオリンとピアノの二重奏を視聴できる。</li> <li>◇まなびリンク 「白鳥」(P36) チェロの演奏を視聴できる。</li> <li>◇まなびリンク 組曲「アルルの女」から 楽譜に色が付き、演奏している箇所が分かる。</li> <li>◇それぞれの旋律の特徴や感じ取った雰囲気、イメージなどを書いておこう。ワークシート掲載 (P57)</li> <li>◇まなびリンク 「ピーターとおおかみ」登場人物や動物の表す旋律や楽器の音が視聴できる。(P62～63)</li> </ul>	<p><b>【1年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「どみそらんど」どんな おんがくかな。(P7)</li> <li>◇「セブンステップス」どのような おんがくかな。(P10)</li> <li>◇「しろくまのジェンカ」この おんがくのおもしろいところは どこかな。(P23)</li> <li>◇「みんなであそぼう」のリズムと どこが ちがうのかな。(P23)</li> <li>◇「『ぶんぶんぶん』によるみつばちハニーのぼうけん」ハニーは どんな きもちで とんで いるのかな。(P41)どんな ふきかたを しているのかな。(P41)</li> <li>◇「くみきょく『くるみわりにんぎょう』から こうしんきょく」せんりつの よびかけあいを たのしんで ききましょう。(P51)</li> <li>◇「シンコペーテッドクロック」この おんがくの たのしさや おもしろさについて かんがえましょう。(P59)</li> <li>◇「にんぎょうのゆめとめざめ」おもいうかべた にんぎょうの ようすをつたえあい、ばめんが かわって いく おもしろさを たのしんで ききましょう。(P63)</li> <li>◇「クシコスポスト」いろいろな がっきのおとが きこえて くるね。この おんがくの すきなところやおもしろいところを ともだちと つたえあいましょう。(P77)</li> </ul> <p><b>【2年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「小犬のビンゴ」「ロンドンばし」みんなで 楽しく あそびながら、音楽の おもしろさを かんじて ききましょう。(P9)</li> <li>◇「ティニクリン」「エースオブダイヤモンド」「とーしんどーイ」「ドードレブスカポルカ」3つのおどりの 音楽の中で、いちばん 気に入った 音楽は どれかな。その りゆうを かんがえて、ともだちや先生につたえましょう。(P13)ぼくは、あの 音楽が いちばん すきだな。音楽を きいて いたら、体が いつのまにか うごきだすくらい 楽しかったよ。(P13)</li> <li>◇「ミッキーマウスマーチ」「メヌエット」2びょうしかな。3びょうしかな。(P19)2びょうしの音楽と 3びょうしの音楽について かんじの ちがうところをつたえあい、それぞれの音楽のおもしろさを かんじとりながら ききましょう。(P19)</li> <li>◇「トルコこうしんきょく」この 音楽の おもしろいところや 楽しいところを かんがえながら ききましょう。(P43)くりかえしも おもしろいけど、音の つよさが かわっていくのも おもしろいな。(P43)</li> <li>◇「だがっきパーティー」いちばん はじめに きこえるのは、どんな がっきの 音かな。(P44)自分の気に入った音やリズムを見つけて、ともだちとつたえあいましょう。(P45)ともだちは、どの がっきの まねを しているのかな。(P45)</li> <li>◇「くみきょく『てんらんかいのえ』から たまごのからをつけたひなどりのバレエ」音楽の はじめからおわりまで きいて、気に入った ぶぶんを見つかけましょう。(P53)この せんりつは、さつき きこえたものと おなじかな。もう1かい きいて たしかめたいな。(P53)ひなどりが いそがしそうに うごいている かんじが するよ。(P52)音が こまかく うごいているからかな。(P53)あれ、音楽の さいごの ぶぶんが…(P53)</li> <li>◇「エンターテイナー」いろいろな がっきの 音が かさなる 楽しさを あじわって ききましょう。(P67)</li> </ul> <p><b>【3年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「メヌエット」旋律の特徴について友達と話し合ひましょう。(P38～P39)</li> <li>◇旋律が重なるよさや面白さを感じ取りながら曲全体を聴きましょう。(P47)</li> <li>◇「トランペットふきの休日」トランペットの音色や曲の面白さについて、感じたことを話し合ひましょう。(P52～53)</li> </ul>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
言語活動を充実させるための工夫や内容を示すページ(数)・印・表記など	<p><b>【4年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇学年の発達段階に合わせて巻末に「音楽を表すいろいろな言葉」が掲載されている。</li> <li>◇強弱などの変化にも合わせて、指揮の動きができるかな。(P16)</li> <li>◇どのように指揮をしたら、みんなに伝わるかな。(P17)</li> <li>◇家庭教師マリアやトラップ家の子どもたち、子どもたちの父親トラップ大佐などの、歌声の違いに注目して聴いてみよう。(P21)</li> <li>◇それぞれの曲の魅力は、どんなところにあるかな。(P21)</li> <li>◇トランペットとホルンは、金管楽器の仲間です。響きの違いに注目して聴いてみよう。(P35)</li> <li>◇トランペットとホルンが、呼びかけ合う面白さや全体が重なったときの響きを感じ取って聴こう。(P35)</li> <li>◇曲全体の流れはどのようになっているかな。旋律や楽器の音に注意して聴こう。(P35)</li> <li>◇「ノルウェー舞曲第2番」音楽に合わせて体を動かしたり、歩いたり、しきの動きをしたりしながらきいて、気がついたことや感じ取ったことを友達とお話しよう。表に書いたことをもとにこの曲のよいなと思ったところやおもしろいなと思ったところなどを、友達と伝え合い、全体を味わってきこう。ワークシート掲載(P55)</li> <li>◇それぞれの歌声には、どんな特徴があるかな。(P60)</li> </ul> <p><b>【5年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇せんりつを演奏する楽器が変わっていくね。それぞれのひびきを感じ取ろう。(P32)</li> <li>◇日本の音楽には、拍にとられないものがあります。手拍子を打ちながら二つの民ようをきいてみて、気づいたことを話し合おう。(P39)</li> <li>◇民ようの、声の出し方や節まわしのおもしろさを感じ取ろう。他にもどんな特ちょうがあるかな。(P41)</li> <li>◇主題の変化やばんそうの動きをきき取り、変そう曲を楽しもう。(P61)</li> <li>◇それぞれの変そうで活やくする、楽器のひびきや、楽器どうしの関わり合いに注目してきこう。(P61)</li> <li>◇気に入った変そうを選んで、その理由を友達に伝えよう。(P61)</li> </ul> <p><b>【6年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇せん律やひびき、速度の変化をきき取り、その効果を感じ取ろう。(P15)</li> <li>◇楽ふを見ながら演奏をきいてみよう。(P18)</li> <li>◇曲全体をきいて、よいなと思ったところを、友達に伝えよう。(P31)</li> <li>◇強さと曲の感じの変化について気がついたことがあるよ。(P31)</li> <li>◇楽器の関わり合いに注目してきいたよ。(P31)</li> <li>◇世界にはいろいろな声の表現や、さまざまな楽器、それらを組み合わせた合奏があります。よいな、おもしろいなと思ったところを話し合おう。(P39)</li> <li>◇ことと尺八は、どんな関わり合い方をしているかな。気をつけてきこう。(P43)</li> <li>◇せん律や速度の変化などをとらえてきこう。(P43)</li> <li>◇リズムやせん律の特ちょう、強弱や速度の変化による効果、楽器の奏法と音色のおもしろさなど、この曲のいろいろなみりょくを見つけよう。(P55)</li> <li>◇ピアノとオーケストラのかけ合いのおもしろさを感じ取ろう。(P55)</li> </ul>	<p><b>【4年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇2人の歌声がかけ合いをしたり、重なったりするところでは、どんな感じがするかな。(P17)</li> <li>◇旋律の特徴や、声や楽器の音色のとくちょうに気を付けて聴き、地域に伝わる音楽のよさを味わいましょう。(P27)</li> <li>◇主な旋律の音の上がり下がりや音色に気を付けてこの曲のよさについて考えてみましょう。(P35)</li> <li>◇二つの旋律を聴いて、それぞれの特徴を感じ取りましょう。(P39)</li> <li>◇琴の音色や旋律の特徴を味わいながら、音楽を聴きましょう。(P59)</li> <li>◇曲全体を通して聴き、この曲のよさやおもしろさについて友達と話し合いましょう。(P69)</li> </ul> <p><b>【5年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇さまざまな楽器の音に気を付けながらきいて、気付いたことや感じたことをメモしたり、それをもとに話し合ったりしましょう。(P27)</li> <li>◇曲や演奏の気に入った部分について、友達とも話し合ってみようよ。(P28)</li> <li>◇ぼくは、アの始まり方も好きだけど、エの終わりからオに入る部分も好きだな。(P28)</li> <li>◇英語で歌われるえんそうもきいてみよう。「よびかけ」と「こたえ」はどんな感じになっているかな。(P37)</li> <li>◇48ページを参考にして、作詞者、作曲者、演奏者がどのような工夫をしているのかを話し合い、それぞれの工夫のよさを味わいながらききましょう。(P46)</li> <li>◇見つけたポイントは、クラス全員で伝え合うといいね。(P48)</li> <li>◇旋律の感じや音の重なり方に気を付けながら、アとイをきき、それぞれの部分で気付いたことや感じたことを話し合いましょう。(P55)</li> <li>◇リズムの特徴や曲のふんいきに気を付けながら2つの民謡をききくらべ、日本の民謡のよさを味わいましょう。(P59)</li> <li>◇この中で、拍のない自由なリズムの曲はどれかな。(P61)</li> </ul> <p><b>【6年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇旋律のくり返しや、楽器の音色の変化に注目しながらきいて、この曲の構成を確かめましょう。(P16)</li> <li>◇さまざまな楽器の組み合わせから生まれるひびきの美しさを味わいながらききましょう。(P16)</li> <li>◇旋律のくり返しや変化、調に注目しながらききましょう。この曲の中でいちばん印象に残ったところはどこかな。(P35)</li> <li>◇下の注目するポイントに気を付けて、音楽に合わせて体を動かしたり指揮のまねをしたりしながらきき、アとイの曲想について、感じたことや気付いたことを下の表に書いて、話し合いましょう。(P35)</li> <li>◇どんな感じの曲かな。音楽のどんなところからそう感じたのかな。(P35)</li> <li>◇友達の感じたことや気付いたことを意識しながら、もう一度きいてみたいな。(P35)</li> <li>◇下の注目するポイントに気を付けながら歌い、ア、イ、ウそれぞれの曲想について、感じたことや気付いたことを下の表に書いて話し合いましょう。(P33)</li> <li>◇書いたことをもとに、それらの関わりが生み出す曲のよさについて話し合いましょう。(P37)</li> <li>◇春のうきうきした感じがする。どうして、そう感じたのかな。(P37)</li> <li>◇言葉の感じと旋律の動きが合っていて、すてきだなと思ったよ。(P37)</li> <li>◇ピアノの伴奏も印象に残ったよ。(P37)</li> <li>◇歌詞の内容や旋律の音の動きなどに注目して、日本に古くから伝わる歌の特徴を見つけましょう。(P47)</li> <li>◇いろいろな国の音楽の雰囲気味わいながら、それぞれの国の人々が大切に伝えている音楽をききましょう。(P49)</li> </ul>

教科・種目名 音楽 調査研究事項  
別表4

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>児童の主体的な学習を促すページ(数)・印・表記など</p>	<p>◇「まなびナビ」のコーナーや吹き出しなどを使って示している。(全学年)  ◇巻頭に「学習マップ」を掲載し、1年間の学習に見通しをもって取り組めるように工夫している。(全学年)  ◇巻末に「全校合唱」で取り組むことができる歌を示している。(全学年)  ◇「もっとあそぼう」のコーナーを設け、児童が学習したことをもとに、発展的な内容に関心をもつように効果的に示している。(全学年)  ◇主体的な学びを促すため、「まなびリンク」のマークを付けたWEB資料で、学習をサポートするコンテンツを示している。(全学年)  ◇「もっとあそぼう」で、児童の主体的な学習を促している。  <b>【1年】</b>  ◇「まなびリンク」音楽に合わせて体を動かす例が動画で示されている。(P6)  ◇おんがくにあわせて、てやひざをうってもいいね。(P7)  ◇つよさもかわるね。きがついたかな。(P9)  ◇「まなびリンク」おちゃらかの遊び方がイラストの動画で示されている。(P14)  ◇うたをききながら、どれみにあわせて、てのたかさをかえられるかな。(P29)  ◇リズムをかえてあそんでみよう。(P34)  ◇ともだちとつなげてリレーしてみよう。(P38)  ◇他の楽器で音さがしをする活動(P43)  ◇「まなびリンク」シンバルの音色が動画と共に視聴できる。(P45)  ◇おとのつよさにあわせて、みぶりをしてもいいね。(P45)  ◇うたにあわせてあしぶみしたり、からだをうごかしたりしてもたのしいね。(P47)  ◇あれあれ。こねこがおんがくにあわせておどりはじめたよ。でもあんまりはしゃぎすぎると…。(P52)  ◇ほかのどうぶつのなきごえでもあそんでみよう。(P55)  ◇みぶりを付けてうたってもたのしいよ。(P56)  ◇かけごえをかさねてもたのしいよ。(P63)</p>	<p>◇キャラクターと吹き出しなどを使って示している。(全学年)  ◇巻頭に「学習マップ」を掲載し、1年間の学習に見通しをもって取り組めるように工夫している。(全学年)  ◇各題材の最後のページの「学習のまとめ」で、学んだことを振り返ったり、これからの学習につなげたりするような内容が示されている。(全学年)  ◇巻末の「ふり返りのページ」で、学習したことを振り返って確認したり関連付けたりすることができるよう工夫している。(全学年)  ◇主体的な学びを促すため、「ムーブの部屋」のWEB資料で、学習をサポートするコンテンツを示している。(全学年)  <b>【1年】</b>  ◇「ムーブのへや」作曲者からのメッセージ動画が視聴できる。(P6)  ◇知らないうたは、ともだちやせんせいに おしえて もらおう。(P9)  ◇「ムーブのへや」動きの例が動画で示されている。(P10)  ◇ほかのくにごの ことばで うたって みても たのしいね。(P11)  ◇「ムーブのへや」「ひらいたひらいた」の主旋律が視聴できる。(P12)  ◇がくしゅうの まとまりごとに まなんだことを ふりかえろう。(P13) ともだちと いっしょに うたったり、からだを うごかしたり する ことが できたかな。(P13)  ◇なれてきたら、せんせい→ひな→せんせい→まなぶの じゅんばんでつづけてみても いいね。(P14)  ◇なれて きたら、つよさや はやさ を かえて リレーしてみよう。(P15)  ◇<b>たんたんたん</b>や<b>たんたん</b>でもリレーしてみたいな。(P15)  ◇○の ところで、あるく むき を かえて も いいね。(P17)  ◇「ムーブのへや」「じゃんけんぽん」の主旋律が視聴できる。(P18)  ◇「ムーブのへや」「みんなであそぼう」の主旋律が視聴できる。(P20)  ◇うたの リズムを 手拍子で うって みようよ。(P21) 「じゃんけんぽん」で うった リズムが か くれて いるね。手拍子や カスタネットの リズムは そろって いるかな。はくに のって、ともだ ちと いっしょに リズムで あそぶ ことが できたかな。(P21)  ◇「ムーブのへや」「しろくまのジェンカ」の主旋律が視聴できる。(P22)  ◇「ムーブのへや」「かたつむり」の主旋律が視聴できる。(P24)  ◇「ムーブのへや」「ぶんぶんぶん」の主旋律が視聴できる。(P26)  ◇リズムを うつ まえに、はくに のって たんや たた、うんで うたって みよう。(P27)  ◇いろいろな ともだちと つなげて みよう。(P29)  ◇「ムーブのへや」「うみ」の主旋律が視聴できる。(P30)  ◇いろいろな リズムを まなんだね。おんがくに あわせて たのしみながら リズムを うったり つ ぐったり する ことが できたかな。(P31)  ◇おうちの なかの おとを みつけて みても いいね。(P32)  ◇まねっこしたり、おはなしするように よびかけあったり して みよう。(P33)  ◇みの まわりの いろいろな おとのおもしろさに きづく ことが できたかな。(P33)  ◇「ムーブのへや」「たのしくふこう」の主旋律が視聴できる。(P37)  ◇「ムーブのへや」「どんぐりさんのおうち」の主旋律が視聴できる。(P38)  ◇れもんさんや みかんさんのおうちも あるよ。みつけられるかな。(P39)  ◇ともだちのおとを よく きいて、おとあそびを しよう。(P40)  ◇おたがいの こえや 鍵盤ハーモニカのおとを よく ききあって えんそうしよう。(P42)  ◇「ムーブのへや」「なかよし」の主旋律が視聴できる。(P42)  ◇「ムーブのへや」「ひのまる」の主旋律が視聴できる。(P44)  ◇どれみふあその ばしよを おぼえて、けんばんハーモニカを ふいたり、おとの たかさの ちがいに きをつけて どれみで うたったり する ことが できたかな。(P45)  ◇<b>□</b>と<b>□</b>にわかれる とき、ふたりの くみになつたり、きく くみをつくつたりして、おたがいの こえの よいところを みつけるといいね。(P46)  ◇「ムーブのへや」「やまびごっこ」の主旋律が視聴できる。(P46)</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
児童の主体的な学習を促すページ(数)・印・表記など	<p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇足踏みやひざ打ちがむずかしいときは、手拍子にかえて楽しもう。(P5)</li> <li>◇手びょうしでいろいろな音が出せるよ。楽しいあそび方を見つけよう。(P7)</li> <li>◇「まなびリンク」曲に合わせて体を動かす例が動画で示されている。(P8)</li> <li>◇歌しに合わせて、いろいろな歌い方やみぶりで歌ってみよう。(P10)</li> <li>◇歌う人数をかえたり、グループどうしではなれて歌ったり、近づいて歌ったりしてみよう。(P13)</li> <li>◇はやさをかえてあそんでみよう。(P18)</li> <li>◇ほかにも体のいろいろなところをうって、リズムリレーをしよう。(P21)</li> <li>◇ずれながらかさなっていくのがおもしろいね。(P25)</li> <li>◇一人ひとつの音だけど、みんなで合わせると楽しいね。(P27)</li> <li>◇「まなびリンク」様々な虫の声が動画で示されている。(P33)</li> <li>◇「まなびリンク」「ふみきりの音」が視聴できる。(P34)</li> <li>◇「まなびリンク」「なみの音」が視聴できる。(P35)</li> <li>◇時計さんはいつも休まずうごいています。でもあれあれ？今日は時計さん、どうしたのかな？(P36)</li> <li>◇「まなびリンク」ウッドブロックの音色が視聴できる。(P36)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇リーダーを こうたいしながら あそぼう。ふたりのくみで まねっこあそびを はっぴょうしてもいいね。(P47)</li> <li>◇「ムーブのへや」「こうしんきょく」に出てくるの2つの旋律が図形楽譜と共に視聴できる。(P50)</li> <li>◇がっきを えんそうする まねを しながら きいても いいね。(P51)</li> <li>◇せんりつの まねっこや よびかけっこの おもしろさを みつけたね。ほかにも よびかけあう おんがくがあるかな。(P51)</li> <li>◇「ムーブのへや」「さがしてみようならしてみよう」の主旋律が視聴できる。(P54)</li> <li>◇3にんで いっしょにならずと おもしろいね。がっきが たのしく おはなししている みたいだね。(P57) ともだちが どのように おとを くみあわせているのか きいてみよう。(P57)</li> <li>◇がっきを ならず まねを しながら きいて みよう。(P59) いろいろな がっきの おとの おもしろさに きづく こと ができたかな。(P59)</li> <li>◇「ムーブのへや」「きらきらぼし」の主旋律が視聴できる。(P60)</li> <li>◇おんがくの どんなどころから にぎょうが めざめたと かんじたかな。(P63)</li> <li>◇「ムーブのへや」「はるなつあきふゆ」の主旋律が視聴できる。(P64)</li> <li>◇うたいかたや がっきの えんそうの しかた、はやさの ちがいによって、おんがくの かんじが かわるおもしろさ をかんじとることができたかな。(P65)</li> <li>◇じぶんの あそぶ はやさに あわせて うたう はやさを かえられるから おもしろいね。(P66)</li> <li>◇いろいろな ともだちと、いろいろな はやさで あそんで みよう。(P68)</li> <li>◇「ムーブのへや」「おちゃらかほい」の主旋律が視聴できる。(P68)</li> <li>◇ともだちといっしょにあそびながら、わらべうたを たのしんで きいたり うたったり する こと ができたかな。ほかの わらべうたで あそんでもいいね。(P69)</li> <li>◇「ムーブのへや」「あいあい」の主旋律が視聴できる。(P70)</li> <li>◇「ムーブのへや」「とんくるりんぱんくるりん」の主旋律が視聴できる。(P72)</li> <li>◇からだを うごかしながら うたって、<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">あ</span>と<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">い</span>の ちがいを かんじとってもいいね。(P73)</li> <li>◇「ムーブのへや」「こいぬのマーチ」の主旋律が視聴できる。(P74)</li> <li>◇きく くみをつくって、ともだちの えんそうを きいて みても いいね。(P75)</li> <li>◇「ムーブのへや」「クシコスポスト」の主旋律が図形楽譜と共に視聴できる。(P76)</li> <li>◇どこかで きいた ことのある おんがくだね。ともだちが みつけた すきな ところを みんなで きいて みよう。みんなで うたごえや がっきの おとを あわせる ことの たのしさをかんじとることが できたかな。(P77)</li> <li>◇「ムーブのへや」「たなばたさま」「おしょうがつ」「うれしいひなまつり」の主旋律が視聴できる。(P78)</li> <li>◇「ムーブのへや」「きみがよ」の主旋律が視聴できる。(P82)</li> </ul> <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「ムーブのへや」「メッセージ」の主旋律が視聴できる。(P6)</li> <li>◇「ムーブのへや」いろいろな国の挨拶の言葉の発音が視聴できる。(P6)</li> <li>◇右の日本語のあいさつのことばを手話であらわしてみよう。(P7)</li> <li>◇「ムーブのへや」「かくれんぼ」の主旋律が視聴できる。(P10)</li> <li>◇<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">□</span>と<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">□</span>の くみに 分かれて、うたっても いいね。(P11)</li> <li>◇音楽の かんじに あわせて、おどるように 体を うごかしながら きいてもいいよ。(P12)</li> <li>◇がくしゅうの まとまりごとに 学んだ ことを ふりかえろう。(P13)</li> <li>◇ともだちといっしょに あそんだり 体を うごかしたり しながら いろいろな くにの 音楽を 楽しくきく こと が できたかな。これからも 音楽で いろいろな 人と つながって いけると いいですね。(P13)</li> <li>◇「ムーブのへや」「はしの上で」の主旋律が視聴できる。(P14)</li> <li>◇「ムーブのへや」「2びょうしの手あそび」の例が動画で視聴できる。(P14)</li> <li>◇うたう くみと 手あそびを する くみに 分かれても いいね。(P15)</li> <li>◇「ムーブのへや」「たぬきのたいこ」の主旋律が視聴できる。(P16)</li> <li>◇「ムーブのへや」「3びょうしの手あそび」の例が動画で視聴できる。(P16)</li> </ul>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>児童の主体的な学習を促すページ(数)・印・表記など</p>	<p>◇「まなびリンク」トライアングルの音色が視聴できる。(P37)                  ◇「まなびリンク」「かねの音」が視聴できる。(P41)                  ◇つくったリズムを友だちとつなげてうってみよう。はじめやおわり、とちゅうにかけ声を入れると楽しいよ。(P47)                  ◇ほかのせんりつのところも、音楽やきこえてきた音に合わせてうごきを考えてみよう。(P49)                  ◇イでは、はくにのって手びょうしやひざうちをしてもいいね。(P52)                  ◇おいかけっこして歌うとおもしろいよ。「なつだ なつだ うみだ うみだ…」(P63)</p>	<p>◇くみを かえて ほかの ともだちとも うってみよう。(P17)                  ◇「ムーブのへや」「ミッキーマウスマーチ」と「メヌエット」の主旋律が図形楽譜と共に視聴できる。(P18)                  ◇音楽に あわせて 体を うごかしながら きいて みても いいね。(P19)                  ◇音楽に あわせて、前に あそんだ 手あそびを して みよう。(P19)                  ◇12ページで きいた いろいろな くにの 音楽とも くらべて みようよ。(P19)                  ◇はくの まとまりを かんじとりながら、2びょうしや 3びょうしの 音楽を うたったり きいたり することが できたかな。(P19)                  ◇ドレミで うたっている ぶぶんが こうはんに 出てくるよ。きこえたら、ドレミの ふうせんの えをゆびさしてみよう。(P20)                  ◇「ムーブのへや」「ドレミのふうせん」の主旋律が視聴できる。(P21)                  ◇「ムーブのへや」「かっこう」の主旋律が視聴できる。(P22)                  ◇どちらが 「かっこう」と いう ことばの かんじに あうのか、ふいて たしかめて みよう。(P23)                  ◇「ムーブのへや」「かえるのがっしょう」の主旋律が視聴できる。(P24)                  ◇3つの くみに 分かれて、1つの くみが ききやくに なっても いいね。ききやくに なったら、せんりつが かさなる おもしろさを かんじとりながら きいてみよう。(P25)                  ◇「ムーブのへや」「ぷっかりくじら」の主旋律が視聴できる。(P26)                  ◇音の たかさの ちがいに ちゅうもくしながら、ドレミで うたったり 鍵盤ハーモニカを ふいたり することが できたかな。ともだちの つくったせんりつを みんなで ふいてみても いいね。(P27)                  ◇31ページに、いろいろな 虫の なきごえが のっているよ。(P28)                  ◇だれか 1人の なきごえを なんども くりかえすと 音楽を つくりやすいよ。(P29)                  ◇なきごえの おもしろさを つたえられるように、くみあわせかたを くふうしたいな。(P29)                  ◇「ムーブのへや」「虫のこえ」の主旋律が視聴できる。(P30)                  ◇みの まわりの いろいろな なきごえや それを あらわす ことばの おもしろさに 気づく ことが できたかな。(P31)                  ◇「ムーブのへや」リズム①とリズム②が楽譜と共に視聴できる。(P32)                  ◇「ムーブのへや」四分音符と四分休符の書き方の例が動画で視聴できる。(P32)                  ◇「ムーブのへや」「この空とぼう」の主旋律が視聴できる。(P32)                  ◇休ふの(ウン)は、こころの 中で うたうと いいよ。(P33)                  ◇「ムーブのへや」リズムが楽譜と共に視聴できる。(P34)                  ◇「ムーブのへや」「いるかはざんぶらこ」の主旋律が視聴できる。(P34)                  ◇音の 出しかたについても かんがえて みよう。(P34)                  ◇34ページの がくしゅうを おもいだして、リズムを うつ がつきを えらぼう。(P36)                  ◇「ムーブのへや」リズムが楽譜と共に視聴できる。(P36)                  ◇「ムーブのへや」八分音符と八分休符の書き方の例が動画で視聴できる。(P36)                  ◇「ムーブのへや」「山のポルカ」の主旋律が視聴できる。(P36)                  ◇2びょうしや 3びょうしの リズムを ともだちと いっしょに うつ ことが できたかな。うたと あわせると、もっと 楽しくなるね。(P37)                  ◇「ムーブのへや」「かねがなる」の主旋律が視聴できる。(P38)                  ◇音のたかさを たしかめる ために、れいのように 手を 上下にうごかしてうたってもいいね(P38)                  ◇「ゴンゴンゴーン」の ぶぶんを くりかえして うたう くみと せんりつを かしで うたう くみに 分かれて、かさねて うたっても 楽しいよ。(P39)                  ◇さいしょと ちがう カードや くりかえしかたで つくりなおしても いいよ。(P41)                  ◇せんりつが かわる ところで、手を あげてみよう。(P42)                  ◇「ムーブのへや」「トルコこうしんきょく」の「はじめのせんりつ」と「もう1つのせんりつ」が 図形楽譜と共に視聴できる。(P42)                  ◇くりかえしも おもしろいけど、音の つよさが かわって いくのも おもしろいな。(P43)                  ◇せんりつや リズムが くりかえされる おもしろさが 分かったかな。ほかの 音楽でも くりかえしに ちゅうもくして みよう。(P43)                  ◇あたらしい リズムを つくって オに かいでも いいね。(P46)</p>



調査項目	17 教 出	27 教 芸
児童の主体的な学習を促すページ(数)・印・表記など	<p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇どんなイメージで「ヤッホー」と言ってみたいかを、いくつか書いてみて、そのイメージで表現しよう。ワークシート掲載 (P29)</li> <li>◇一つ一つのフレーズをどんなふうに歌いたいか、友達とお話ししよう。(P31)</li> <li>◇旋律の流れに合わせて、手や体を動かしながら聴いてみよう。旋律の感じは、どのように変わっていくかな。(P35)</li> <li>◇バイオリンの音を味わって聴こう。(P35)</li> <li>◇チェロの音を味わって聴こう。(P37)</li> <li>◇「ピラロ ルラ」や、「よふけのもりにきこえる」のところは、それぞれどんなふうに歌うとよいかな。(P39)</li> <li>◇「ひなたちを」から「おやすみ」のところも、歌い方を考えてみよう。(P39)</li> <li>◇「白鳥」 ピアノの動きも、体で表してみよう。(P37)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「ムーブのへや」二分音符の書き方の例が視聴できる。(P46)</li> <li>◇「ムーブのへや」「かぼちゃ」の主旋律が視聴できる。(P48)</li> <li>◇がっきの音がつながったりかさなったりすると、音楽が楽しくなることが分かったかな。これからもいろいろながっきの音に気をつけて音楽をきいたりえんそうしたりしよう。(P49)</li> <li>◇「ムーブのへや」「あのねのねずみは」の主旋律が視聴できる。(P50)</li> <li>◇ともだちはどんなくふうをしているかな。くうふしたところをつたえあおう。(P50)</li> <li>◇このせんりつは、さっききこえたものとおなじかな。もう1かいきいてたしかめたいな。(P53)</li> <li>◇「ムーブのへや」「夕やけこやけ」の主旋律が視聴できる。(P54)</li> <li>◇「ムーブのへや」「小ぎつね」の主旋律が視聴できる。(P56)</li> <li>◇音楽があらわすようすをおもいうかべながら気に入ったぶぶんを見つけたり、うたいかたやえんそうのしかたをくふうすることで、音楽でようすやきもちをつたえたりすることができたかな。(P57)</li> <li>◇おうちの人やちいきの人にわらべうたをおそわってもいいね。(P58)</li> <li>◇「ムーブのへや」「なべなべそこぬけ」の主旋律が視聴できる。(P59) まりつきのまねをしながらうたってみよう。(P59)</li> <li>◇ともだちとうたいながらあそんだり、名前をつかったせんりつあそびをしたりして、わらべうたを楽しむことができたかな。(P61)</li> <li>◇「ムーブのへや」「楽しいね」の主旋律が視聴できる。(P62)</li> <li>◇手びょうしをうったり「ラララン」などのかけごえをうたったりするくみをつくって、たがいにききあってうたおう。(P63)</li> <li>◇「ムーブのへや」「こぐまの二月」の主旋律が視聴できる。ゆめを見ながらねているくまさんにきいてもらえるように、やさしい音でえんそうしたいな。(P64)</li> <li>◇「ムーブのへや」「エンターテイナー」の主旋律と低音の旋律が図形楽譜と共に視聴できる。(P66) 「こぐまの二月」(64ページ)のていおんがっきのように、ひくい音のせんりつがかつやくしているね。(P67)</li> <li>◇「ムーブのへや」「はるがきた」の主旋律が視聴できる。(P68)</li> <li>◇みんなでうたごえやがっきの音をあわせることの楽しさをあじわうことができたかな。(P69)</li> <li>◇「ムーブのへや」「夕日」「とんぼのめがね」「シャボン玉」の主旋律が視聴できる。(P70)</li> <li>◇「ムーブのへや」「あの青い空のように」「はるのまきば」「あおいそらにえをかこう」の主旋律が視聴できる。(P72)</li> <li>◇「ムーブのへや」「手のひらをたいように」「どこかで」「ドレミであそぼ」の主旋律が視聴できる。(P74)</li> <li>◇「ムーブのへや」「アイアイ」の主旋律が視聴できる。(P76)</li> <li>◇「ムーブのへや」「きみがよ」の主旋律が視聴できる。(P82)</li> </ul> <p>【3年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇友達と声やリズムを合わせて、歌ったり手遊びをしたりすることができたかな。(P15)</li> <li>◇楽譜を読めるようになると、新しい曲に出会ったとき、自分だけで歌ったり演奏したりすることができるようになるよ。少しずつ、読めるようにしよう。(P19)</li> <li>◇どのように歌ったら、春の様子に合った歌い方になるかな。(P10)</li> <li>◇言葉や旋律のまとまりを生かすためには、どのような歌い方をすればよいかな。(P14)</li> <li>◇それぞれの音の高さに合った息の強さをためして、曲の感じに合うように、吹き方を工夫しよう。(P28)</li> <li>◇きれいな音を出すためには、息の使い方やタンギングが大切であることが分かったかな。これからも。その曲に合った息の使い方やタンギングに気を付けて演奏しよう。(P29)</li> <li>◇それぞれのパートの旋律の特徴を生かすには、どのような演奏の仕方が合うかな。(P30)</li> <li>◇拍子やリズムが生み出す面白さを感じるということができたかな。これから新しい音楽と出会うときにも、歌ったり演奏したりする前に、拍子の記号に注目してみよう。(P35)</li> <li>◇旋律の音の上がり下がり注目して、旋律の特徴や曲の山を見つけることができたかな。他の曲でも探してみ、歌い方や演奏の仕方を工夫してみよう。(P45)</li> </ul>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>児童の主体的な学習を促すページ(数)・印・表記など</p>	<p><b>【4年】</b>                      ◇歌ったり、聴いたりしながら、指揮の動きをして、拍子の違いを感じ取ろう。(P15)                      ◇強弱などの変化にも合わせて、指揮の動きができるかな。(P16)                      ◇旋律の感じに合った声や歌い方について考えてみよう。(P19)                      ◇家庭教師マリアやトラップ家の子どもたち、子どもたちの父親トラップ大佐などの、歌声の違いに注目して聴いてみよう。(P21)                      ◇それぞれの曲の魅力は、どんなところにあるかな。(P21)                      ◇「とんび」音ぶを1だんごとになぞるなどして、せんりつがどのような流れになっているのかをたしかめ、気づいたことを話し合おう。「ピンヨロー」のフレーズはどんな感じで歌いたいか。いろいろな強さや感じで歌って、ためしてみよう。(P32)                      ◇曲全体の流れはどのようになっているかな。旋律や楽器の音に注意して聴こう。(P35)                      ◇下のパートの旋律の流れは、上のパートとどのように関わっているかな。1段ごとに調べてみよう。(P39)                      ◇「ノルウェー舞曲第2番」音楽に合わせて体を動かしたり、歩いたり、しきの動きをしたりしながらきいて、気がついたことや感じ取ったことを友達とお話ししよう。表に書いたことをもとにこの曲のよいなと思ったところやおもしろいなと思ったところなどを、友達と伝え合い、全体を味わってきこう。ワークシート掲載(P55)                      ◇声や楽器で、「おどれサンバ」に、リズムばんそうをつけよう。シェーカー・アゴゴー・フロアトム(P48)                      ◇「全校合唱『さんぼ』」学年の発達段階に合わせた楽譜内容。</p> <p><b>【5年】</b>                      ◇1度や5度の和音で、別のポーズも考えてみよう。(P17)                      ◇けんばん楽器を使って、和音のいいところを、いろいろなひき方で演そうしてみよう。(P19)                      ◇作詞者からみなさんへ 鈴木須美子(P25) 二次元コード                      ◇わたしたちのくらしの中にも、特ちょうのある声の出し方や節まわしが見られます。まねしたり、他にも見つけたりしてみよう。(P39)                      ◇それぞれの歌がどんなときに歌われるか、図書館やインターネットなどで調べてみるとおもしろいよ。(P41)                      ◇スキーのときのスピード感や、わくわくする気持ちを思いうかべて、生き生きと歌いたいね。(P51)                      ◇体のいろいろなところを打って演そうする。(P59)                      ◇楽器で演そうする。(P59)</p> <p><b>【6年】</b>                      ◇他のテーマや言葉でつくったリズムをもとに、自分たちのリズムアンサンブルをつくって遊ぼう。(P9)                      ◇同じ曲でも演奏の仕方によって感じが変わります。いろいろな人の演奏をきいてみよう。(P16)                      ◇作者はだれに向かって、どんなメッセージを曲にこめたのかを想像してみよう。(P18) 二次元コード                      ◇強弱を変化させてみよう。(P27)                      ◇一人で歌うところをつくるなど、ひびきの変化をさらに楽しんでみよう。(P27)                      ◇和音や低音のリズムも変えてみよう。(P37)                      ◇笛はタンギングをしないでふいてみよう。(P45)</p>	<p>◇旋律の重なりに注目して音楽を聴いたり、旋律が重なる面白さを感じ取りながら、歌ったり演奏したりすることができたかな。(P51)                      ◇いろいろな楽器の音色や重なる合う音の響きに親しむことができたかな。これからも、音の響きに注目しながら音楽を楽しもう。(P59)                      ◇古くから伝わる祭囃子の音楽を聴いたり、自分たちのお囃子をつくったりして、日本の楽器の音や音楽に親しむことができたかな。(P65)                      ◇友達と協力しながら、曲の感じを生かして歌い方や演奏の仕方を工夫することができたかな。(P69)                      ◇巻末リコーダーの指づかいのまとめを掲載している。</p> <p><b>【4年】</b>                      ◇友達と一緒に声を合わせて歌ったり、拍にのってリズムを打ったりすることの楽しさを味わえたかな。(P11)                      ◇歌声のいろいろなよさやとくちょうを感じ取ることができたかな。(P19)                      ◇いろいろなリズムの特徴やリズムを組み合わせることの面白さを感じ取ることができたかな。(P25)                      ◇地域に伝わる音楽を聴いて、旋律や音色の特徴を感じ取ることができたかな。(P29)                      ◇音の上がり下がりやスタッカートなどが、旋律の特徴や曲の感じを生み出していることが分かったかな。他の曲を演奏したり、聴いたりするときも、確かめてみよう。(P37)                      ◇旋律が重なることによって、歌声や楽器の音が重なり合い、新しい響きを生み出すということが分かったかな。(P47)                      ◇材質や音の出る仕組みが違っていると、楽器の特徴や音楽の魅力も変わってくるということが分かったかな。これからも、よく耳をすまして楽器の音と向き合ってみよう。(P57)                      ◇日本の楽器の音色や、日本の音階のよさを感じ取ることができたかな。(P63)                      ◇4年生で学んできたことを振り返ろう。音楽や歌詞の中から、自分なりによさを見つれたり、それを生かして表現を工夫したりすることができたかな。(P69)</p> <p><b>【5年】</b>                      ◇旋律のくり返しや強弱記号に気を付けて演奏をきいたり、歌詞の表す気持ちを想像したりしましょう。(P10)                      ◇歌詞の様子を思いうかべたり、歌詞にこめられた気持ちについて考えたりしながら、調べたことを生かして歌い方を工夫しましょう。(P15)                      ◇右の例を参考にして、旋律の重なり方のちがいに気を付けながらききましょう。(P20)                      ◇旋律の重なり方が移り変わる様子や弦楽合奏のひびきのよさや美しさを味わいながらききましょう                      ◇それぞれの楽器は、形はにているけれど、大きさがちがうね。(P21)                      ◇主な旋律を演奏する楽器に注目したり気に入った部分を見つれたりしながら、曲や演奏のよさや楽しさを味わってききましょう。(P28)                      ◇今までに学んできたことを思い出しながら、いろいろな鳴らし方でためしてみたいな。(P30)                      ◇友達と合わせてみて、他のリズムや楽器が合うと思ったら変えてもいいよ。(P32)                      ◇演奏家がどんな工夫をしているのか、演奏をききながら、確かめてみたいな。(P55)</p> <p><b>【6年】</b>                      ◇自分の夢を思いえがきながら、気持ちをこめて歌いましょう。(P9)                      ◇くちびるや舌の使い方など発音の仕方を工夫すると、いろいろな声のひびきを生み出すことができます。3人の組になって、21ペにあるリズム伴奏を声で演奏して、声のひびきが重なるおもしろさを感じ取りましょう。(P22)                      ◇他の言葉でもためして、おもしろいひびきをさがしてみたいな。(P22)                      ◇歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を味わいながらききましょう。(P37)                      ◇友達が感じたこの曲のよさに注目して、もう一度ききたいな。(P37)                      ◇「ふるさと」について、家族や地域の人にインタビューしてみましょう。(P42)                      ◇「みつける」の活動で課題解決に向けての活動が示している。(全学年)</p>

調査項目	17 教出	27 教芸
<p>課題を解決していく能力をはぐくむための題材設定や問題解決を促す活動例や書き込みページなど</p>	<p>◇「まなびナビ」マークで、主体的な課題解決のきっかけとなる「発問」をコーナーや吹き出しを使って示している。また中・高学年の「学び合う音楽」で協働的に学び合う発問等を示している。</p> <p>◇「もっとあそぼう」のコーナーを設け、学習したことをもとに発展的な学びに展開できるように示している。(全学年)</p> <p>◇教科書の紙面だけでなく「まなびリンク」の二次元コードを読み取ると、書き込むためのワークシートを示している。(全学年)</p> <p><b>【1年】</b></p> <p>◇自分が見つけたリズムを記号で書き込むページ(P23)</p> <p>◇自分が選んだ音を書き込むページ(P38)</p> <p>◇音をつないで旋律をつくるページ(P59)</p> <p>◇1ばんと2ばんでおはなのようすがわかるね。どんなうたいかたやうごきがあうかな。(P13)</p> <p>◇4にんであそぶときはどんなうごきになるかな。(P15)</p> <p>◇どんなきもちで、かたつむりにうたいかけたいかな。(P17)</p> <p>◇ひとつのトライアングルからどんなおとがだせるかな。(P42)</p> <p>◇おや、いろいろなねこがいるね。どんななきごえがきこえるかな。(P50)</p> <p>◇「にゃーお」はどんなうたいかたがいいかな。(P51)</p>	<p>◇教科書の紙面に書き込むだけでなく「ムーブのへや」の二次元コードを読み取ると書き込むためのワークシート等を示している。(全学年)</p> <p><b>【1年】</b></p> <p>◇おんがくに あわせて からだを うごかしながら ききましょう。(P7)</p> <p>◇はやさに きをつけて、ともだちと いっしょに おどりながら ききましょう。(P10)</p> <p>◇おんがくに あわせて、手拍子を うったり あるいたり しましょう。(P16)</p> <p>◇□の ところで からだを うごかしながら うたいましょう。リズムを みつけられるかな。(P19)</p> <p>◇えんそうを きいたり うたったりして、リズムを みつけましょう。(P21)</p> <p>◇この おんがくは どのような かんじが するかな。おんがくに あわせて、リズムを 手拍子や カスタネットで うちましょう。(P23)</p> <p>◇かたつむりに よびかけるような きもちで うたいましょう。(P25)</p> <p>◇えんそうを きいたり うたったり しながら、「ぶんぶんぶん」と「はちがとぶ」の リズムの ちがいをかんじとりましょう。(P27)</p> <p>◇おなじ ことばを くりかえしたり ちがう ことばを くみあわせたりして できる リズムの おもしろさをたしかめましょう。(P29)</p> <p>◇言葉を選ぶとリズムが表示されるWEBコンテンツ(P29)</p> <p>◇うみは どのような ようすかな。おんがくの かんじや かしから みつけましょう。(P31)</p> <p>◇みみを すまして、がっこうの なかで きこえる おとを みつけましょう。どのような おとが きこえてきますか。(P32)</p> <p>◇いろいろな おとの だしかたを みつけて あそびましょう。(P37)</p> <p>◇見つけた鍵盤ハーモニカの音の出し方に○を書き込むページ(P37)</p> <p>◇うたいながら、鍵盤ハーモニカの どと その ばしょを みつけましょう。(P38)</p> <p>◇どれみが でて くる かしに きをつけて うたいましょう。(P42)</p> <p>◇どれみふあその ばしょを たしかめて、□の ところを 鍵盤ハーモニカで ふきましょう。(P42)</p> <p>◇どれみふあその なかから おとを えらんで、<b>たんたんたん・</b>の リズムの せんりつを つくりましょう。いちばん きにいった せんりつは、したの ○に かいておきましょう。(P48)</p> <p>◇つくった旋律を書き込むページ(P48)。</p> <p>◇つくった せんりつを つかって、いろいろな ともだちと 鍵盤ハーモニカで まねっこしたり おはなしするように つなげたりして、おもしろい くみあわせの せんりつを みつけましょう。(P48)</p> <p>◇音を選んで旋律をつくるWEBコンテンツ(P49)</p> <p>◇よびかけあっている がっきや せんりつに きをつけて ききましょう。(P51)</p> <p>◇1つの がっきから、いろいろな おとを みつけられるかな。(P53)</p> <p>◇すきな がっきを えらんで、おんがくの かんじや かしに あった、がっきの おとや ならしかたを みつけましょう。(P54)</p> <p>◇ひだりの えを みて、がっきの ならしかたを ためしながら えにあう おとを さがして、ともだちと しょうかいしあいましょう。(P57)</p> <p>◇ウッドブロックと トライアングルは、とけいの どのような ようすを あらわしているかな。ウッドブロックと トライアングルの おとに きをつけて ききましょう。(P59)</p> <p>◇ほしぞらは どのような ようすかな。おんがくの かんじや かしから みつけましょう。(P60)</p> <p>◇おんがくに あわせて、あるいたり からだを うごかしたり して、おんがくの かんじが かわるところに きをつけて ききましょう。(P63)</p> <p>◇きせつの ようすを おもいうかべながら、かきを こえに だして よんだり、ばんそうを きいたり しましょう。(P65)</p> <p>◇あそびながら おんがくを きいて、わらべうたの たのしい ところを みつけましょう。(P66)</p> <p>◇いろいろな はやさで うたって、この うたの たのしさを ともだちと つたえあいましょう。(P68)</p> <p>◇□と□のくみにわかれ、まねっこするぶぶんといっしょにうたうぶぶんいきをつけてうたいましょう。(P71)</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>課題を解決していく能力をはぐくむための題材設定や問題解決を促す活動例や書き込みページなど</p>	<p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇身近に見つけた音について書き込むページ(P35)</li> <li>◇自分の太鼓のリズムを書き込むページ(P47)</li> <li>◇聴こえてきた音について書き込むページ(P48)</li> </ul> <p>◇どんな強さで歌ったらよいか。(P10)</p> <p>◇よびかけ合って歌うとき、○のグループはどんな強さで歌うとよいか。(P14)</p> <p>◇きょくのとちゅうで、かんじがかわるところを見つけよう。かわる前と後では、それぞれどんな歌う方が合うかな。(P31)</p> <p>◇虫の鳴き声のところや、「ああおもしろい」のところは、どんな声や気持ちで歌いたいかな。(P33)</p> <p>◇1番と2番の歌しは、それぞれどんなようすをあらわしているかな。(P41)</p> <p>◇「かえりましょう」のところは、どのように歌ったらよいか。(P41)</p> <p>◇「ドンドンヒャララ」は、どんなかんじで歌ったらよいか。(P45)</p> <p>◇このきょくのせんりつは、タンタタンタンのリズムや同じことばを何どもくりかえしながら、音の高さがかわっていきます。どんな気持ちをあらわしているのかな。(P57)</p> <p>◇「のにもきた」のところを気持ちよくきれいに歌うには、どんな声で歌うとよいか。(P57)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇あ→い→あのじゅんにうたったり、鍵盤ハーモニカやタンブリン、トライアングルをえんそうしたりして、あといのちがいをかんじとりましょう。(P73)</li> <li>◇かしゃどれみでうたったりえんそうをきいたりして、あといのちがいをかんじとりましょう。(P75)</li> <li>◇おんがくにあわせて、からだをうごかしながらリズムやはやさにきをつけてききましょう。(P77)</li> </ul> <p>【2年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇あいさつのことばのところで、がくふの〈はなしことばで〉のぶぶんをゆびさしながら、きいたりうたったりしましょう。(P6)</li> <li>◇音楽にあわせて、足ぶみをしたり手拍子をうたったりしましょう。(P8)</li> <li>◇かしゃをよんだりうたをうたったりして、おにのやくのことばとかくれるやくのことばを見つけましょう。(P10)</li> <li>◇しゃしんを見たり音楽をきいたりして、それぞれのおどりの音楽について、気づいたことをはなしあいましょう。(P13)</li> <li>◇音楽にあわせて、2びょうしの手あそびをしましょう。はくのまとまりをかんじとることができるかな。(P15)</li> <li>◇音楽にあわせて3びょうしの手あそびをして、「はしの上で」(14ページ)の音楽のかんじとくらべましょう。(P16)</li> <li>◇はくを手拍子でうちながら、左ページの2つの音楽をきいたり、せんりつを口ずさんだりしましょう。(P19)</li> <li>◇かしの○のぶぶんで、ドレミのふうせんのえをゆびさしたりドレミでうたったりしながら、音楽をききましょう。(P20)</li> <li>◇音のたかさに気をつけながら、かしゃドレミでうたいましょう。どのようなかんじがするうたかな。(P22)</li> <li>◇音のたかさに気をつけながら、かしゃドレミでうたって、せんりつのかんじをたしかめましょう。(P24)</li> <li>◇おんがくのかんじにちゅうもくして、えんそうをきいたりかしゃドレミでうたったりしましょう。(P26)</li> <li>◇音を選んでつくった旋律を書き込むページ(P27)</li> <li>◇いえや学校のまわりできこえるなきごえを見つけ、こえであらわしましょう。(P28)</li> <li>◇虫のなきごえのかんじが出るようにかしゃをよんだり、ようすをおもいうかべながらうたったりしましょう。(P30)</li> <li>◇下の2つのリズムが4分音ぶや4分休ふでできていることをたしかめましょう。(P32)</li> <li>◇2つのくみに分かれて、うたとあわせて下のリズムをうち、それぞれのリズムのおもしろさをかんじとりましょう。(P32)</li> <li>◇4分音符や4分休符を書き込むページ(P32)</li> <li>◇2つのくみにわかれて、うたとあわせて下のリズムを手拍子でうち、3びょうしのリズムのおもしろさをかんじとりましょう。(P34)</li> <li>◇8分音ぶや8分休ふのながさをたしかめましょう。(P36)</li> <li>◇えんそうにあわせてリズムを手拍子やがっきでうたったり、鍵盤ハーモニカのせんりつをドレミでうたったりしましょう。(P36) 8分音符や8分休符を書き込むページ(P36)</li> <li>◇せんりつがくりかえされているところはどこですか。下のれいのようにかねの音をあらわすことばでうたって見つけましょう。(P39)</li> <li>◇リズムを組み合わせるWEBコンテンツ(P40)</li> <li>◇つくったリズムを手拍子でうたったりことばでいったりしてともだちとききあい、くりかえしがどこにつかわれているかをたしかめましょう。(P41)つくったリズムを書き込むページ(P40、41)</li> <li>◇このきょくには、2つのせんりつが出てきます。それぞれのせんりつのくりかえしに気をつけてききましょう。(P43)</li> <li>◇きこえた音をまねしてうたったり、がっきをえんそうするまねをしたりしながら、音楽をききましょう。(P45)</li> </ul>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>課題を解決していく能力をはぐくむための題材設定や問題解決を促す活動例や書き込みページなど</p>	<p>【3年】</p> <p>◇どんなイメージで「ヤッホー」と言ってみたいかを、いくつか書いてみて、そのイメージで表現しよう。ワークシート掲載 (P29)</p> <p>◇一つ一つのフレーズをどんなふうに歌いたい、友達とお話ししよう。(P31)</p> <p>◇旋律の流れに合わせて、手や体を動かしながら聴いてみよう。旋律の感じは、どのように変わっていくかな。(P35)</p> <p>◇「ピラロ ルラ」や、「よふけのもりにきこえる」のところは、それぞれどんなふうに歌うとよいか。(P39)</p> <p>◇「ひなたちを」から「おやすみ」のところも、歌い方を考えてみよう。(P39)</p> <p>◇学び合う音楽—みんなで表現を深めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタート：言葉や旋律の流れを生かして歌いたいな。</li> <li>・ゴール：旋律の流れを生かし、気持ちよく声を出して歌えるかな。(P43)</li> </ul> <p>◇それぞれの旋律の特徴や感じ取った雰囲気、イメージなどを書いておこう。ワークシート掲載 (P57)</p> <p>◇パートの役割に合わせて、どんな強さで演奏したらよいか、考えてみよう。(P59)</p> <p>【4年】</p> <p>◇歌ったり、聴いたりしながら、指揮の動きをして、拍子の違いを感じ取ろう。(P15)</p> <p>◇強弱などの変化にも合わせて、指揮の動きができるかな。(P16)</p> <p>◇旋律の感じに合った声や歌い方について考えてみよう。(P19)</p> <p>◇家庭教師マリアやトラップ家の子どもたち、子どもたちの父親トラップ大佐などの、歌声の違いに注目して聴いてみよう。(P21)</p> <p>◇それぞれの曲の魅力は、どんなところにあるかな。(P21)</p> <p>◇「とんび」音ぷを1だんごとになぞるなどして、せんりつがどのような流れになっているかをたしかめ、気づいたことを話し合おう。「ピンヨロー」のフレーズはどんな感じで歌いたいかな。いろいろな強さや感じで歌って、ためしてみよう。(P32)</p>	<p>◇下の がっきの 中から すきなものを 1つ えらび、ア、イ、ウ、エ、の リズムを うちましよう。(P46)</p> <p>◇選んだ楽器でつくったリズムを視聴できるWEBコンテンツ(P46)</p> <p>◇2分音符を書き込むページ(P47)</p> <p>◇楽器を選んで視聴できるWEBコンテンツ(P48)</p> <p>◇かしの あらわす ようすを そうぞうしながら うたいましよう。(P48)</p> <p>◇かしの 出てくる どうぶつや 虫たちの ようすに ちゅうもくして、うたいましよう。(P50)</p> <p>◇ひなどりの ようすを おもいうかべながら 音楽を きいて、気づいたことを ともだちと つたえ あいましよう。(P52)</p> <p>◇かしの こえに 出して よみ、ようすを おもいうかべたり、気に入 った ぶぶんを 見つけたり しましよう。(P55)</p> <p>◇かしの よんで、小ぎつねの ようすを おもいうかべたり、せんりつを ドレミで うたったり しましよう。(P56)</p> <p>◇うたに あわせて あそびながら、それぞれの わらべうたの おもしろさを 見つけましよう。(P58)</p> <p>◇四分音符、八分音符、二分音符、の リズムを つかって、名前を となくて あそびましよう。どんな リズムが できるかな。(P60)</p> <p>◇音を選んで旋律をつくるWEBコンテンツ(P60)</p> <p>◇手びょうしや「ラララン」などの かけごえの ぶぶんを ちゅうもくして うたったり えんそうを きいたりして、気づいた ことを つたえあいましよう。(P63)</p> <p>◇ようすを おもいうかべながら、かしで うたいましよう。(P64)</p> <p>◇リズムや 4分休ふに 気をつけて、それぞれの せんりつを ドレミで うたいましよう。(P64)</p> <p>◇手や 体を うごかしながら 音楽を きいて、下の 2つの せんりつを 見つけましよう。(P67)</p> <p>◇おなじ ことばが くりかえされると、どのような かんじが するかな。かしの よんだり うたっ たり して、気づいたことを つたえあいましよう。(P69)</p> <p>【3年】</p> <p>◇どのように歌うと、春の様子に合った歌い方になるかな。(P10)</p> <p>◇言葉や旋律のまとまりを生かすためには、どのような歌い方をすればよいか。(P14)</p> <p>◇パートを交代して演奏したり、それぞれのパートのリズムを手拍子で打ったりして、2拍子のいろいろなリズムを体験してみたいな。(P31)</p> <p>◇3拍子の感じを出すには、どんなところに気を付けたらいいのかな。(P33)</p> <p>◇旋律の上がり下がりや、アとイの感じに合う歌い方や演奏の仕方を考えましよう。(P37)</p> <p>◇音楽に合わせて、主な旋律の図形を指でたどって、アとイの旋律を比べてみようかな。(P39)</p> <p>◇気持ちの盛り上がりを生かして歌うにはどうしたらよいか。言葉のまとまりや、旋律の特徴が生み出すよさを感じながら歌い方を工夫しましよう。(P43)</p> <p>◇旋律の音の上がり下がりやリズムに気を付けて、曲の雰囲気合う歌い方を工夫しましよう。(P44)</p> <p>◇「かね」アとイの感じの違いや気付いたことをメモし、友達と伝え合いましよう。(P47)</p> <p>◇「歌おう声高く」2つに分かれて歌う部分では、どのようなことに気を付けて歌いたいですか。旋律のリズムや重なりに注目して、工夫しましよう。(P49)</p> <p>◇「メリーさんのひつじ」 リコーダーの音の重なりがきれいに響くようにするためには、どのようなことに気を付けて演奏すればよいか。(P51)</p> <p>【4年】</p> <p>◇曲の感じを生かした歌い方を工夫しましよう。リズムや、旋律と音の上がり下がりに注目して、歌い方を工夫したいな。(P13)</p> <p>◇2人の歌声がかけ合いをしたり、重なったりするとことでは、どんな感じがするかな。(P17)</p> <p>◇それぞれの地域の人達は、どんな思いで受け継いできたのかな。(P29)</p> <p>◇3年生の「ふじ山」を歌ったとき、旋律の音の上がり下がりに注目したよね。(P31)</p> <p>◇音楽に合わせて、主な旋律と伴奏の図形を指でたどってみよう。どんな特徴を見つけれられるかな。(P35)</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>課題を解決していく能力をはぐくむための題材設定や問題解決を促す活動例や書き込みページなど</p>	<p>◇曲全体の流れはどのようにになっているかな。旋律や楽器の音に注意して聴こう。(P35)</p> <p>◇下のパートの旋律の流れは、上のパートとどのように関わっているかな。1段ごとに調べてみよう。(P39)</p> <p>◇「ノルウェー舞曲第2番」 音楽に合わせて体を動かしたり、歩いたり、しきの動きをしたりしながらきいて、気がついたことや感じ取ったことを友達とお話ししよう。表に書いたことをもとにこの曲のよいなと思ったところやおもしろいなと思ったところなどを、友達と伝え合い、全体を味わってきこう。ワークシート掲載(P55)</p> <p>◇声や楽器で、「おどれサンバ」に、リズムばんそうをつけよう。シェーカー・アゴゴー・フロアトム(P48)</p> <p><b>【5年】</b></p> <p>◇自分たちの思いや意図を大切に、よりよい演そうにしていくためのポイントを考えながら練習しよう。(P27)</p> <p>◇「子もり歌」を、小さい子をねかしつけるような気持ちで歌ってみよう。どんな歌い方が合うかな。(P39)</p>	<p>◇図形楽譜を指でたどりながら聴いてみよう。(P39)</p> <p><b>【5年】</b></p> <p>◇曲の山はどこにあるのかな。(P15)</p> <p>◇歌詞にこめられた気持ちを考えながら、友達と声をそろえて歌う楽しさを味わうことができたかな。(P15)</p> <p>◇リコーダーの音がとけ合ったり重なり合ったりするひびきの美しさを出すにはどうしたらよいかな。息の使い方や音の合わせ方などを工夫しましょう。(P16)</p> <p>◇ハ長調の音階とくらべると、イ短調の音階はどんな感じがするかな。それぞれの音階を鍵盤でひいて、感じのちがいを確かめてみよう。(P17)</p> <p>◇他の部分はどうか歌おうかな。(P19)</p> <p>◇音が重なり合うことで、歌声や楽器のひびきがゆたかになることを感じ取ることができたかな。これからは、音色や音の重なりに気を付けて、ゆたかなひびきの合唱や合奏をめざそう。(P23)</p> <p>◇まずは、知っている楽器の音色に注目して、全体をきいてみようかな。(P29)</p> <p>◇アイデアを出し合ったり、実際に音に出してためしたりしながら、組み合わせを考えよう。(P31)</p> <p>◇選んだリズムをつなげたり重ねたりして演奏し、気に入った順番や重ね方を見つけましょう。(P32)</p> <p>◇実際に、音に出して確かめながら、自分たちがイメージした音楽になるように、つなげ方や重ね方を工夫しましょう。(P33)</p> <p>◇音色の組み合わせが変化することで、音楽の印象が変わることを感じ取ることができたかな。一つ一つの楽器の音色と同じくらい、それらが重なり合うひびきのおもしろさや美しさも大事にしていこう(P33)</p> <p>◇自分たちの演奏を、録画さつえいしたり録音したりして、確かめてみてもいいね。(P33)</p> <p>◇リズムアンサンブルの例を示した図(P33)</p> <p>◇伴奏をききながら体を動かして、和音のひびきのちがいを感じ取ってもいいね。(P35)</p> <p>◇ためしに何通りかつくってくらべてみようかな。(P38)</p> <p>◇和音のひびきや、それらが移り変わっていくよさやおもしろさを感じ取ることができたかな。(P39)</p> <p>◇和音で旋律づくりをする際に音の上がり下がりや選んだ音を書き込むワークシート(P39)</p> <p>◇同じリズムで演奏するときは、気持ちも合わせて演奏したいな。(P43)</p> <p>◇曲想に合った歌い方や演奏の仕方を工夫していくことで、その音楽をより深く理解して楽しめるようになります。音楽をきくときにも、曲想と気付いたこととの関わりについて考えていこう。(P43)</p> <p>◇「待ちぼうけ」は、詩を声に出して読んだときの言葉の音の高低やリズムなどが、そのまま生かされているよう旋律でつくられています。実際に声に出して読んで言葉のリズムの楽しさを感じ取ったり、言葉の感じと旋律が一体となって生み出す歌のすばらしさを味わいながらきいたりしましょう。(P46)</p> <p>◇言葉の感じ旋律が一体となって、曲想を生み出していることに注目しながらききましょう。(P46)</p> <p>◇日本語の美しさや、それを生かした音楽のよさを味わうことができたかな。他の音楽をきいたり楽譜を見たりするときにも、作詞や作曲をした人たちの思い、演奏する人の思いを大切にしよう。(P53)</p> <p>◇曲のよさや演奏の工夫について考え、日本の楽器のひびきを味わいながらききましょう。(P55)</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>課題を解決していく能力をはぐくむための題材設定や問題解決を促す活動例や書き込みページなど</p>	<p><b>【6年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇演奏を録音してきいたり、だれかにきいてもらったりして、自分たちの思いや意図が伝わっているか、「もっとこうしたいな」と思うところを話し合おう。(P18)</li> <li>◇たがいによくきき合って、さらにまとまりのあるアンサンブルにするために、いろいろためしてみよう。(P18)</li> <li>◇まず、せん律の流れに合わせて手などを動かしたり、楽器のひきまねをしたりしながら、曲の最初の部分をきいてみよう。(P30)</li> <li>◇アのせん律は、二つの楽器によってカノンで演奏されます。どちらの楽器が先に始まるか、注意してきこう。(P31)</li> <li>◇イのせん律は、どちらかの楽器で演奏されます。1回目のイと2回目のイでは、どのような変化があるかな。(P30)</li> <li>◇楽器を決めてひきまねをしたりしながら、曲全体をきいてみよう。(P31)</li> <li>◇最初の部分だけではなく、曲全体にアのせん律がくり返し現れます。注目してきこう。(P31)</li> <li>◇歌詞のリズムを確かめよう。(P48)</li> <li>◇作者の思いを想像しながら歌詞を読んでみよう。(P48)</li> <li>◇せん律のもつリズムや流れを感じ取ろう。(P48)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇歌に合わせて手拍子を打ってみたり、始めの部分を歌ってみたりして、2つの民謡がそれぞれどちらのリズムの曲なのかを確かめましょう。(P59)</li> <li>◇日本の音楽の特徴を感じ取ったり、そのよさを味わったりすることができたかな。(P61)</li> <li>◇歌詞にこめられた気持ちを想像しながら声に出して歌詞を読んだり、演奏をきいたりして、大切に歌いたい部分を見つけましょう。(P65)</li> <li>◇5年生の学習で学んできたことをふり返ろう。自分の思いや願いを表現に生かしたり、いろいろな音楽のひびきを味わったりすることができたかな。(P65)</li> </ul> <p><b>【6年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇言葉や旋律のまとまり、強さの変化に気を付けて、歌詞の表す情景や曲想にふさわしい歌い方を工夫しましょう。(P14)</li> <li>◇歌詞の表す内容や情景を想像しながら、友達と声をそろえて歌う楽しさを感じ取ることができたかな。(P15)</li> <li>◇ラバーズコンチェルトを演奏する際に選んだ楽器を記入する表(P20)</li> <li>◇楽器や声を使った音の音色や、それらが重なることで生まれるひびきの豊かさやおもしろさを味わうことができたかな。(P23)</li> <li>◇ボイスアンサンブルをつくる際に、パートのリズムや言葉を書き込むワークシート(P23)</li> <li>◇下の12を参考にして、和音のひびきに気を付けて歌い、和音のひびきの移り変わりを確かめましょう。(P26)</li> <li>◇短調(ア)と長調(イ)の和音のひびきのちがいに気を付けて、演奏をきいたり鍵盤パートを演奏したりして、和音のひびきの移り変わりを確かめましょう。(P29)</li> <li>◇和音で旋律づくりをする際の、音の上がり下がりや選んだ音を記入するワークシート(P30)</li> <li>◇和音のひびきの移り変わりや音の重なりを感じ取って、表現を工夫することができたかな。(P31)</li> <li>◇曲想について感じたことや気付いたことを記入する表(P33)</li> </ul>

教科・種目名 音楽 調査研究事項  
別表5

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>「発展」や「今日的な課題」の記載のある内容と数</p>	<p>◇「もっとあそぼう」のコーナーを設け、学習したことをもとに発展的な学びに展開できるように示している。(全学年)</p> <p>◇感染症予防の観点から、友達と触れ合う活動には留意点が示されている。(1～3年)</p> <p>◇鍵盤ハーモニカやリコーダーを扱った学習は題材に組み込まず、いつでも扱うことができるようになっている。</p> <p>◇「はってん」の印で示している。(4～6年)</p> <p>◇巻末に手話で歌う活動が示されている。(全学年)</p> <p>◇タブレット端末の使い方や感染症対策について二次元コードで示されている。(全学年)</p> <p>◇SDGsやESDに関する校閲を行い、SDGsの目標アイコンが記載されている。(全学年)</p> <p>◇「心と心をつなぐ音楽」で著作権、著作隣接権、肖像権等を取り扱っている。(6年)</p> <p><b>【1年】3箇所</b></p> <p>◇てあわせなどもだちとふれあうかつどうは、はなれておこなうばあいがあります。(P9)</p> <p>◇3拍子に合わせてリズムに言葉を当てはめる活動(P49)</p> <p>◇しゅわやあしぶみをしながらうたおう(P69)</p> <p><b>【2年】7箇所</b></p> <p>◇手びょうしりレーを楽器で行う活動(P7)</p> <p>◇速さを変えたり、動物の他にもいろいろな言葉でラップを作ったりする活動(P17)</p> <p>◇虫の声をあらわしているうたを、ほかにもきいてみよう。(P33)</p> <p>◇楽器を選んで呼びかけたり答えたりしてお話しをする活動(P39)</p> <p>◇歌に合わせて声や楽器を重ねる活動(P43)</p> <p>◇友だちと手などがふれあうかつどうは、はなれて行う場合があります。(P49)</p> <p>◇手話や足ぶみをしながら歌おう(P69)</p> <p><b>【3年】1箇所</b></p> <p>◇手話や足ぶみをしながら歌おう(P71)</p> <p><b>【4年】3箇所</b></p> <p>◇全休符(2箇所)(P29、P39)</p> <p>◇手話や足ぶみをしながら歌おう(P73)</p> <p><b>【5年】2箇所</b></p> <p>◇「舞台から未来へ」は、言葉を大切にしながら表現することのよさを伝えている。(表紙裏)</p> <p>◇手話や足ぶみをしながら歌おう(P73)</p> <p><b>【6年】3箇所</b></p> <p>◇「ひびきに心をのせて」は、音楽を楽しむことのよさを伝えている。(表紙裏)</p> <p>◇「心と心をつなぐ音楽」は、だれもが音楽を楽しむ共有する喜びを味わうためのストリートピアノについて紹介している。著作権や著作隣接権についても触れている。(P47)</p> <p>◇手話や足ぶみをしながら歌おう(P73)</p>	<p>◇「チャレンジ」でより進んだ学習活動を示している。(3～6年)</p> <p>◇発展的な内容を扱うキャラクターと吹き出しなどを使って示している。(全学年)</p> <p>◇「ステップアップ」のコーナーで、発展的な内容を示している。(3～6年)</p> <p>◇SDGsについて示している。(5年)</p> <p>◇感染症予防の観点から、楽器の扱い方について示されている。(1年)</p> <p>◇「著作権について知ろう」で著作権を取り扱っている。(6年)</p> <p>◇「音楽のもっている力や役割」で、音楽を通して他者とつながる例を扱っている。(6年)</p> <p><b>【1年】1箇所</b></p> <p>◇「がっきをきれいにつかうために」のコーナーで鍵盤ハーモニカのホースを水で洗う例が示されている。(P43)</p> <p><b>【2年】1箇所</b></p> <p>◇右の日本語のあいさつのことばを手話であらわしてみよう。(P7)</p> <p><b>【3年】6箇所</b></p> <p>◇2部休符(P66)</p> <p>◇2小節休み(P72、P76)</p> <p>◇3連符(P74)</p> <p>◇8小節休み(P76)</p> <p>◇16分音符・符点8分音符(P80)</p> <p><b>【4年】6箇所</b></p> <p>◇全休符、2部休符(P66～P67)</p> <p><b>【5年】2箇所</b></p> <p>◇「音楽と社会をつなぐテクノロジー」は、最先端のテクノロジーを活用することで、より多くの人と音楽でつながることができることを紹介している。(P2～3)</p> <p>◇「国歌『君が代』」で国歌を歌ったりきいたりするときのマナーについてまとめている。(P86)</p> <p><b>【6年】3箇所</b></p> <p>◇「著作権について知ろう」は、人の作品を大切にすることや音楽の著作物の利用例についてまとめている。(P25)</p> <p>◇「音楽のもっている力や役割」は、音楽が自分にとってどのような存在なのかを考えさせるようになっている。(P43)</p> <p>◇「国歌『君が代』」で国歌を歌ったりきいたりするときのマナーについてまとめている。(P86)</p>



教科・種目名 音楽 調査研究事項  
別表6

調査項目	17 教 出	27 教 芸
他教科などとの関連を示す印などのある内容	<p>◇「ショートタイムラーニング」のコーナーで英語の歌が示されている。(全学年)</p> <p>◇印はない。(全学年)</p> <p><b>【1年】</b> ◇外国語活動との関連「Twinkle, Twinkle, Little Star」「We Wish You a Merry Christmas」「Are You Sleeping?」(P70～P71) ◇国語科との関連「おおきなかぶ」(P62～P63) ◇生活科との関連「たなばたさま」「たきび」「おしょうがつ」「うれしいひなまつり」(巻末) ◇図画工作科との関連「がっきをつくってみよう」(P75)</p> <p><b>【2年】</b> ◇外国語活動との関連「BINGO」(P71) ◇算数科との関連「みんなで九九」(P70) ◇生活科との関連「虫のこえ」(P32～33)「どんな音がきこえるかな」(P34～35)「夕やけこやけ」(P40～41)「つき」「とんぼのめがね」「雪」(巻末) ◇印はない。(全学年)</p> <p><b>【3年】</b> ◇外国語活動との関連「世界の友だちの歌を楽しもう。」(世界の子どもの歌とその国の子どもたちの写真を記載)「It`s a Small World」(P72)</p> <p><b>【4年】</b> ◇社会科との関連「日本のお祭りをたずねて」(P42)「作曲者の紹介『グリーグ』」(P54) ◇国語科との関連「早口ラップで楽しもう」(P8)</p> <p><b>【5年】</b> ◇国語科との関連「ゆき」(P49) ◇外国語科との関連「Auld Lang Syne」(P74)、「Michael, row the boat ashore」(P74)</p> <p><b>【6年】</b> ◇外国語科との関連「Take Me Home, Country Roads」(P50)、「Climb Ev`ry Mountain」(P74～75)</p>	<p>◇「英語の歌」のコーナーで英語歌詞の歌が示されている(3～6年)</p> <p>◇印はない。(全学年)</p> <p><b>【1年】</b> ◇外国語活動との関連「セブンステップス」「チェッチェッコリ」(P10～P11) ◇生活科との関連「はすの花の写真」(P12～P13)「おとをさがしてあそぼう」(P32～P33)「はるなつあきふゆ」(P64～P65)「たなばたさま」(P78)「おしょうがつ」「うれしいひなまつり」(P79)</p> <p><b>【2年】</b> ◇外国語活動との関連「メッセージ」(P6～P7)「小犬のビンゴ」「ロンドンばし」(P8～P9) ◇生活科との関連「虫のこえ」(P31)</p> <p><b>【3年】</b> ◇外国語活動との関連「Head,Shoulders,Kneeds And Toes」(P77) ◇社会科との関連「地域に伝わる音楽でつながろう」(P60～P63)</p> <p><b>【4年】</b> ◇外国語活動との関連「Sing a rainbow」(P79) ◇社会科との関連「日本の音楽でつながろう」(P58～P63) ◇国語科との関連「ごんぎつね」(P72～P73)</p> <p><b>【5年】</b> ◇外国語科との関連「Michael, row the boat ashore」(P36)</p> <p><b>【6年】</b> ◇社会科や国語科との関連「日本の古典芸能」(P80～81)</p>
特別の教科 道徳との関連を示す印などのある内容	<p>◇巻末の「にっぽんのうた みんなのうた」のコーナーで季節ごとの行事に関連する歌、動物や自然に優しいまなざしを向ける心情を育てる歌、日本語の美しさに触れられる歌などを示している。(全学年)</p> <p>◇巻末の「きせつのうた」(1、4年)や「しぜんのうた」(2年)、「こころのうた」(3年)「山田耕筰、中田喜直のうた」(5年)、滝廉太郎のうた(6年)のコーナーを設けて、我が国の自然や文化に親しむ歌を示している。(全学年)</p> <p>◇「にっぽんのうた みんなのうた」や「お祭りの音楽」、「音楽今昔」、「私たちの国の音楽」等でわらべ歌や地域に伝わる民謡や伝統芸能を掲載している。(全学年)</p> <p>◇全学年で「国歌『君が代』」の楽譜を掲載し、「君が代」に込められた願いや、「国際理解・国際親善」に関して発達段階に応じた内容を記述している。</p> <p>◇全学年、巻末に全校合唱「音楽のおくりもの」を、手話で歌う活動を歌唱・器楽教材「さんぽ」とともに掲載している。</p> <p><b>【1年】</b> ◇歌唱共通教材「ひのまる」は、「国際理解・国際親善」の視点から様々な国旗のイラストを示している。(P40～P41)</p>	<p>◇「歌いつごう 日本の歌」のコーナーで季節ごとの行事に関連する歌、動物や自然に優しいまなざしを向ける心情を育てる歌、日本語の美しさに触れられる歌などを示している。(全学年)</p> <p>◇「育もう!地域の文化 伝えよう!地域の芸能」の裏表紙に地域に伝わる民謡や伝統芸能を掲載している。(全学年)</p> <p>◇「わたしたちがうけつぐ おどりやおんがく」(低学年)、「わたしたちが受けつぐ郷土芸能」(高学年)のコーナーに民謡や伝統芸能を掲載している。</p> <p>◇全学年で「国歌『君が代』」の楽譜を掲載し、「君が代」に込められた願いや「国際理解・国際親善」に関して、学年の発達段階に応じた内容を記述している。</p> <p><b>【1年】</b> ◇歌唱共通教材「ひのまる」は、「国際理解・国際親善」の視点から様々な国旗のイラストを示している。(P44～45) ◇「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の視点から、「育もう!地域の文化 伝えよう!地域の芸能」のコーナーに「西館子ども七福神」を示している。</p>

調査項目	17 教 出	27 教 芸
<p>特別の教科 道徳との関連 を示す印など のある内容</p>	<p><b>【2年】</b>                      ◇歌唱共通教材「夕やけこやけ」のページ内で「自然愛護」や「感動、畏敬の念」に関連して記述している。(P41)                      ・夕やけの空はとともうつくしいですね。どんなところで見たかおぼえていますか。そのとき、どんな気持ちになりましたか。しぜんのようすやうつくしいけしきをあらわした歌が、むかしからたくさん作られ、歌いつがれてきました。あなたはだれと歌いたいですか。いろいろな人といっしょに、いっぱい歌えたらうれしいですね。                      ◇歌唱教材「村まつり」のページ内に「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」に関連して記述している。(P45)                      ・むかしから、秋に作もつのしゅうかくがおわると、めぐみをかんしゃするおまつりが、いろいろなところでひらかれてきました。「ドンドンヒャララ」はおまつりのたいこやふえをあらわしています。                      ◇鑑賞教材「日本のたいこ」は「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の観点との関連が深い。(P46)</p> <p><b>【3年】</b>                      ◇歌唱共通教材「茶つみ」の歌詞は「勤労、公共の精神」の観点との関連が深い。(P15)                      ◇歌唱教材「小さな世界」の歌詞は「友情、信頼」の観点との関連が深い。(P4～P5)                      ◇歌唱共通教材「ふじ山」は「自然愛護」の観点と関連が深い。(P40～P43)                      ◇歌唱教材「十五夜さんのもちつき」は「友情、信頼」や「伝統と文化の尊重」の観点との関連が深い。(P45)</p> <p><b>【4年】</b>                      ◇歌唱共通教材「さくらさくら」は「自然愛護」の関連が深い。(P10)                      ◇歌唱共通教材「もみじ」のページ内で「自然愛護」「感動、畏敬の念」「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の観点に関連して記述している。                      ・秋の終わりの紅葉は、昔から人々に愛されてきました。山や野に紅葉を楽しみに行くことを「もみじがり」といいます。自然を大切に、いつまでも美しい紅葉を楽しめるようにしたいですね。(P39)                      ◇鑑賞教材「ソーラン節」「秩父屋台ばやし」「葛西ばやし」は「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の観点との関連が深い。(P42～P44)</p> <p><b>【5年】</b>                      ◇歌唱共通教材「子もり歌」のページで「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の観点に関連して記述している。(p38)                      ・民ようや子もり歌は、その土地の人々のくらしの中から生まれ、少しずつ形を変えながら、現在も歌いつがれています。                      ◇歌唱教材「川はだれのもの？」はSDGsの14番（海の豊かさを守ろう）と15番（陸の豊かさを守ろう）の目標マークを付して、歌詞で自然保護の視点を投げかけている。</p> <p><b>【6年】</b>                      ◇「心と心をつなぐ音楽」の見開きページで日本各地のストリートピアノやモニター画面で歌い合う写真を掲載しを示し、音楽を通して他者とつながる例を示し、著作権、著作隣接権、肖像権等も取り扱っている。(p46～47)                      ◇歌唱教材「花は咲く」は復興支援との関連が深い。(P60～P61)</p>	<p><b>【2年】</b>                      ◇歌唱教材「メッセージ」で「礼儀」の視点から、手話でのあいさつの仕方を示している。(P7)                      ◇歌唱共通教材「夕やけこやけ」の歌詞は「感動、畏敬の念」に関連している。(P54～P55)                      ◇「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の視点から、「育もう！地域の文化 伝えよう！地域の芸能」のコーナーに「白間津ささら踊」を示している。                      ◇「家族愛、家庭生活の充実」の視点から、お年寄りに遊び方を教わっている様子を示している。(P58)</p> <p><b>【3年】</b>                      ◇歌唱共通教材「茶つみ」の歌詞は「勤労、公共の精神」の観点との関連が深い(P12)                      ◇歌唱共通教材「ふじ山」「自然愛護」の観点で取り上げることができる (P40)                      ◇鑑賞教材「神田囃子」は、「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の観点との関連が深い。(P60～P63)</p> <p><b>【4年】</b>                      ◇歌唱共通教材「さくらさくら」は「自然愛護」の関連が深い。(P10)                      ◇「日本の音楽でつながろう」は「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の観点との関連が深い。(P58～63)</p> <p><b>【5年】</b>                      ◇歌唱教材「Believe」は「友情・信頼」の観点との関連が深い                      ・人に対するやさしさや、たがいに助け合う心の大切さを思いながら歌いましょう。(P9)</p> <p><b>【6年】</b>                      ◇「著作権について知ろう」で見開きページで著作権を取り扱っている。(p24～25)                      ◇「音楽のもっている力や役割」のページでコンサートライブやモニター画面での演奏動画の共有場面や、阪神淡路大震災のきっかけに生まれた「しあわせ運べるように」の写真を掲載し、音楽を通して他者とつながる例を扱っている。(p43)</p>

教科・種目名 音楽 調査研究事項  
別表7

調査項目	17 教 出	27 教 芸
ユニバーサルデザイン化に向けた内容	<p>◇多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮し、見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>◇児童の発達段階を考慮し、無理なく取り組める音域や難易度に配慮して教材を選択している。</p> <p>◇全ての子どもたちの色覚特性に適切することを目指してデザインしている。</p> <p>◇特別支援教育の視点から、学習上重要な情報を確実に読み取れるように配慮している。</p> <p>◇総ページ数</p> <p>1 学年 78</p> <p>2 学年 78</p> <p>3 学年 80</p> <p>4 学年 82</p> <p>5 学年 82</p> <p>6 学年 82</p>	<p>◇多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮し、見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>◇児童の発達段階を考慮し、無理なく取り組める音域や難易度に配慮して教材を選択している。</p> <p>◇全ての子どもたちの色覚特性に適切することを目指してデザインしている。</p> <p>◇特別支援教育の視点から、学習上重要な情報を確実に読み取れるように配慮している。</p> <p>◇総ページ数</p> <p>1 学年 83</p> <p>2 学年 83</p> <p>3 学年 87</p> <p>4 学年 87</p> <p>5 学年 87</p> <p>6 学年 87</p>
楽譜の明瞭さ、写真や挿絵等の効果性、楽器奏法等の示し方の工夫等	<p>◇歌唱共通教材には折込をつかった紙面で、我が国の自然や四季の美しさを感じたりイメージしたりするためのイラストや写真を掲載している。</p> <p>◇写真と重なる楽譜の背景を白くデザインし、楽譜等を読みやすい工夫をしている。</p> <p>◇鑑賞教材には、楽器の写真や演奏している写真、曲想を感じ取るためのイラストなどを掲載している。</p> <p>◇〔共通事項〕は「音楽のもと」として巻末にまとめられており、低・中学年はイラストを中心に、高学年は楽譜を基に説明している。</p> <p>◇「まなびリンク」の二次元コードで楽器の奏法などが動画で確かめられるようにしている。</p> <p>◇楽器の奏法が理解できるよう、写真やイラストで解説している。</p> <p><b>【1年】</b></p> <p>◇鍵盤ハーモニカ、シンバル、ハーモニカ、大太鼓、小太鼓、鉄琴、木琴、カスタネット、タンブリン、うず、トライアングル</p> <p><b>【2年】</b></p> <p>◇ウッドブロック、ギロ、小太鼓、グロッケン、ビブラフォーン、マリンバ、シンバル、鍵盤ハーモニカ、オルガン</p> <p><b>【3年】</b></p> <p>◇カウベル、ギロ、クラベスの演奏の仕方を掲載している。(P49)</p> <p>◇リコーダーの構造を写真で掲載している。(P18)</p> <p>◇バイオリンを演奏している姿を掲載している。(P34)</p> <p>◇チェロを演奏している姿を掲載している。(P36)</p> <p><b>【4年】</b></p> <p>◇シェーカー、アゴゴー、フロアトム (P49)</p> <p>◇箏 (P62～P63)</p> <p>◇和楽器 (箏) の奏法 (P62～P63)</p> <p><b>【5年】</b></p> <p>◇オーケストラの楽器 (P30～P31)</p> <p>◇しの笛 (P62)</p> <p><b>【6年】</b></p> <p>◇雅楽の演奏 (P78～P79)</p>	<p>◇歌唱共通教材には、我が国の自然や四季の美しさを感じたりイメージしたりするためのイラストや写真を掲載している。</p> <p>◇写真と重なる楽譜の背景を白くデザインし、楽譜等を読みやすい工夫をしている。</p> <p>◇鑑賞教材には、楽器の写真や演奏している写真、曲想を感じ取るためのイラストなどを掲載している。</p> <p>◇〔共通事項〕が視覚的にイメージできる「ふり返りのページ」として巻末に掲載し楽譜で具体を示しながら説明している。</p> <p>◇「ムーブのへや」の二次元コードで楽器の奏法などが動画で確かめられるようにしている。</p> <p>◇楽器の奏法が理解できるよう、写真やイラストで解説している。</p> <p><b>【1年】</b></p> <p>◇カスタネット、タンブリン、鍵盤ハーモニカ、トライアングル、すず、ウッドブロック、鉄琴</p> <p><b>【2年】</b></p> <p>◇クラベス、大太鼓、小太鼓、オルガン、キーボード、木琴、鉄琴</p> <p><b>【3年】</b></p> <p>◇リコーダーの構造を写真で示している。(P20～P21)</p> <p>◇トランペットの音の出るしくみを写真で示している。(P52～P53)</p> <p>◇トランペット、ホルン、トロンボーン、チューバの楽器を写真で掲載している。(P54～P55)</p> <p>◇長胴だいこ、しめだいこ、かね、しのぶえ (P61)</p> <p><b>【4年】</b></p> <p>◇ギロ、マラカス、クラベスの演奏の仕方 (P22～P23)</p> <p>◇クラリネット、オーボエ、フルートの音の出る仕組みが解説されている。(P54～P55)</p> <p>◇箏の基礎的な奏法 (P61～P62)</p> <p><b>【5年】</b></p> <p>◇弦楽器 (バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバス) (P20～23)</p> <p>◇オーケストラの楽器 (P27～P28)</p> <p>◇和楽器 (箏、尺八) (P54～P55)</p> <p><b>【6年】</b></p> <p>◇オーケストラの楽器 (P78～P79)</p>